

第五十八回帝國議會 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案委員會會議錄(速)第三回

付託議案
盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
借家法中改正法律案(小久江美代吉君外二名提出)
違警罪即決例中改正法律案(一松定吉君外二名提出)
行政執行法中改正法律案(一松定吉君外二名提出)
國家賠償法案(小侯政一君外二名提出)

會議

昭和五年五月九日(金曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 則元 由庸君

理事 藤田 若水君

理事 小野寺 章君

關口 志行君 仲井間宗一君

原 夫次郎君 牧野 賤男君

星島 二郎君 米田規矩馬君

同月八日委員櫛部荒熊君辭任ニ付其ノ補闕トシテ原夫次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月九日委員原惣兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ星島二郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月八日借家法中改正法律案(小久江美代吉君外二名提出)違警罪即決例中改正法律案(一松定吉君外二名提出)行政執行法中改正法律案(一松定吉君外二名提出)國家賠償法案(小侯政一君外二名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 川崎 克君

司法參與官 井本 常作君

司法省刑事局長 泉二 新熊君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 松谷與二郎君
議員 片山 哲君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

●則元委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、質問ヲ開始シマスガ、ドナタカ御質問ガアレバ——牧野君

●牧野委員 一寸政府委員ニ御伺致シマス、前回私ハ缺席致シマシタカラ全體ノ御説明ハ承リマセスデシタガ、貴族院ノ委員會ノ速記等ニ依ッテ拜見スルト、此第一條ノ規定ハ要スルニ刑法第三十六條ノ解釋立法デアルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、之ニハ

「他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險」トアツテ、刑法三十七條ニハ「自己又ハ他人ノ生命、身體、自由若クハ財產」ト云フコトニナツテ居ル、三十七條ト三十六條ハ無論違フノデアリマスガ、斯ウ云フ事ニナツテ居ルモノヲ、特別ニ此法律ニハ貞操ト云フコトヲ書イ

テアルノデス、ソレハ貞操ニ關シテ刑法ヲドウ云フ風ニ御覽ニナツタ立法デアルカ、ソレヲ御伺致シマス

●泉二政府委員 大體本案ノ出來マシタ動機ガ、此第一條ノ第一號乃至第三號ノヤウナ事實ノアル場合ニ、是ハ現行法デモ無論正當防衛ガ出來ルガ、正當防衛ノ爲ニ殺傷ト云フ事マデヤッタナラバ、已ムヲ得ザルニ出デタモノデ

ハナイト云フ、解釋ヲサレルト云フ疑モアルガ、斯ウ云フ場合ニハ殺傷マデシテモ正當防衛トシテ差支ナイモノデアルト云フ見解ヲ取ツテ、此立法ノ解釋ヲシヨウト云フ考デアルノデアリマスガ、併ナガラ兎ニ角殺傷マデ行クト云フ場合ニ、無條件ニ一號、二號、三號ノ場合ニ對シテ、無條件ニ殺傷マデシテモ常ニ是ハ防衛デアルト云フコトヲ申シマス、或ハ少シ行過ギルカモ知レナイ、ソ

或ハ濫用ノ虞ガアルカモ知レナイ、ソコデ一ツ條件ヲ付ケヤウ、其條件ヲ第一條ノ一項ノ本文ニ掲ゲタノデアリマス、此條件ハ御覽ノ通りニ、自己又ハ他人ノ生命身體、又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險、斯ウ云フ危險ノアルト云フコトヲ條件ニシテ、現在ノ危險ト申シマス

ルノハ、刑法三十六條ノ急迫ノ侵害ト云フ程度ニ至ラナイ危險デアルト云フヤウニ、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、急迫ノ侵害デアリマスレバ、三十六條デ正當防衛モ出來ルト云フコトハ誰モ疑ハナイ、殊ニ其急迫ノ侵害ガ生命身體、自由等ニ對シテ行ハレル場合デアレバ、殺傷マデシテモ誰モソレガ行過ギテ居ルトハ考ヘナイ、ダカラ其急迫ノ侵害ノアル場合ニハ、即チ自己又ハ他人ノ危險ニ對スル急迫ノ侵害、殊ニ其侵害ガ生命、身體、自由等ニ對スル場合デアレバ、是ハモウ別ニ説明ヲ要シナイ、併ナガラマダ急迫ノ侵害トマデ至ラナイト云フ場合ガアル、ヨク新

聞ナドニ見エテ居リマスル說教強盜デアルトカ、講談強盜デアルトカ云フヤウナモノハ、新聞デ御承知ノ通り、物ヲ取ツテシマツテ用ハ濟ンダノニ尙ホ其後三時間モ四時間モ電車ノ通ルヤウニナルマデ、婦人ノ部屋デアラウガ、何處デアラウガ、所構ハズ何時迄モ緩ル——

其處ニ滞在シテ居ル、其部屋ニサウ云フ風ニ緩ル——ト滞在シテ居ルト云フノデハ、マダ生命、身體、自由ニ對シテ急迫ノ侵害アリト云フコトハ考ヘラレ

ナイガ、併ナガラ現在ノ危険ト云フコトハ考ヘラレルノデアル、ソコデ其現在ノ危険ハ今迄ノ經驗ニ依リマスルト云フト、生命、身體、貞操ニ對スル關係ニ於テ、特ニ斯ウ云フ立法ヲスル必要ヲ感ズル、其外ノ場合貞操ハ御承知ノ如クニ自由ノ一部分デアリマス、貞操以外ニ付テ考ヘマスレバ、生命、身體、ソレカラ自由ニ對スル關係ハ急迫ノ侵害ノアル場合デアレバ、先カラ申シマスル通りニ、當然刑法デ行ケル、此法律デ解釋ノ必要ガナイ、是ハ唯、解釋ヲシテ疑ハシイデハナイカト云フ場合ヲ、解釋スルト云フ趣意デアリマス、今申上ゲマスルヤウナ急迫ノ侵害ガアル場合ニハ、當然刑法デ行ケル、是ハ誰モ知ッテ居ルノデアルカラ、ソレヲ此處ニ入レル必要ガナイ、斯ウ云フ考デ、今日ノ實際社會世相ニ照シマシテ、立法解釋ヲ要スルト云フ事案ニ即シテノ立法案デアルト、斯ウ申上ゲテ御答致シタイト思ヒマス	フコトデアリマスガ、サウスルト、言換ヘレバ刑法第三十六條ニハ急迫不正ノ侵害トアルノヲ、此法律ヲ以テ急迫ナラザル侵害ヲ防グト云フコトニナルト、刑法ノ條文ヲ變ヘルコトニナルヤウニ思フ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ今ノ御説明ノ通りニ、貞操ト云フノハ自由ノ一部デアアル、若クハ身體權ノ一部デアアル、ソレヲ特ニ貞操ト云フモノヲ拔出シテ、特別ニ茲ニ貞操ト云フモノヲ拔出シテ規定スルノハ、ドウ云フ趣意デアアルカ、之ヲ伺ヒタイ、自由トカ身體トカ云フコトヲ書イテ置ケバ、自ラ貞操ハ何方カニ含マレルモノダラウト考ヘニアラザル自由ニ對シテ、御説明ノ通りハ、ドウ保護サレルカ、是モ御伺シタイ	●牧野委員 只今一應ノ御説明ヲ承ハリマシタガ、尙ホ關聯シテ御伺シタイノデアリマス、只今ノ御説明ニ依リマス、急迫ノ侵害デアレバ無論刑法第三十六條ノ規定デ保護サレルノデアアルガ、併シ急迫ノ侵害デナイ危害、而モ現在ノ危害ガアル、ソレヲ第一條ニ依テ規定シタノダト云フ御趣意デアルト云	●泉二政府委員 第一ノ急迫ナラザル侵害ニ對シテ正當防衛ヲ認ムルコトニナル結果トシテ、非常ニ現行法ノ規定ヲ擴張シタルコトニナルデヤナイカト云フ、最初ノ御質問デアリマスガ、ソレハ第一號、二號、三號ニ於テハ急迫ノ侵害ガアル、此急迫ノ侵害ニ對シテ、正當防衛ヲスルト云フコトハ、勿論現行刑法デモ認メテ居リマスガ、先刻申上ゲマシタヤウニ、正當防衛ニハ已ムコトヲ得ズト云フコトガ刑法デ條件ニナッテ居ルノデアアル、其已ムコトヲ得ズト
云フコトハ、ドウ云フ意味デアアルカト云フニ付キ、學說上議論ノアルコトモ御承知ノ通りデアアル、是ハ必要ノ程度ヲ越エナイト云フコトヲ意味スルト云フ學說ガ多イノデアリマス、必要ノ程度ヲ越エナイ程度デ防衛ヲスルト云フコトガ、正當防衛ナノデアルト云フコトニ解釋サレマシテモ、斯ウ云フ盜犯ノ防止デアルトカ、侵入ノ防止デアルトカ云フコトヲスルニ當ッテ、殺傷マデシテモ必要ノ程度ヲ超エナイト言ヘルカ、言ヘヌカ、斯ウ云フコトガ更ニ又問題ニナル、或ル學說デハ防禦ノ爲メ必要デサヘアレバ、殺傷シテモ差支ナイノデアルト主張致シマス、併ナガラ一方カラ申シマス、盜犯ノ防止トカ、侵入ノ防止ノ爲ニ殺傷マデスルノハ必要ノ程度ヲ超エテ居ルノデアッテ、正當防衛ニハナラヌ、是ハ第三十六條ノ二項ニ當ルノデアルト云フコトヲ頻リト主張スル人モアル、又刑法改正綱領ガ會テ法制審議會デ決定サレテ居リマスガ、其決定ノ中ニモ必要デサヘアレバ、ドシナ事ヲヤッテモ宜イト云フ解釋ヲ許サレルヤウナ現行法ノ規定ハ少シ無理ダカラ、相當ナ程度ニ於テ防衛ヲスルコトダケヲ許スコトニシヨウト云フ意味デ、所謂必要性ヲ相當性ニ變ヘヨウト云フコトモ綱領ニナッテ居ルト云フ有様デアリマス、要スルニ單ニ盜犯ヲ	防止スルトカ、侵入ヲ防グトカ云フ爲ニ殺傷ヲスルコトハ、少シ行過ギテ居ルデハナイカト云フ議論ガアルノデアリマス、又多數ノ世人ガ盜犯防止トカ、侵入防止ノ爲ニ正當防衛ヲ容易ニシナイコトモ、ソレガ必要ノ程度ヲ超エタド云フコトデ、處罰サレルコトヲ虞レテ、正當ノ防衛スラシナイノデアラウト云フコトモ考ヘラレル、サウ云フ疑ヲ除キマス爲ニ、本文ノヤウナ條件サヘアレバ——而シテ第一號乃至第三號ニ當ル所ノ急迫不正ノ侵害ガアレバ殺傷マデヤッテモ正當防衛トシテ罪ヲ問ハヌノデアアル、是ハサウ云フコトヲ明ニスル趣意ノ規定デアリマシテ、全ク急迫ノ侵害ガナイノニ、正當防衛ヲスルト云フノデハナイ、即チ一號乃至三號ノ事實ニ於テハ急迫ノ侵害ハアル、唯生命、身體、貞操ニ對シテハ未ダ急迫トハ言ヘナイガ、現在ノ危険ガアル、此兩方ノ條件ガ異タナラバ、茲ニ初メテ殺傷マデシテモ必要ノ程度ヲ超エタモノトハ認メナイ、正當防衛トナルト云フコトヲ明言スルノデアリマス、ソレカラ貞操ハ身體權若クハ自由權ノ一部デアアルノニ、何故ニ故ラニ之ヲ舉ゲルカト云フ御質問デアリマシタガ、貞操ハ只今仰シヤルヤウニ、或ハ身體權ノ一部トモ考ヘラレマセウケレドモ、自由權ノ一部トモ勿論考ヘラレル	云フコトハ、ドウ云フ意味デアアルカト云フニ付キ、學說上議論ノアルコトモ御承知ノ通りデアアル、是ハ必要ノ程度ヲ越エナイト云フコトヲ意味スルト云フ學說ガ多イノデアリマス、必要ノ程度ヲ越エナイ程度デ防衛ヲスルト云フコトガ、正當防衛ナノデアルト云フコトニ解釋サレマシテモ、斯ウ云フ盜犯ノ防止デアルトカ、侵入ノ防止デアルトカ云フコトヲスルニ當ッテ、殺傷マデシテモ必要ノ程度ヲ超エナイト言ヘルカ、言ヘヌカ、斯ウ云フコトガ更ニ又問題ニナル、或ル學說デハ防禦ノ爲メ必要デサヘアレバ、殺傷シテモ差支ナイノデアルト主張致シマス、併ナガラ一方カラ申シマス、盜犯ノ防止トカ、侵入ノ防止ノ爲ニ殺傷マデスルノハ必要ノ程度ヲ超エテ居ルノデアッテ、正當防衛ニハナラヌ、是ハ第三十六條ノ二項ニ當ルノデアルト云フコトヲ頻リト主張スル人モアル、又刑法改正綱領ガ會テ法制審議會デ決定サレテ居リマスガ、其決定ノ中ニモ必要デサヘアレバ、ドシナ事ヲヤッテモ宜イト云フ解釋ヲ許サレルヤウナ現行法ノ規定ハ少シ無理ダカラ、相當ナ程度ニ於テ防衛ヲスルコトダケヲ許スコトニシヨウト云フ意味デ、所謂必要性ヲ相當性ニ變ヘヨウト云フコトモ綱領ニナッテ居ルト云フ有様デアリマス、要スルニ單ニ盜犯ヲ	權ノ一部トモ考ヘラレマセウケレドモ、自由權ノ一部トモ勿論考ヘラレル

ノデアリマス、併シ此法案ハ現行法ノ
解釋、殊ニ疑問ニナルヤウナ場合、又防
衛者ヲシテ安シテ防衛セシムル爲メ
最モ必要ト思フ程度ノ解釋ヲ與ヘレバ
足リルノデアリマシテ、其以上ノコト
ハ態々此解釋ヲセヌデモ三十六条ダケ
ニ委セテ置イテ宜シイノデアアル、サウ
シテ今日ノ實際ノ狀況即チ說教強盜、
講談強盜デアルトカ、ア、云フ種類ノ
モノニ對スル防衛ヲスルト云フ點カラ
見マス、生命、身體、貞操ト云フコト
ダケニ付テ疑問ヲ解クヤウナ立法ヲス
レバソレデ十分デアアル、其以上ハ此法
律デ特ニ解釋ヲ與ヘルト云フ必要ハナ
カラウ、斯ウ云フ趣意デアリマス

●牧野委員

第三ノ御質問ハ、貞操ニ

關係セザル自由ト云フモノニ對スル侵

害デアリマス、之ヲ保護スル趣意デア

ルヤ否ヤト云フコトデアリマス

●泉二政府委員 其點ハ矢張第二點ニ

付テノ御答ニ略々包含サレテ居ルト思

ヒマスガ、自由ニ對シテハモ窮迫ノ侵

害ト云フコトガアリマスレバ、ソレハ

先刻カラ申上ゲマスヤウニ、當然ニ刑

法三十六条ノ解釋デ行クコトハ誰モ疑

ハナイト申シテ宜シイノデアリマスカ

ラ、茲ニ掲ゲナイノデアリマス、單ニ現

在ノ危險ニ止マリ、窮迫ノ侵害ト云フ

所迄ハマダ行カナイ、斯ウ云フモノニ

付テモ尙ホ殺傷迄シテモ正當防衛ニナ

ルト云フコトヲ、故ラニ此處ニ示シテ

置ク必要ハナイ、ソレハ三十六条ノ解

釋デ行ケル程度デ十分デアアル、斯ウ云

フ積リデアリマス

●牧野委員 尙ホ御伺シタイノデアリ

マス、只今ノ御説明ニ依ルト、特ニ貞操

ト云フモノヲ自由權カラ離シテ規定ス

ル御趣意ニハナラナイヤウニ考ヘラレ

ル、自由ヲ保護スル趣意デアレバ、貞操

ト自由トハ全部一致スルモノデハナ

イ、貞操ハ自由ノ一部デアアルケレドモ、

自由ノ全部ガ貞操デハナイカラ、寧ロ

自由ト書イタ方が貞操及其他ノモノモ

含マレテ宜クハナイカト考ヘルノデア

リマス、此點ニ付テ御尋ネシタイ

モウ一ツハ斯ウ云フコトヲ觀念シマ

想像サレル、ソコデ貞操ヲ特別ニ書イ

タ特殊ノ理由ヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員 本案ニ於キマシテハ

其意ニ反スル場合ダケヲ見テ居ルノデ

アリマシテ、斯ル事情ノ下ニ同意ガア

タト云フ風ニ見ルベキ場合ハ殆ンドナ

カラウト思フテ居リマス、其意ニ反スル

場合デアレバ、自由ノ侵害ト申シマス

カ、兎ニ角自由ガ侵害サレル場合ニナル

ノデアアル、斯ウ云フ御趣意ハ御尤デア

マスガ、一般ニ自由ヲ侵害サレル場合

ニ付テ考ヘルト、特ニ此處ニ入レル必

要ハナイノデアリマス、一番分リ易イ

ノハ、例ノ說教強盜ノヤウナ場合デア

リマス、說教強盜ガ入ッテ來テ二時間モ

三時間モ家ノ中ニ宿リ込メ居ル、斯

ウ云フ場合ヲ考ヘマス、ソレハ生命

ニ對スル危險ヲ感ズルカ、身體ニ對スル

危險ヲ感ズルカト云フコトニナル、婦女

ニ對シテハ其外ニ自由中ノ特別ナル公

益ト見ルベキ貞操ト云フモノニ付テ、

特ニ危險ヲ感ズル、斯ウ云フ場合ニハ、

婦人ノ所ニ說教強盜ミタイナ者ガ入

タト云フコトニナルト、事實ガ無クテ

モ、世間デハドウモ貞操ニ對スル暴行

デモ受ケタノヂヤナイカト云フヤウナ

想像ヲ逞シウサレルノデアアッテ、其被害

者程迷惑ナ者ハナイノデアリマス、是

ハモウ私ガ申上ゲル必要ガナイコトデ

アル、兎ニ角普通ノ場合デアレバ、生命

カ身體ニ對スル危險ヲ何時デモ感ズル

ノデアラウト思フ、婦女モ生命ニ對シ

身體ニ對スル危險モ感シマセウガ、其

上特ニ貞操自由ト云フモノニ對シテ、

著シイ危險ヲ感ズル、デ婦女以外ニ付

テ考ヘマス、云フコト、ソレ程ニソレニ

比スベキヤウナ危險ヲ感ズルト云フコ

トハ、生命身體ニ關スル危險以外ニナ

カラウト思フ、假ニアルニシマシテモ、

其總テヲ茲ニ言フ必要ハナイ、先刻モ

申上ゲマスヤウニ、今日ノ險惡ナ世相

ニ照シマシテ、斯ウ云フコトヲ特ニ立

法解釋ヲ與ヘル必要ガアル場合ダケヲ

茲ニ擧ゲタノデ、ソレ以上ノコトヲ言

フ必要ガナイト、斯ウ考ヘタノデア

リマシテ、ソレヲ矢張必要デアルト仰

シタルバ、遺憾ナガラ意見ノ相違デ

已ムヲ得ナイト申上ゲルヨリ外仕方

ナイノデアリマス

●牧野委員 サウスルトモウ一ツ斯ウ

云フ方面カラ申上ゲマス、矢張貞操ニ

關聯スルノデスガ、貞操侵害ノ行爲ニ

ハ著手シナイ、著手シナイガ、家宅ニ滯

在ヲ致シテ居ルト云フコトガ、貞操ニ

對スル現在ノ危險ガアルト考ヘ得ル、

サウスルトサウ云フ場合ニハ、急迫デ

ナクテモ殺傷シテ宜シイト云フコトニ

ナリマス、カドウデスカ、ソレヲ伺ヒタ

イ

●泉二政府委員 此規定ハ只今御話ノ

ヤウナ場合ニ付テモ、一號乃至三號ノ事實ノ有ルコトヲ條件ト致シマシテ、殺傷マデモシテ宜シイト云フ規定ナンデアリマス、單純ニ此本文ダケ決メテ行カウト云フノデヤナイ、ソレダケ御承知ヲ願ヒマス

●牧野委員 一號乃至三號ニハ貞操ノコトハ些トモ含シテ居ナイ「盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還セントスルトキ」

「兇器ヲ携帶シテ又ハ門戶牆壁等ヲ踰越損壞シ若ハ鎖鑰ヲ開キテ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入スル者ヲ防止セントスルトキ」

「故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスルトキ」特別ニ是ハ貞操ト云フコトニ關スル規定ハナイ、私ノ質問ハ只今御話ノ通りニ邸宅ニ侵入シテ來テ長ク滞在セラレルコトガ、男子ノ場合ニ於テハ生命、身體、自由ニ關スル危險ヲ感ズルガ、特ニ女子ニ對シテハ貞操ト云フモノ、危險ヲ感ズル、其場合ニ於テ、ソレハ現在ノ危險デアルト云フコトハ言得ルガ、未ダ其貞操蹂躪ノ行為ニ著手シナイ、著手スルカシナイカ分ラヌ場合ニ於テハ、即チ急迫ト云フコトハ言ヘナイノデア

ル、ソコデ急迫ナラザル貞操ノ侵害ト云フモノヲ保護スル趣意デアルカドウ

カ、斯ウ御尋シタ

●泉二政府委員 一號乃至三號其モノデハ未ダ直ニ貞操ノ侵害ハアリマセヌガ、斯ウ云フコトヲスル者ニ對シ、ソレヲ防衛スルト云フ際ニ、貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スルト云フ必要ヲ感

對シテ、正當防衛ヲ行フ際ニ、尙ホソレニ加フルニ此本文ニ書イテアルヤウナ、生命、身體、貞操ニ對スル危險ヲ感ズ、之ヲ排除スル所ノ必要モ之ニ加ヘ

●牧野委員 只今ノ御説明ノ趣意ニ依ルト、御言葉ノ間違デアッタカ、御趣意ノ間違デアッタカ存ジマセヌガ、私共ガ拜聴シテ居ルト、急迫ナラザル現在ノ危險ニ對シテ、正當防衛ヲ認メタト云

即チ泥棒デアルトカ、侵入者ニ對シテ殺傷マデヤツテモ正當防衛ニナル、斯ウ云フコトヲ明ニシヨウト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、若モ此規定ガアリ

スガ、サウスルト刑法ノ三十六條本案ノ「急迫不正ノ侵害」ト云フ急迫ト云フ條件ガ刑法カラ除カレルヤウナ結果ニナルト云フコトヲ私ハ疑フノデス、此

ハ、現行刑法デ誰モ疑ハナイケレドモ、其正當防衛ヲ爲ス爲ニ、殺傷マデヤツテ宜イカト云フコトニ付テハ、學說ガ分

●泉二政府委員 先刻カラ其點ニ付テ私ハ御答シタ積リデアリマスガ、言葉ガ足りナイト云フ爲ニ、御理解ガナイト云フコトデアレバ、甚ダ遺憾デアリ

トガ出來ルト云フノガ、先ヅ通說デアリマスケレドモ、反對ノ意見モアルカ

●牧野委員 大體ハ御說ノ通り能ク了解致シテ居リマス、併ナガラ特ニ貞操ト云フコトヲ條文ニ掲ゲテアルカラ、

貞操ニ對シテ急迫不正ノ侵害ガアレ

●泉二政府委員 御質問ニ對シテ御答シタ積リデアリマスガ、尙ホ其趣意ガ御了解ヲ得ナイコトハ甚ダ遺憾トスル所

乃至三號ノ事實ガアル場合、其事實ソレ自體ハ、未ダ生命、身體、貞操ニ對シテ危險ガアルト云フコトヲ、當然言ヘナ

●泉二政府委員 先刻カラ其點ニ付テ私ハ御答シタ積リデアリマスガ、言葉

危險ハ未ダ急迫ノ侵害ト云フ程度ニ至ラズシテモ、尙ホ殺傷ヲ爲シ得ルト云

上ノ解釋ヲ之ニ與ヘテ行ク、斯ウ云フコトヨリ以上ドウモ私ハ説明ガ出來ナイノデアリマス

●牧野委員 度々伺ッテモドウモ「急迫」ト云フコトノ解釋ガ明瞭デナイガ、此點ハソレ以上ノ御説明ハ伺ハヌコトニ致シマス、唯々、斯ウ云フコトヲ御伺致シマス「貞操」ト云フモノヲ改メテ「自由」ト云フ文字ニシタラ、貞操ハ保護セラレナイノカ、ソレヲ御伺シタイ

●泉二政府委員 只今ノ御質問ハ……●牧野委員 此條文ノ「貞操」ト云フ文字ヲ「自由」ト云フ文字ニ訂正シテソレデ貞操ト云フモノガ保護セラレルカセラレヌカト云フ……

●泉二政府委員 分リマシタ、實ハ只今ノ「自由」ト云フ文字ニ之ヲ變ヘテハドウカト云フ御考モ御無理ノナイコトデアラウト思ウテ居リマス、實ハ此立案ノ經過ニ於テ一度ハ之ヲ「自由」ト云フ言葉ニシタコトガアルノデアリマス、ケレドモ「自由」ト云フコトニナリマス、範圍ガ廣クナリマシテ、自由ノ侵害、一分間自由ヲ侵害スルト云フコトモ有得ルコトデアルシ、隨分又自由ノ侵害ト云フコトノ程度ノヒドイ場合モアルシスルカラ、若シ之ヲ「生命身體自由」ト云フコトニシタナラバ、何カ「重大ナル危険」トカ何トカ入レナクチャナルマイト云フコトモアリ、唯々「自

由」ト云フ風ニボンヤリト書イテ置キマス、御互ニ法律ヲヤッテ居リ専門家カラ見マス、自由ノ中ニ貞操ガ含マレルト云フコトハ當然ノコトデハナイカラ云フ風ニ考ヘマスケレドモ、素人カラ見マス、ドウモ疑ガアルラシイ、三十六條ニハ廣ク權利ト書イテアリマスガ、三十七條ニハ御承知ノヤウニ「生命身體自由財產」ト書イテアル、又自由ト云フ言葉ノ中ニ貞操ガ入ルカ入ラスカト云フコトヲ、一寸問題トシテ居ル著書モアリマス、其様ナ始末デ自由ト云フ風ニ廣クシテ置クト、貞操ヲ含ムヤ否ヤト云フコトデ、一寸疑問ニサレル點モアルダラウ、折角ノ立法解釋ガ疑問ニ疑問ヲ産ムト云フコトハ面白クナイデヤナイカ、殊ニ當面ノ問題ハ先刻カラ申上ゲマス通りニ、一番貞操ト云フコトガ婦女ニ付テ必要ヲ感ズルノデアルカラ、特ニ「貞操」ト云フ文字デ表ハシテ置ク方ガ此際ノ立法トシテハ最も適當デアラウ、斯ウ云フコトデ色々審議ヲ經マシタ結果ガ斯ウ云フコトニ落著イタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

●牧野委員 段々分ッテ來マシタガ、此法律ノ第一條ノ意義ニ於テハ常ニ刑法第三十六條ノ急迫不正ノ侵害ト云フ觀念ヲ離レテ居ナイコト、承知シテ居ルノデスガ、サウ致シマス、條文ニハ何

ト書イテアッテモ意義ハ急迫不正ノ侵害ヲ防衛スル行爲ノ例示ガ一號乃至三號デアル、斯ウ解釋セラレル、サウスレバ自由ト云フ文字ニ變ヘテモ、無論只今御話ノ通りニ、一分間ノ自由ト云フヤウナコトデハナク、急迫不正ノ侵害ト云フコトガ感ゼラレタルコトニ解釋シテ、少シモ疑モナケレバ弊害モ起ラナイト考ヘル、此法律ノ總テノコトヲ解釋スルニハ、急迫不正ノ觀念ヲ付ケテ解釋スルノカシナイノカ、斯ウ云フコトヲモウ一ツ御伺致シマス、ソレカラ段々長クナリマスカラ早クスル爲ニ繼續シテ御伺シマスガ、具體的ニ申シマス、第一條ノ第一號ニハ「盜犯ヲ防

止シ又ハ盜賊ヲ取還セントスルトキ」斯ウアルガ、盜犯ノ防止ト云フコトハドウ云フ意味カ、物ヲ取ッタト云フ行爲ヲ認メタ時ニハ、ソレハ盜犯タルコトハ疑ナイ、ソレハ後段ノ「盜賊ヲ取還セントスルトキ」斯ウ云フコトニ嵌マルガ、盜犯ヲ防止スルト云フコトハ、未ダ盜犯ニ著手セザル以前ニ於テ之ヲ防止スルト云フ觀念ノ外ニハ考ヘ得ラレナイ、例ヘテ申シマス、雨戸ヲ開ケントシテ居ル、若クハ開ケテ侵入シテ來タノミノ行爲ヲ見タト云フヤウナ場合、之ヲ盜犯防止ト云フノニハ、何ヲ以テ盜犯ト云フコトニ見ルカ、斯ウ云フコトガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ雨戸ヲ

開ケントシ、若クハ開ケテ侵入シタト云フ行爲ハ、第三號ノ「故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅ニ侵入シタル者」ト斯ウ云フコトニ見ルノデアルト云フコトニナリマス、侵入シタ時ニハソレデ宜シイカ、併ナガラ盜犯ヲ防止ト云フコトハ結局認メル標準ガ無いノミナラズ雨戸ヲ今開ケヤウトスルコトハ、侵入ハシテ居ナイ、サウ云フ時ニ雨戸ヲ開ケタバケ若クハ開ケントシテ居ル時ダケニ、盜犯ト云フコトガドウシテ解釋ガ付クカ、斯ウ云フコトヲ御伺致シマス

●泉二政府委員 第一條ノ規程ハ總テノ場合ニ急迫不正ノ侵害ヲ感ズルモノト考ヘテ宜シイカト云フ御質問デアッタト思ヒマスガ、一號二號三號ノ事實ニ對シテ急迫不正ノアルコトヲ條件トシテ居ル、ソレカラ本文ハ先刻カラ申上ゲマスヤウニ、急迫不正ノ侵害ト云フモノハ入ッテ居ル、不正ノ侵害ハ無論認メナケレバナラス、而モ現在ノ危險ト云フ程度デ宜シイ、斯ウ云フコトデ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ノ御質問ハ、盜犯ト云フコトハドウ云フモノデアルカ、物ヲ取ッタ場合ハ後段ニアルガ、取ラナイ前ノコトダケヲ意味スルモノト考ヘラレルガ、ソレニ付テドウ云フ標準デ認メルカト云フ御質問デアッタヤウデアリマス、窃盜トカ強盜ヲスル

目的サウ云フ考ヲ以チマシテ兩戸ヲコ
デ開ケントシテ居ル、コデ開ケテ居ル、
斯ウ云フ風ナ場合ニハ、既ニ盜犯ノ著
手ガアルト云フコトハ、判例デモ學說
デモ認メラレテ居ルノデアリマス、マ
ダ家ノ中ニ入ッテ來ナクテモ宜イノデ
アリマス、入ッテ來タ場合モ無論含ミマ
スガ、三號トク區別ハ、三號ニハ盜ト云
フ意思ガナイ場合ヲ考ヘテ居ル、一號
ハ一番特別ナ主ナル場合ヲ特ニ拔出シ
テ、盜ト云フ場合ヲ掲ゲテアルノデア
リマシテ、盜ノ意思ヲ以チ侵入シテ來
タナラバ矢張一號ニ該ル、侵入セヌト
雖モ御問ノヤウナ狀況ニナッテ居レバ
盜ト之ヲ認メル、斯ウ云フコトニナル
ノデゴザイマス、此法律案ノ規定スル
場合バカリデナクシテ、刑法ノ規定カ
ラ申シマシテモ、窃盜トカ強盜トカ云
フ者ガ入ラウトスル場合ニ、正當防衛
ヲ爲シ得ルコトハ無論先程カラ申上ゲ
テ居ル通り、又ソシテ事ハ専門家タル
牧野委員ハ私ノ説明ヲ俟タズシテ能ク
御了解ノコトデアラウト思ッテ居ル、サ
ウ云フ場合ハ一般ノ問題ニ關スルコト
デアルト思フ、夜夜中ニ兩戸ヲコデ開
ケテ入ッテ來ヤウトスル時ニハ、大體ニ
於テ是ハモウ御互ニ泥棒ダラウト思ヒ
マス、泥棒ト思フテ防衛ヲシタ、本當ニ
調べテ見タラ、ソレガ泥棒ノ積リデアッ
タ、強盜ノ積リデアッタ、斯ウ云フ場合

デアリマスレバ、其通りニ問題ハ解決サ
レマス、所ガ實ハ泥棒スル積リデハナ
カッタノダト云フコトニナルト云フト、
今度ハ第三號ニハ少クトモ入ル、斯ウ
云フ事ニナルダラウト思ヒマス、要ス
ルニ第三號ガアリマスレバ、一號ノ前
段ノ如キハナクテモ、解釋ノ上ニハ間
違ハ起ラヌト思ヒマス、ケレドモ一番
主ナル場合ヲ此處ニ書出シテ規定スル
ト云フコトハ、解釋規定トシテハ必要
ナ事デアルト云フノデ、一號ヲ特ニ抜
出シテアルノデアリマス

●牧野委員 只今ノ御説明ノ中デ分ッ
ヤウデ分ラヌ事ガ一ツアルノデアリマ
スガ、竊盜又ハ強盜ノ目的ヲ以テト云
フコトデスガ、防衛スル方デハ竊盜又
ハ強盜ノ目的デアルカ、面談要求ノ目
的デアルカ、若クハ正當ナル理由ガア
ルカ、少シモ區別ノ標準ガ立能ハヌカ
ラ、ソレヲ防衛スル方カラ見テ、盜犯
ト認メル其標準ガ何處ニ在ルカ、斯ウ
云フ事ヲ伺ヒタイ、所ガ實際ハ第三號
ニ至レバ、故ナク人ノ住居又ハ人ノ看
守スル邸宅ニ侵入シタル者ト云フ侵入
行為ガナケレバ、第三號ニ當符ラヌ、第
一號ニ於テ未ダ侵入シナイ者デモ盜犯
デアル者ナラバ殺傷シテ宜シイ、ソコ
デ侵入シナイ者ヲ盜犯ト認メル標準ガ
ナケレバ殺傷スルコトガ出來ナイ、其
未ダ侵入セザル者ニ對スル盜犯防止ノ

標準ガ何處ニ在ルカト云フコトガ御尋
ノ趣意デアリマス、ソレハドウ云フ所
カラ來ルカト云フト、斯ウ云フコトガ
想像サレル、門ト玄關ガ大變遠イ、幾ラ
呼鈴ヲ押シテモ、門ヲ叩イテモ起キテ
呉レナイ、ソコデ必要ノ二門戸ヲ開ケ、
ソレカラ玄關ニ侵入シテ、玄關ガ開カ
ナイカラ何處カ開キサウナ所ニ廻ッテ
開ケヤウト考ヘタ、併ナガラ目的ハ強
盜デモ竊盜デモナイ、親類間ノ必要ナ
ル協議ヲ要スル行為デアル、デアルカラ
入ッテモ侵入ニナラナイ場合ガアル、サ
ウ云フ場合ニ矢張盜犯防止ト云フコト
ニナルト云フト盜犯デハナイノダカ
ラ、サウ云フ者ヲ過ッテ殺傷シタ場合ニ
ハ、責任ノ起ルト云フ解釋ニナルノデ
アルカ、ナラナイノデアルカ、ソレガ第
一號トドウ云フ關係ヲ以テ解釋シ得ル
カ、斯ウ云フコトデアリマス

●泉二政府委員 盜犯ヲ防止スル、兎
ニ角調べテ見タ所ガ盜犯デアッタト云
フコトヲ此案デハ前提トシテ居リマ
ス、普通ノ場合デモ今ノ問題ハ必ズ起
テ來ルノデアリマス、今御話ノヤウニ、
裏ノ木戸ヲ無理ニ開ケテ入ラウトスル
者ガアル、ソレヲバ不法侵入者デア
ルト思ウテ、防衛行為ヲソレニ對シテ
ス、或害ヲ加ヘタ、斯ウ云フヤウナ場合
ニ、是ガ正當防衛ニナレルカドウカト
云フコトハ、普通ノ場合ニ付テモ問題

ガ起ルノデアリマス、サウ云フ場合ハ、
特ニ私カラ説明スルマデモナク、牧野
委員ニ於テハ、學說トシテ御承知デア
ルト思ヒマス、實際ソレハ泥棒デナク
シテ、親類ノ者ガ急用デ來テ、開ケヨウ
トシタモノデアアル、サウ云フ場合ニ防
衛者ノ方デ、泥棒ト思ッテソレニ對シ
テ防衛行為ヲ爲シテ、害ヲ發生シタト
云フコトハ、學說上誤想防衛ニ當ルノ
デアリマス、誤想防衛ニナリマス、犯
意ノアルモノトハ認メナイ、但シサウ
云フ場合ニ、過失ガアレバ罰スルト云
フコトガ、御承知ノ通りノ學說デア
ル、現行刑法ノ解釋デモサウナル思ヒマ
ス、此案ニ於キマシテハ事實調べテ見
タ所ガ、盜犯防止デアッタト云フコトガ
前提トナッテ、本人ハ盜犯防止ト考ヘ
タ、盜犯防止ニハナッテ居ナカッタ、ナッ
テ居ナカッタガ二號トカ三號トカニ當
居レバ宜シイ、盜犯デモナク、第二號第
三號デモナク、只今御假定ニナッタヤ
ウナ親類ガ見舞ニ來タ、所ガ表門ガ閉
テ居ッタカラ裏門カラ入ラウトシタト
云フヤウナ場合、事實上二號ニモ三號
ニモ當ラナイ場合、此場合ニハ普通ノ
誤想防衛ノ觀念ヲ以テ、普通ノ正當防
衛ノ場合ト同ジ理窟デ解釋スル、此案
デサウ云フ場合ヲ特ニドウシヨウト云
フコトハ認メテ居ラス、是ハ事實上盜
犯デナケレバナラヌト云フコトヲ第一

號ハ認メテ居リマス

●牧野委員

今一ツダケ御伺致シタ

イ、第二項ハ「自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危険アルニ非ズト雖モ行為者恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ因リ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スルニ至リタルトキハ之ヲ罰セズ」斯ウ云フ規定デアリマスガ、是ハ刑法ノドノ規定ニモ關係セズニ獨立ニ設ケラレタ規定デアルカ、關係ガアルトスレバ、刑法ノドノ規定ニ關係ガアルノデアリマスカ

●泉二政府委員

是ハ御質問ノヤウニ

現行刑法ノ明文ニハ現ハレテ居リマセヌ、此二項ノ規定ハ讀ンデ字ノ如ク、「前項各號ノ場合ニ於テ」ト云フコトヲ前提トシテ居リマス、即チ一號二號三號ノ事實ノアルコトヲ前提トシテ居リマス、若シ此事實ガナクテ、防衛者ガ錯覺ヲシタ場合ハ、先刻御質問ノヤウナ問題ニ歸著スル、第二項ハ第一號乃至第三號ノ事實ハアルガ、唯、第一項本文ニ書イテアルヤウナ現在ノ危険ハナイ、サウ云フ場合ニ恐怖驚愕等ノ餘リ他人ヲ殺傷スルニ至ツタ、斯ウ云フ場合ヲ是ハ規定シテ居ル、此二項ニ當ル場合、恐怖驚愕等ノ爲ニ防衛者ガ殆ド判斷ヲ失ツテ、殆ド無意識的ノ行為ヲシタ、斯ウ云フ場合ガ先ヅ第一ニ想像サレマス、ソレカラ第二ニハ判斷力ヲ失ッ

タト云フ程度ニマデ至ラヌケレドモ、

恐怖驚愕等ノ餘リ現在ノ危険アリト誤

判シタ、ソレデ殺傷スルニ至ツタ、斯ウ

云フ二ツノ場合ヲ是ハ包含シテ居リマ

ス、第一ノ場合ハ申上ゲル迄モナク、現

行刑法三十九條ノ一項カラ考ヘマシテ

「心神喪失者ノ行為ハ之ヲ罰セズ」ト云

フ規定ノ適用ハアリ得ルト思ヒマス、

ソレカラ第二ノ場合ハ、矢張誤想防衛

ト云フコトニナツテ來ルノデアリマス、

何レニシテモ第一號乃至第三號ノ事實

ハアルガ、其時ニ恐怖驚愕等ノ餘リ一

項ノ本文ニ書イテアルヤウナ、即チ生

命身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危険ハ

ナイノデアルケレドモ、是ガアルト云

フ風ニ慌テ、考ヘタ爲ニ殺傷スルニ

至ツタ、斯ウ云フ場合デアリマス、ソ

レハ其點ニ於テ矢張誤想防衛ノ觀念ト

同ジコトニナリマシテ、故意犯ヲ以テ

罰スルコトハ出來ナイ、ソレカラ過失

ガアレバ過失犯ヲ以テ論ズルコトハ出

來マセウケレドモ、ソレハ一號二號三

號ノ事實モナイト云フ場合ニハ、ソレ

デ宜シイノデスケレドモ、此場合ニハ

兎ニ角一號二號三號ノ事實ガアルト云

フコトヲ前提トシテ書イテアル、サウ

云フ事實ニ基イテ居ル所ノ誤想デア

ナラバ、過失ヲ問フト云フ必要モナイ

ノデアアル、サウ云フ風ニ現行刑法ノ解

釋トシテモ出來得ル、其第二ノ場合ニ

於テハ、此誤想防衛ノ法理ノ上カラ、サ

ウ云フ結論ニ歸著スル、何レモ此場合

ニ關スル明文ハアリマセヌケレドモ、

第一ノ場合ハ三十九條一項ノ適用トシ

テ解釋ガ出來ル、第二ノ場合ニ付キマ

シテハ、只今ノ誤想防衛ノ法理ノ上カ

ラ、之ヲ矢張罰スルコトガ出來ナイト

云フ結論ニ、現行法ノ解釋トシテ歸著

スル、ソレデ是ハ立法デアルカラサウ

云フ場合マデモ規定シテ置ク方ガ宜カ

ラウ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、尙ホ

序ニ申上ゲマスガ、其第二項ミタヤウ

ナ規定、之ニ類スル規定ハ今度ノ刑法

改正ノ際ニハ、三十六條ニモ矢張明文

ヲ置ク方ガ分リ易クテ宜カラウト云フ

ヤウナ考ニハナツテ居ルノデアリマス、

兎ニ角明文ハナイガ、解釋カラ言ヘバ、

此第二項ニアルノト同ジ結論ニナルヤ

ウニ解釋ガ出來ル、ソレニ對シテハ或

ル程度マデ意見ノ相違ハアリマセウ、

ドウセ一項ノ場合ニ付キマシテモ、多

少解釋上ノ意見ノ相違ハアリ得ルカラ

シテ、適當ト認メル解釋ヲ立法上認メ

テ居ル、斯ウ云フ趣意カラ本案ガ出來

テ居ルノデアリマスカラ、第二項モ同

様ナ精神デアルト云フコトヲ申上ゲテ

置キマス

●牧野委員 只今ノ御説明デ分ッタヤ

ウデスガ、只今ノ御説明ハ、本條ノ第一

號乃至第三號ノ事實ノナイノニ拘ラ

ズ、アリト誤想シタト云フヤウナ場合、

ソレカラ一號乃至三號ノ事實ガアツテ

モ、現在ノ危険ガナイノデアアルガ、アリ

ト誤想シタ場合、二ツヲ考ヘテ……

●泉二政府委員 一寸其處ニ誤解ガア

リマス、第一號乃至第三號ノ事實ガア

ルコトヲ何時モ前提トシテ御話シタノ

デ、一號乃至三號ノ事實ノナイ場合ハ、

普通ノ誤想防衛ノ場合デアツテ、此第二

項デハサウ云フ場合ハ認メテ居ラナ

イ、其事ヲ明ニスル爲ニ、前項各號ノコ

トヲ書イテアルト云フコトヲ申上ゲタ

ノデアリマスカラ、其事ハ誤解ノナイ

ヤウニ願ヒマス

●牧野委員 只今ノ御説明ノ中ノ過失

殺傷ヲ以テ論ズルト云フ場合ニハ、第

一號乃至第三號ノ事實ガナイノデア

ルケレドモ、アルト考ヘタ場合ヲ、過失殺

傷ヲ以テ論ズルト云フコトハ分リマ

ス、併ナガラ現在ノ危険アルニ非ズト

云フコトハ、現在ノ危険ガアルト誤想シ

タ場合ニ於テハ、即チ過失ヲ問ハヌ、斯

ウ云フコトニ非承致シタノデスガ、サ

ウスルト云フト恐怖、驚愕、興奮、狼狽

ト云フ場合ニ於テハ、現在ノ危険ト云

フコトヲ誤解シタ場合ノミノ規定ニナ

ルカドウカ、其點ヲ伺ヒマス

●泉二政府委員 大抵其御趣意通リデ

アルト思フテ居リマス、要スルニ第二

項ハ一號乃至三號ノ事實アルコトヲ絶

對ノ條件トスル、サウシテサウ云フ場

合ニ於テ恐怖、驚愕等ガアツテ、サウシ

テ現在危險ノ實在シナイノニアルト考

ヘタ場合デアレバ、常ニ此第二項ニ當

ル、斯ウ云フ趣意デアリマス

●牧野委員 此恐怖、驚愕、興奮、狼狽

ト云フノニ、特別ノ區別ガアルノデス

カ、ナイノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員 此恐怖、驚愕、興奮、

狼狽ト云フコトハ、或ル場合ニ於テハ、

是ハ重ナルモノダラウト思ヒマス、恐

怖、驚愕シテ狼狽シタトカ、興奮ノ餘リ

狼狽シタトカ、ソレカラ恐怖モシ、興奮

モスルト云フ場合モアル、ソレカラ恐

怖、驚愕トカ云フコトハ程度ノ問題デ

ル、是モ已ムヲ得ナイカモ知レマセヌ

ガ、其次ノ「又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場

所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスル

トキ」即チ一種ノ住居侵入罪デアルト

思ヒマスガ、故ナク入ッテ來ル者ハソレ

ハ非常ナ惡意モ推測出來マスガ、故ア

ッテ入ッテ來テ、サウシテ相當ノ話カ何カ

ヲシテ、君歸ッテ呉レ、斯ウ言ッテ退去ヲ

要求シタ、退去ヲ要求シタガ歸ラナイ、

ソレデ直ニ直接行動ニ移ッテモ宜イト

云フ意味ニシカハ見エナイノデス

ガ、斯ウ云フ場合ハ本案ノ盜犯防止ノ

問題ニ必要ノナイ條文デアルト思ヒマ

スガ、實際ノ例ヲ色々ナ場合ヲ想像致

シテ見マスルト、非常ニ良クナイコト

ガ屢々アラウト思ヒマス、此頃勞働爭

議ノ如キモノデモ、面會ニ來テ、重役ト

話ヲシテ、サウシテ歸レト言ッテモ歸ラ

ナイ、直グニ興奮ノ餘リ殺傷致シマシ

テモ差支ナイト云フコトニナルト、殆

ド今日新聞ニ書イテアルヤウナ斬捨御

免、亂暴狼藉ニナルヤウナコトニ、丁度

條件ガ具備シテ來ヤシナイカトモ思フ

ノデアリマスガ、背法ノ行爲ニ對シマ

シテ之ヲ防ギマスニ付テ、國民ニ總テ

直接行動ヲ許スト云フコトハ、是非

常ニ惡イコトデアアル、非常ニ思想ヲ惡

化セシムルコトデアラウト思フ、ソレ

デ私ハ「又ハ」ノ次ハ故ナク入ッテ來タ

者ニ退去ヲ命ズルト云フコトデアリマ

スレバ、故ナク入ッテ來タ者ニ對シテハ、

前段ノ條文デ十分支配出來ルノデア

リマスガ、「又ハ」要求ヲ受ケテ此等ノ場

所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスル

トキ」トアル所ヲ見マス、是等ノ邸

宅、建造物、船舶ヘ入ッテ參リマシタ時

分ニハ、故ナク入ッテ來タノデナク、正

當ナ理由アッテ入ッテ來タ者ト云フコト

ガ前提ニナル、是ガドウシテモ間違ッテ

居ルノデヤナイカ、ドウシテ此處ニ之

ヲ竝ベタノデアアルカ承ッテ見ケイ

●泉二政府委員 第三號ハ刑法第三百三

十條ノ不法侵入及不法退去ト云フ犯罪

其者ニ當ルノデアリマス、第三號ノ「退

去セザル者」ト云フマデハサウ云フ犯罪

者ニ對スル防衛ヲ認メテ居ル、刑法百

三十條ノ規定ニ依リマス、侵入スル

ノモ、要求ヲ受ケテ故ナク退去セザル

者モ同ジコトニ取扱ッテ居ル、住居ノ保

護ト云フコトカラ考ヘマシタナラバ、

其間ニ値打ガ違フモノトハ考ヘラレナ

イノデアリマス、無論「又ハ」以下ニモ

「故ナク」ト云フ文字ハ掛ッテ居ルト云

フコトニ刑法ノ解釋ガ行ハレテ居ルト

云フコトダケハ御諒解ヲ願ヒタイ

●藤田委員 私ハ淺學デサウ云フヤウ

ナコトヲ考ヘテ居リマセヌガ、住居ノ

神聖ヲ保持スル爲ノ百三十條ノ規定

ハ、斯ウモ取ラレマス「故ナク」人ノ住居

又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物、若ハ船

舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此

等ノ場所ヨリ退去セザル者」入ッテ來テ

話ヲシテ、ドウモ話ガ付カヌカラト云

フノデ退去ヲ命ズル、要求スルト云フ

コトモ住居ノ神聖ヲ保持スル理由ニナ

ルノデアリマスガ、只今ノ御解釋ニ依

ルト、入ッテ來タ時分ニハ平穩無事デ、

ソコカラ歸ッテ呉レト言ッテモ歸ラス、

是モ家宅侵入ニナルト云フ御解釋デス

カ

●泉二政府委員 故ナク入ッテ來タコ

トヲ前提トスルト云フコトハ、先刻申

上ゲナカッタノデアリマス、入ル時ハマ

ア何カ相當ノ理由デ管理者ノ意思ニ反

シナイノデアッタガ、入ッテ來テカラ、例

ヘバ色々ナ強請デモヤル、ソコデソ

●則元委員長 牧野君、質問ガモットア

リマスカ

シテ見マスルト、非常ニ良クナイコト

ガ屢々アラウト思ヒマス、此頃勞働爭

議ノ如キモノデモ、面會ニ來テ、重役ト

話ヲシテ、サウシテ歸レト言ッテモ歸ラ

ナイ、直グニ興奮ノ餘リ殺傷致シマシ

テモ差支ナイト云フコトニナルト、殆

ド今日新聞ニ書イテアルヤウナ斬捨御

免、亂暴狼藉ニナルヤウナコトニ、丁度

條件ガ具備シテ來ヤシナイカトモ思フ

ノデアリマスガ、背法ノ行爲ニ對シマ

シテ之ヲ防ギマスニ付テ、國民ニ總テ

直接行動ヲ許スト云フコトハ、是非

常ニ惡イコトデアアル、非常ニ思想ヲ惡

化セシムルコトデアラウト思フ、ソレ

デ私ハ「又ハ」ノ次ハ故ナク入ッテ來タ

ナコトハ御免蒙ルカラ早く歸ッテ呉レ、斯ウ言ッテモ故ナク退去シナイ、斯ウ云フ場合ニハ初カラ故ナク入ッタノト同ジヤウナ意味デ、刑法百三十條ノ規定ハ出來テ居ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、詰リ「故ナク」ト云フ文字ガ、其場所カラ故ナク退去セザル者ト、其處ニ入ルモノト御覽下サレバ宜シイ、刑法デハサウ云フ意味ニ解釋シテ居ルノデアリマス

●藤田委員 私ガ質シタイノハ其處デス、故ナク入ッテ來ル時分ニハ、其住居ニ居リマス者ノ意思ニ背キ、承諾ナシニ入ッテ來ルモノト見テ差支ナイノデアリマスガ、之ヲ防止スル爲已ムヲ得ズシテ殺傷ニ及ブカモ知レナイ、理由ガアッテ入ッテ來テ、話ヲシテ、其話ガ氣ニ入ラヌカラ退去ヲ命ジタ時分ニ、退去ヲセザル者ヲ排斥セントスル時、退去セヌ者ニ對シテ退去サセル爲ニ、積極的行動ヲ排斥スル、入ッタイカヌ、追出ス、叩ッ斬ッテモ宜イ、是程亂暴ナコトハ世ノ中ニナイト思フ、サウ云フコトデアレバ國家ノ權力ヲ以テ治安ヲ維持スル必要ハナイ、殆ド國民ノ自衛權ニ委ネテシマフヤウナ法律ニナッテシマフ、之ヲ實際ノ例ニ考ヘテ見マスト、屢々アル、例ヘバ友人ガッヤテ來テ何カ氣ニ合ハヌコトヲ言フ、忠告ヲ言フト、オ前ノ言フコトハ氣ニ入ラヌカラ歸レ

ト言ッテ肩ヲ押スト、何ヲ亂暴ナコトヲスルノカト言ッテ爭鬭ガ起ル、叩ッ斬ッテモ差支ナイト云フコトニナル、之ヲ裁判所ニ檢事ガ起訴ヲシテモ、此法律デハ無罪ニナッテシマフ、斯ウ云フ場合ヲ想像スレバ、盜犯ヲ防止スル目的ノ爲ニ立法セラレタモノトシテハ、弊害ガアリハシナイカ、政府ノ御考ヲ質シテ見タイ

●泉二政府委員 只今御話ニナリマシタヤウニ、本人ガ要求ヲ受ケテモ故ナクシテ退去シナイ場合、是ハ色々極端ノ場合ヲ考ヘマスト云フト、アナタノ御引キニナルヤウナ心配モ出マサガ、今度ハ試ニ一ツ地位ヲ變ヘテ、アナタノ所ニ強請ノヤウナ者ガ訪問シテ來テ面會ヲ求メタ、サウシテ面會ヲ爲サツタ、面會シタ以上ハ其強請者ガ何時マデ居ッテモ構ハヌ、アナタノ家中ヲ荒シ廻ッタ、又其事自體ガ別ニ犯罪ニナラナイ、入ッテ來タ以上ハ退去スル必要ハナイカラ何時迄モ居ル、サウ云フヤウナ場合ニ警察官ヲ直グ呼ンデ、直グ來ルゴトガ出來レバ宜シイガ、サウ出來ナイ場合モアリマセウ、ソシテ時ニアナタガ若シサウ云フ場合ニ御立チニナッタナラバ、ソレハ放ッテ置ク方ガ宜イト云フコトニ御考ヘニナリマセウカ、其處ハ一寸議論メイテ來マシタガ、マア隨分困ル場合モアルノデアリマシテ、

現行刑法ノ規定ダケニ依リマシテモ、サウ云フ場合ニ對シテ正當防衛ヲ爲シ得ルコトハ是ハ疑ナイ、百三十條ノ前段ノモノニ對シテノミナラズ、後段ノモノニ對シテモ、正當防衛ヲ爲シ得ルコトハ疑ナイ、唯々茲ニ問題トシテ居リマスノハ、サウ云フ場合デアッテモ、或ハ泥棒ノヤウナ場合デアッテモ、殺生マデアルコトニナルト、ドウナルダラウカ、ソレニ付テハ多數ノ今日ノ學者ハ、必要デアル以上ハ、其不法者ヲ排斥スル爲ニハ、ドンナ輕微ナ利益ヲ保護スルガ爲ニモ、生命ヲ奪フテモ宜シイ、正當防衛ノ觀念ハ、正ハ不正ニ讓ルモノデナイ、權利ハ權利、正ハ正トシテ何處迄モ貫徹シタラ宜シイノデアリマス、斯ウ云フ考デ正當防衛ノ規定ハ出來テ居ルノデアリマスカラ、何處迄モ何等カ防衛ノ必要サヘアレバ、殺生シテモ何等差支ナイ、寧ロ今日ハ反對説モ先程カラ申シマスヤウニアリマスケレドモ、一方ニ於テハ是ガ多數デアリマシテ、斯ウ云フ規定ガ無クテモ只今ノヤウナ御話ノ場合ニ付テ、サウ云フ解釋ガ果シテ正シイカ否カト云フ議論ハ出テ來ルノデアリマスガ、兎モ角サウ云フ狀態ニ於ケル場合ハ、其處迄ヤッテモ正當防衛トスルト云フコトニ、今日ノヤウナ暴力的ノ行動ガ、殆ド法律秩序ヲ無視

シテ、到ル處ニ行ハレルト云フコトデハ、社會ノ秩序ノ維持ガ出來ナイ、サウ云フ考デ此法律ハ必要デアラウト云フコトデ、單ニ盜犯バカリニ限ラズ、盜犯等ノ防止ト云フコトニシヨウト云フノガ、此立案ノ趣旨デアルノデアリマス

●藤田委員 只今ノ御説明ノ趣旨ダケハ了解シマシタガ、直ニ私ハ贊成ガ出來ナイ氣ガシマス、寧ロ意見ガ違フノデアリマス、是ハ留保シテ置キマス第二項ノ所デ一寸モウ一ツ聞イテ置キタイト思ヒマス、此「恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽」モ成程免責トシテ、責任ヲ免除シテモ宜イト思ヒマスガ、興奮ト云フ文字ハ、私共ドウモ氣ニ入ラヌ、現在ノ危險アルニ非ズト雖モ興奮シテ——興奮ト云フノハ積極的ニ腹立ッタイヤウナ意味ニ聞エルノデアリマス、是ハ私ハ淺學デアリマスガ、サウチャナイ極度ノ恐怖モサウナルノカ分リマセヌケレドモ、興奮ヲシテサウシタル、ソレモ責任ヲ問ハナイ、斯ウ云フコトハドウモ餘リ極端ナヤウナ考ガ致スノデアリマスガ、不正ノ侵害ニ對シマシテ腹ヲ立テ、叩ッ斬ッテシマッテモ宜イト云フ意味デアルカ、腹立ッテヤッタヲ窮迫ナル現在ノ危險ハナイケレドモヤッテシマフ、ソレデモ無罪ニシテシマウノダ、斯ウ云フ趣旨ナンデスカ

●泉二政府委員 是ハ餘程程度ノ強イ場合ヲ兎ニ角考ヘテ居ルト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

●藤田委員 サウスルト只今ノ御説明ニ依ルト、立法シタ人ガ實際問題トシテ裁判スルノナラ宜イガ、裁判所ヘ持出シテシマフト興奮ノ程度ガ非常ニ強カッタトカ、非常ニ低カッタトカ、低イモノハ責任ガアルト云フノデ、法律ノ解釋ガ色々ニナルト思ヒマス、サウ云フヤウナ風ニ御考ヘニナルナラバ、恐怖ノ爲、驚愕ノ爲遂ニ狼狽シテヤッタト云フ分ダケヲ置イテ「興奮」ト云フ二字ハ削除シテシマッタ方ガ穩當ノヤウニ思ヒマスガ、ドンナモノデゴザイマセウカ、御考ガ承リタイ

●泉二政府委員 其點モ隨分議論ガアリマシテ、色々研究シマシタ結果、是モ入ル方ガ宜カラウ、單純ニ第一項ノ本文ニ對スル關係ダケデアリマスと云フト、此二項ハ少シ酷過ギヤセスカト云フ疑ガアルノデスケレドモ、兎ニ角是ハ一號二號三號ノ事實ハアル、此事實ガ無クテモ興奮シタラバ二項ニ入ルト云フノデハナイ、兎ニ角一號乃至三號ノ事實ハ能ク調ベタラ此ノ通りデアッタ、其點ハ少シモ間違ハナカッタ、唯、一項ノ本文ニ付テダケハ、一寸誤解ヲシタトカ、或ハ判斷力ヲ失ッテシマッタト云フガ爲ニ、殺傷ヲシタト云フ場合

ダケヲ、二項ハ見テ居リマスカラ、單純ニ一號乃至三號ノ事實ガナイニ拘ラズ、ソレモアルト誤信シタナド、云フ場合トハ、大分趣ガ違フノデアリマスカラ、ソコデ防衛者ガ之ヲ正當ノ防衛ヲスルノデアルカラ、是ハ保護スベキモノデアルト云フコトカラ致シマシテ、興奮ニ依ッテヤッタト云フ場合モ、之ヲ入レル方ガ適當デアルト云フコトニ、色々是ハ——只今御質問ノヤウナルコトハ、立案ノ際ノ刑法改正委員會ト云フ、朝野ノ専門家ヲ以テ組織サレテ居ル委員會ガアリマシテ、其所デ隨分精密ニ研究シタ結果、是ガ宜カラウト云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

●小野寺委員 本案ハ極メテ私共ノ考ト致シマシテハ、刑法上ノ一大革新トモ言ハレルヤウナ程度ノ文字モアルヤウデアリマスルカラ、サウ云フ趣旨ノコトモアルヤウニ見エルノデアリマス、先ヅ第一ニ此一昨日大臣カラ致シマシテ立法ノ趣旨ニ付テ御説明ガアリ、其際ノ御話ニ依リマスルトイフト、現在ノ刑法三十六條ノ規定ヲ以テシテハ餘リ抽象的ノ文字デアアル、一般ガ其行爲ノ程度ヲ知ルコトガ中々ムヅカシイ、是ハ抽象的ノ規定ヲ更ニ具體的ニ解釋的ノ説明ヲシテ置イタ方ガ宜シイデアラウト云フヤウナ疑カラ、一ツ斯ウ云

フ第一條ヲ設ケラレルヤウニナッタト云フ御話デアリマス、モウ一ツハ盜犯等ノ——殊ニ強盜ニ對スル被害者ノ立場カラ之ヲ見マスルト、是ダケノコトヲシテモ正當防衛ニナルカ、ナラヌカウツカリスルト經過行爲ニナルト云フ風ナ考カラ、ドウシテモ此侵害者ニ對スル反撃ト云フモノガ覆ヘルト云フヤウナ形ガアルト云フヤウニ考ヘラレ、是ハサウ云フコトデハナク、強盜、竊盜ニ對シテ直ニ之ニ反撃ヲ加ヘテ毫モ差支ナイト云フヤウナ觀念ヲ與ヘテ置ク必要ガアルト云フコトニ私ハ拜聴致シマシタ、サウシマスと、此立法ノ精神ト云フモノガ大體第二條ニ於キマシテハ更ニ議論ガアリマセウガ、第一條ニ於ケル立法ノ精神ト云フモノハ其二點ダケデアリマセウカ、ソレヲ先ヅ伺ヒタイ

●泉二政府委員 最モ必要ヲ感ズル動機ハ其二點ト申上ゲテ宜シイノデアリマス

●小野寺委員 サウシマスと、私共ノ懸念致シマスル所デハ、第一抽象的ノ規定ヲ、更ニ具體的ノ規定ヲ解釋的ノ規定ヲ置イテ改メ、斯ウ云フ點カラドウ云フ結果ガ齎ラサレルカト考ヘマスレバ、勿論一般カラ犯人ノ方カラ申シマスルナラバ、斯ウ云フ規定ガアルノデアルカラ、ウツカリシタコトハ出來

ナイト云フノデ警戒ニモナリマセウ、併ナガラ被害者ノ方カラ申シマスルナラバ、斯ウ云フ規定ガアルノダカラシテ、直ニ反撃ヲ加ヘ、殺傷ヲ致シマシテモ、何等差支ナイト云フヤウナ殺伐ノ觀念ヲ持ッテ來ルダラウト考ヘラレル、サウ致シマスルト云フト侵害者ノアリマシタ場合ニ、普通デアアルナラバ怪我ヲスルトカ、或ハ自分ノ生命ニ危險ヲ齎ラスト云フヤウナコトガ考ヘラレ、バ幾ラカ考慮ノ點モアルダラウト考ヘラレル、所ガサウデヤナイ、更ニ反撃ヲ加ヘテ詰リ侵害者ノ間ニ爭鬭ヲ惹起スルコトヲ獎勵スルヤウナ意味ニナッテ、却テ此慘劇ヲ増スヤウナ結果ニナリハセスカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、其點ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ伺ヒタイ

●泉二政府委員 立案ニ付キマシテハサウ云フ點モ相當ニ考慮ヲシテ居ルノデアリマス、其點ニ付キマシテハ、此施行ノ結果ヲ見ナケレバ確實ニ斯ウデアルト云フ斷言ハ出來ナイカモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトハ兎ニ角申上ゲルコトガ出來ヤウ、此規定ハ御承知ノヤウニ、舊刑法ノ第三百十五條ノ規定ヲソツクリト取ッテ來タ、ソツクリ取ッテ來タト云フヨリハ、舊刑法第三百十五條ノ中カラ、或ル部分ハ除イテ今日ノ世相ニ照シテ最モ必要ナ部分ダケヲ持ッ

テ來テ居ルノデアリマス、ソコデ舊刑法時代ニハ斯ウ云フ具體的ノ刑法ノ規定ガアツテ、現行刑法ノ規定ニナツテカラ、三十六條見タイナ抽象的ノ規定ニナツテ來タノデアリマスガ、現行刑法ノ規定ニナツテカラハ、強盜殺伐デナクテ、舊刑法時代ニハ殺伐デアッタト云フコトハ、少シモ證明ガ付カナイノデアリマス、此規定ガ一寸變テ居ルカラト云フコトハ、其爲ニ直グ強盜殺伐ニナルカ、ナラヌカト云フコトハ、ソレハ影響ガナイコトデアラウ、ソレハ現行刑法ガ舊刑法カラ變タ時及今日ニ至ル迄ノ經驗ニ即シテモ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル、ソレカラモウ一ツハ、斯ウ云フ規定ガ出來タカラト云フテ、直ニ皆シナガ刀デアルトカ、「ピストル」デアルトカ云フヤウナモノヲ買入レテ、強盜殺伐來タラバ直グ是デ以テヤツテヤラウト云フヤウナ準備ヲ、皆ガスルトハ私ハ考ヘマセヌ、サウ云フ風ニヤラウト云フ場合ニハ、是ハ差支ナイヤウニシテ置クト云フダケノコトデアリマシテ、是ガ爲ニ例ヘバ私個人カラ申上ゲマスルト、此規定ガ出來タカラト云ツテ、直ニ其防衛ノ準備ヲシヨウトハ考ヘマセヌ、恐ラク皆サンモ御同様ヂヤナイカ知ラント思ヒマスガ、要スルニサウ云フ防衛ヲヤツタ場合ニハ、ソレヲ正當ノ防衛ト見ルノダト云フコトヲ

言フダケデアリマシテ、此爲ニ事實上非常ニ殺伐ノ氣風ヲ獎勵スルコトニナルト云フ風ニハ考ヘル必要ハナイノデハナカラウカ、理論的ニハ只今ノ御話ノヤウナコトハ考ヘラレ得ルノデアリマスルガ、本案ト致シマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ理由デ、少シ位サウ云フ惧レガアルニシテモ、尙ホ此規定ヲ設ケルト云フ必要ノ方カラ見テ、之ヲ制定スルノガ宜シイノデアルト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

●小野寺委員 只今ノ御答デ被害者ノ側ノ方ノ心理狀態ニ付テハ、大體斯ウ云フ規定ガアルトシテ、防衛ノ準備ヲシテ居ルト云フコトモアリマスマイ、サウ云フ人モアルカモ知レマセヌガ、極ク少イ人デアラウト思ヒマス、唯、斯ウ云フ規定ガ公布サレルコトニナリマシタ場合、既ニ新聞ナドニモ盛ニ書イテ居リマスヤウニ、相當ニ強盜殺ノ方面ニ對シテハ反響ガアルモノト考ヘテ居ル、サウ云フ危險性ガアル者ガ愈々入ラナイノナラ宜イ、強盜殺ニ入ッタ後ニ、愈々暴力ヲ用ユルト云フ場合ニハ、反響ヲ受ケナイ程度マデ強ク懲ラシメテ置カナケレバ、マゴロ／＼スレバ自分ノ方モ怪我ヲスル、或ハ生命ヲ奪ハレテモ仕方ガナイト云フヤウナ立場ニナルカラト云フノデ、犯人ノ方カラ申シマスレバ、ドウシテモ手段ハ慘烈

ニナラナケレバナラナイヤウニ考ヘアル、此點ハ當然サウ云フ結論ニナツテ來ルト存ジマスガ、政府委員ハドウ云フ御考デアリマスカ、其點ヲ一寸伺ッテ置キタイ

●泉二政府委員 只今犯人ト仰シヤッタガ、強盜殺ノ方デゴザイマスカ(小野寺委員「エ、サウデス」ト呼フ)其ノ方ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、舊刑法第三百十五條ノ中ノ一部分ヲソックリト持ッテ來タノデアリマスガ、舊刑法時代ニハ第三百十五條ノ規定ガアッタカラト云フノデ、強盜殺ガ所謂慘烈ノ手段ヲ今日ヨリモ著シク採用シタノデアアルカト云フト、サウ云フ事實ハ少シモ見エテ居ラナイ、ダカラ此法律ガ出タカラト云ウテ、ソレハ全クナイト云フ斷定ヲ申上ゲルノハ無理カモ知レマセヌガ、サウ影響ノ著シイモノハナイノダト云フコトヲ申上ゲマス

テ來テ居ルノデアリマス、ソコデ舊刑法時代ニハ斯ウ云フ具體的ノ刑法ノ規定ガアツテ、現行刑法ノ規定ニナツテカラ、三十六條見タイナ抽象的ノ規定ニナツテ來タノデアリマスガ、現行刑法ノ規定ニナツテカラハ、強盜殺伐デナクテ、舊刑法時代ニハ殺伐デアッタト云フコトハ、少シモ證明ガ付カナイノデアリマス、此規定ガ一寸變テ居ルカラト云フコトハ、其爲ニ直グ強盜殺伐ニナルカ、ナラヌカト云フコトハ、ソレハ影響ガナイコトデアラウ、ソレハ現行刑法ガ舊刑法カラ變タ時及今日ニ至ル迄ノ經驗ニ即シテモ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル、ソレカラモウ一ツハ、斯ウ云フ規定ガ出來タカラト云フテ、直ニ皆シナガ刀デアルトカ、「ピストル」デアルトカ云フヤウナモノヲ買入レテ、強盜殺伐來タラバ直グ是デ以テヤツテヤラウト云フヤウナ準備ヲ、皆ガスルトハ私ハ考ヘマセヌ、サウ云フ風ニヤラウト云フ場合ニハ、是ハ差支ナイヤウニシテ置クト云フダケノコトデアリマシテ、是ガ爲ニ例ヘバ私個人カラ申上ゲマスルト、此規定ガ出來タカラト云ツテ、直ニ其防衛ノ準備ヲシヨウトハ考ヘマセヌ、恐ラク皆サンモ御同様ヂヤナイカ知ラント思ヒマスガ、要スルニサウ云フ防衛ヲヤツタ場合ニハ、ソレヲ正當ノ防衛ト見ルノダト云フコトヲ

言フダケデアリマシテ、此爲ニ事實上非常ニ殺伐ノ氣風ヲ獎勵スルコトニナルト云フ風ニハ考ヘル必要ハナイノデハナカラウカ、理論的ニハ只今ノ御話ノヤウナコトハ考ヘラレ得ルノデアリマスルガ、本案ト致シマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ理由デ、少シ位サウ云フ惧レガアルニシテモ、尙ホ此規定ヲ設ケルト云フ必要ノ方カラ見テ、之ヲ制定スルノガ宜シイノデアルト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

●泉二政府委員 只今犯人ト仰シヤッタガ、強盜殺ノ方デゴザイマスカ(小野寺委員「エ、サウデス」ト呼フ)其ノ方ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、舊刑法第三百十五條ノ中ノ一部分ヲソックリト持ッテ來タノデアリマスガ、舊刑法時代ニハ第三百十五條ノ規定ガアッタカラト云フノデ、強盜殺ガ所謂慘烈ノ手段ヲ今日ヨリモ著シク採用シタノデアアルカト云フト、サウ云フ事實ハ少シモ見エテ居ラナイ、ダカラ此法律ガ出タカラト云ウテ、ソレハ全クナイト云フ斷定ヲ申上ゲルノハ無理カモ知レマセヌガ、サウ影響ノ著シイモノハナイノダト云フコトヲ申上ゲマス

●泉二政府委員 擴張デハナイ積リデアリマス、一號二號三號ノ急迫不正ノ侵害ガアルト云フコトヲ前提トスルト云フコトハ、御意見ノ通りデアリマス、其急迫不正ノ侵害ガアレバ、之ニ對シテ防衛ガ出來ルガ、其防衛ガ已ムコトヲ得ザルニ出タル場合ト云フ條件ノアルコトモ、御承知ノ通りデアリマス、ソコデ此一項ノ本文ミタヤウナ狀況ガ加ハレバ、已ムコトヲ得ザルニ出タモノト見ル、斯ウ云フ趣意デアリマスカラ、サウ御承知ヲ願ヒマス、舊刑法三百十五條ハ御手許ニモ差上ゲテアリマス參考書ニ「左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得ザルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ」ト斯ウアリマス、其已ムコトヲ得ザルニ出テト云フコトガ、ドウ云フコトデアルカ

ト云フコトガ、矢張解釋上ノ疑問ニナッテ居ル、ソコデ此一號乃至三號ノヤウナ事實ノアル上ニ、尙ホ一方本文ノヤウナ危險ガアツテ殺傷シタ場合ニハ、是ハ已ムコトヲ得ザルニ出テ人ヲ殺傷シタルモノト見ルゾ、斯ウ云フ意味ヲ明ニシタモノト御承知ヲ願ヒタイ

●則元委員長 マダ質問ガ盡キナイヤウニ思ヒマスカラ、午後ニ繼續致シマス、午後一時ヨリ此席デ更ニ開會スルコト、シテ休憩致シマス

正午十二時休憩

午後一時十七分開議

●則元委員長 ソレデハ午前ニ引續キ盜犯防止ノ委員會ヲ開キマス、質問ヲ繼續致シマス——原君

●原(夫)委員 私ノ御尋シタイノハ第一條ノ三號ト、ソレカラ二項トニ付テデスガ、先ヅ此三號ヲ設ケタ理由ヲ、午前中ニ御話ガアツタヤウデスガ、モウ一遍三號ニ付テダケ立法ノ趣旨ヲ御話願ヒタイデス

●泉二政府委員 第三號ハ御承知ノヤウニ刑法第三百三十條ニ規定シテアル不法侵入及不法不退去ニ對スル防衛權ヲ規定シテ居ルノデアリマス、現行刑法ニ依ツテモ勿論防衛權ハ行ハレ得ルノデアリマシテ、特ニ防衛權ガ行ハレ得ルト云フコトヲ明ニスル必要ハアリマ

セスケレドモ、矢張第一項本文ノヤウナ事情ガ之ニ加ハレバ、此三號ノヤウナ場合ニ於ケル防衛ハ、已ムヲ得ザルニ出デタ行爲デアルト認メル、即チ刑法第三十六條第一項ニ該當スル正當防衛デアルト云フ、斯ウ云フ事ヲ説明スル趣意デアリマス

●原(夫)委員 ソコデ第一條ノ第一項ノ本文ノ「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フコト、ノ聯絡ニナルノデスガ、此點ニ付テハ午前中モ色々御説明ガアツタヤウデアリマスガ、現在ノ危險ヲ排除スル爲ニ、家宅侵入ニ對シテ正當防衛權ヲ行使スルコトガ出來ル、一言ニ申セバサウ云フ事ニナルノデスガ、其「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フノハ、刑法第三十六條ノ「已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲」ソレヲ少シ變ヘルト云フ爲ニ「現在ノ危險ヲ排除スル」ト云フ文字ヲ使ハレタノカ、矢張已ムコトヲ得ザルニ出デタルコトニナルノカ、ソレヲ明ニシテ置キタイノデスガ……

●泉二政府委員 已ムコトヲ得ザルニ出タト云フコトヲ、ドウ云フ風ニ解釋スルカト云フコトガ問題ニナツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、多數ノ學說デハ午前中ニ申上ゲマシタヤウニ、正ト不正ノ戰ニ付テハ正ガ常ニ打勝ツベキモノデアリマス、權利ハ不法ニ讓ルベキモノデハナイト云フ立場カル

ラ、一號、二號、三號ノ正當防衛ヲ行フニ當ツテ、殺傷ヲシテモ是ハ已ムコトヲ得ザルニ出タルト云フコトニハ當ル、斯ウ云フ說モアリマスケレドモ、イヤサウデヤナイ、一號、二號、三號ノヤウナ事實ニ對スル正當防衛ニ於テ、人ヲ殺傷ヲスルト云フコトマデニ進ムノハ進ミ過ギテ居ルノダカラ、已ムコトヲ得ザルニ出デタルト云フコトハ出來ナイ、デアルカラ過剰防衛ト認メナケレバナラヌノデアルト云フ說モ一方ニハアルノデアアル、併ナガラ既ニ舊刑法三百十五條デモ認メテアリマスカラ、是等ノ場合ニ於テ已ムコトヲ得ザルニ出デタル時ニハ、殺傷ヲシテモ其罪ヲ論ゼズト云フコトニナツテ居リマスカラ、其程度ガ殺傷ト云フコトニ至ツテモ差支ナイト云フコトヲ此方ニ明ニシヤウ、併ナガラソレニハ一號、二號、三號ノ事實ニ加フルニ、一項ノ本文ノヤウナ狀況ノアルコトヲ條件トスル、此條件ガ備ハレバモウ殺傷モ必要ノ程度ヲ超エタモノトハ認メナイ、即チ已ムヲ得ザルニ出デタルモノデアルト云フコトデ、三十三條ノ一項ノ適用ガアルト云フコトヲ明示ショウ、茲ニ掲ゲタ外ノコトハ、全ク刑法ニ委シテ居ルノデアツテ、唯、此處ニ書イテアル場合ダケニ付テ必要ト認メテ立法解釋ヲ與ヘ

●原(夫)委員 先ヅ舊刑法ハ新刑法デ改ツテ居ルノデアリマスカラ、私ハ舊刑法ノコトハ暫ク措イテ、我國ノ現行刑法ト此規定ノ關係、而シテ學說等ノ點モ色々アルヤウデアリマスガ現行刑法ノ第三十六條ニハ「急迫不正ノ侵害」ト云フコト、相俟ツテ「已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲」斯ウ云フ條件ガ併立シテ居ルノデアリマスカラ、ソコデ先程モ議論ガアツタノデアリマスガ、一號乃至三號ノ場合ハ急迫ノ場合デアアル、而シテ實際防衛行爲ノ側カラ言ヘバ、現在ノ危險ヲ排除スル爲デアアル、斯ウ云フ解釋ニナツテ居ルノデアリマスカラ、ソコデ此處デハ防衛行爲ノ側カラ見テ、何モ急迫ナ狀態ガナクテモ宜シイノデアアル、ソレハ現在ノ危險ヲ排除スル爲デ宜シイノデアアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、ソコデ三十三條ノ正當防衛ノ法規ト、是トガ矢張解釋立法ニナルカ擴張ニナルカト云フ議論ノ岐レル衝點ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此處デ唯、三十三條ノ急迫不正ノ侵害デナクテモ宜シイカラ、已ムコトヲ得ザルニ出テタルト云フ文字ダケヲ、現在ノ危險ヲ排除スル爲ト云フ風ニ、具體的ニ文字ヲ變ヘタルデアアル、斯ウ云フ御説明ニナツテ居ルト云フト、三十三條ノ此急迫不正ト云フ條件ヲ取除イタ、其關係ニ於テハ、三

十六條ノ正當防衛ノ解釋立法デアルト云フコトニハ、一言ニシテハ言ヘナイヤウニ思ハレマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

至三號ノ事實急迫不正ノ侵害ガアル際ニ、ソレニ加フルニ一項ノ本文見タヤウナ危險ガアツテ、ソレデ正當防衛上殺傷ヲスルニ至ッタノデアルト云フコトニナレバ、即チ已ムヲ得ザルニ出デタル行爲デアルト解釋ヲスルニハ、ソレハ反對說ノ方カラ言フテモ反對ハナイコトダト思フノデアリマス、デスカラ斯ウ云フ場合ニ付テハ、其事ヲ唯々此處ニハッキリト現ハシタニ過ギナイ、斯ウ云フ事情ガアレバ急迫不正ノ侵害ニ對シテ、已ムヲ得ザルニ出デタル行爲、即チ必要ノ程度ヲ超エザル行爲トシテ

モ侵入ヲ防止スルコトガ出來ナケレバ困ルカラト云フコトデ、即チ盜犯以外ニモ之ヲ及ボスト云フ考ハ固ヨリアルノデアリマス

●泉二政府委員 泥棒ガ逃ゲテ行クト云フ場合ニハ、大體ニ於テ「自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル」ト云フ條件ハ無イコトニナルダラウト思ヒマス

●泉二政府委員 一號乃至三號ノヤウナ事實ガアツテ、ソレニ對シテ正當防衛ヲ行ツタ、正當防衛ヲ行フニ際シテ、遂ニ此侵入者ヲ殺傷マデシタ、斯ウ云フ事實ガアルト假定致シマス、其時ニハ必ズソレハ已ムコトヲ得ザルニ出デタルモノデアルカドウカト云フコトヲ一方ニ於テ決メナケレバ、ソレガ正當防衛デアルカ、程度ヲ超エタルモノトナルカドウカト云フ問題ガ起ツテ來ル、ソコデ已ムコトヲ得ザルニ出デタルモノデアルカドウカト云フコトヲ判斷スル

●原(夫)委員 具體的ニ一ツ御尋シタインデスガ、此第三號ノ家宅侵入罪ノ場合ハ、是ハ主ニ盜犯防止ノ見地カラト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、盜犯ニ非ザル場合モ、矢張文字ノ規定ノ上カラ言ヘバ、此中ニ入ルコトニナルノデスガ、ソレヲ御認ニナルノデアリマスカ

●原(夫)委員 盜犯防止以外ニモ此規定ガ及ブトスレバ、主ナルモノハ矢張暴力團ノ制止見タヤウナコトニナルノデスガ、サウスルト云フト、此改正ノ範圍ガ大分擴張ニナツテ一面治安維持ノ爲ニスル、特別ナ規定ノヤウナモノモ此中ニ包含スルヤウニナリハシナイカト思フノデスガ、其點ハドウデアリマスカ

●泉二政府委員 例ヘバ泥棒等ガ——マア說教強盜見タヤウナ者ガ入ッテ來テ品物ヲ既ニ取ッテシマツテカラ、悠々ト二時間モ三時間モ部屋ニ泊込デ居ル、其時ソレヲ取還サウトスルト、却テ反對ニ身體、生命、貞操ニ危險ヲ感ズル斯ウ云フヤウナ場合ヲ想像スルコトガ出來ルト思フノデアリマス

●原(夫)委員 具體的ニ一ツ御尋シタインデスガ、此第三號ノ家宅侵入罪ノ場合ハ、是ハ主ニ盜犯防止ノ見地カラト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、盜犯ニ非ザル場合モ、矢張文字ノ規定ノ上カラ言ヘバ、此中ニ入ルコトニナルノデスガ、ソレヲ御認ニナルノデアリマスカ

●原(夫)委員 次ニ是ハ既ニ議論モアッタヤウデアリマスガ「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フ文字ガアル爲ニ、例ヘバ泥棒ガ垣根ヲ越エテ逃ゲル所ヲ垣根ノ内カラ「ビストル」デソレヲ射撃スルト云フヤウナ場合ハ、此急迫ノ度ヲモウ超シテ居ルヤウニ思フノデスガ、サウスルト云フヤウナ場合ニ於テモ、矢張本法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ

●泉二政府委員 此一號、二號、三號ニ書イテアル場合ハ、文字通りニ矢張廣クスルト云フコトガ、此法律ヲ制定スル目的ヲ達スル所以デアツテ、此法律デ

●原(夫)委員 サウスルト其屋敷ヲ出テ逃ゲ居ル、ソコデ盜賊品ヲ取還サウト云フ場合ニ「ビストル」デ撃ツ、是モ矢張保護ヲ受ケサウナモノニ考ヘラレ

●原(夫)委員 具體的ニ一ツ御尋シタインデスガ、此第三號ノ家宅侵入罪ノ場合ハ、是ハ主ニ盜犯防止ノ見地カラト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、盜犯ニ非ザル場合モ、矢張文字ノ規定ノ上カラ言ヘバ、此中ニ入ルコトニナルノデスガ、ソレヲ御認ニナルノデアリマスカ

●原(夫)委員 次ニ是ハ既ニ議論モアッタヤウデアリマスガ「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フ文字ガアル爲ニ、例ヘバ泥棒ガ垣根ヲ越エテ逃ゲル所ヲ垣根ノ内カラ「ビストル」デソレヲ射撃スルト云フヤウナ場合ハ、此急迫ノ度ヲモウ超シテ居ルヤウニ思フノデスガ、サウスルト云フヤウナ場合ニ於テモ、矢張本法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ

●泉二政府委員 此一號、二號、三號ニ書イテアル場合ハ、文字通りニ矢張廣クスルト云フコトガ、此法律ヲ制定スル目的ヲ達スル所以デアツテ、此法律デ

●原(夫)委員 サウスルト其屋敷ヲ出テ逃ゲ居ル、ソコデ盜賊品ヲ取還サウト云フ場合ニ「ビストル」デ撃ツ、是モ矢張保護ヲ受ケサウナモノニ考ヘラレ

●原(夫)委員 具體的ニ一ツ御尋シタインデスガ、此第三號ノ家宅侵入罪ノ場合ハ、是ハ主ニ盜犯防止ノ見地カラト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、盜犯ニ非ザル場合モ、矢張文字ノ規定ノ上カラ言ヘバ、此中ニ入ルコトニナルノデスガ、ソレヲ御認ニナルノデアリマスカ

●原(夫)委員 次ニ是ハ既ニ議論モアッタヤウデアリマスガ「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フ文字ガアル爲ニ、例ヘバ泥棒ガ垣根ヲ越エテ逃ゲル所ヲ垣根ノ内カラ「ビストル」デソレヲ射撃スルト云フヤウナ場合ハ、此急迫ノ度ヲモウ超シテ居ルヤウニ思フノデスガ、サウスルト云フヤウナ場合ニ於テモ、矢張本法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ

●泉二政府委員 此一號、二號、三號ニ書イテアル場合ハ、文字通りニ矢張廣クスルト云フコトガ、此法律ヲ制定スル目的ヲ達スル所以デアツテ、此法律デ

●原(夫)委員 サウスルト其屋敷ヲ出テ逃ゲ居ル、ソコデ盜賊品ヲ取還サウト云フ場合ニ「ビストル」デ撃ツ、是モ矢張保護ヲ受ケサウナモノニ考ヘラレ

●原(夫)委員 具體的ニ一ツ御尋シタインデスガ、此第三號ノ家宅侵入罪ノ場合ハ、是ハ主ニ盜犯防止ノ見地カラト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、盜犯ニ非ザル場合モ、矢張文字ノ規定ノ上カラ言ヘバ、此中ニ入ルコトニナルノデスガ、ソレヲ御認ニナルノデアリマスカ

●原(夫)委員 次ニ是ハ既ニ議論モアッタヤウデアリマスガ「現在ノ危險ヲ排除スル爲」ト云フ文字ガアル爲ニ、例ヘバ泥棒ガ垣根ヲ越エテ逃ゲル所ヲ垣根ノ内カラ「ビストル」デソレヲ射撃スルト云フヤウナ場合ハ、此急迫ノ度ヲモウ超シテ居ルヤウニ思フノデスガ、サウスルト云フヤウナ場合ニ於テモ、矢張本法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ

●泉二政府委員 此一號、二號、三號ニ書イテアル場合ハ、文字通りニ矢張廣クスルト云フコトガ、此法律ヲ制定スル目的ヲ達スル所以デアツテ、此法律デ

●原(夫)委員 サウスルト其屋敷ヲ出テ逃ゲ居ル、ソコデ盜賊品ヲ取還サウト云フ場合ニ「ビストル」デ撃ツ、是モ矢張保護ヲ受ケサウナモノニ考ヘラレ

正當ニナラナイト云フ趣意デハ少シモナイ、是カラ先ハ説明ヲシナクテモ、刑法ノ普通ノ三十六條ノ規定ニ依ッテ、只今原君ノ御質問ニナッタヤウナ場合ノ解釋ハシナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマス

●(原)委員 第一條ノ第二項デアリマスガ「前項各號ノ場合ニ於テ」ト斯ウアルノデスガ「前項各號ノ場合」ト云フノハ、唯一乃至三ノ各號ノ場合ダケデアルカ、矢張本文モ含ンダ各號デアルカ其點ハドウデスカ

●(原)委員 本文ハ含マナイ積リデアル、本文迄含ンデ居ルト云フト、モウ現在ノ危險ガアルト云フコトニナリ、一項二項ノ事實モアルト云フコトニナリマスカラ、直ニ一項ガ適用サレルノデ、二項ノ適用ノ餘地ハナイノデス、一項ノ事實ハアルケレドモ、本文ノ事實ガナイト云フ場合デアッテ、初メテ二項ノ必要ガ出テ來ル譯デス

●(原)委員 サウスルト此第二項ノ規定ハ、是ハ超過防衛ト云フモノニ免責スルト、斯ウ云フコトニナリハシナイカト思フノデスガ、ドウデスカ

●(原)委員 第一項ノ條件ガアレバ超過防衛ニナラナイデ、普通ノ正當防衛ノ範圍ニ屬スルト云フコトヲ、第一項デ説明シテ居ルノデアル、一項ノ條件ガ實在スレバ超過防衛デナイト斯

ウ言フ、今度ハ第二項デハ其超過防衛ニナラナイヤウナ事實ガ、一項本文ノ事實ガナキニ拘ラズ、是アリト誤信シタトカ或ハ其判斷ノ豫知能力ヲ失ッタトカ云フ場合ニ於テ、此範圍ノ方面、責任能力ノ方面カラ處罰シナイト云フコトヲ、是ハ規定シテアルノデアル、若シ

モ一項ノヤウナ條件ガアレバ超過防衛ニナラナイ、超過防衛ニナラナイ場合ニ付テノ、是ハ主觀的方面カラ見タ規定デアルト、斯ウ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

●(原)委員 是ニ類似ナ規定ハ、獨逸刑法ノ正當防衛ノ規定ニアルノモ御參考ニナッテ、斯ウ云フ御規定ガ出來タト思フノデアリマスルガ、獨逸刑法ハ能ク筋ガ立ッテ居ッテ、丁度此正當防衛權ノ行ハレ得ルヤウナ狀態ノ場合ニ於テ、超過防衛ヲ爲ス場合、恐怖トカ狼狽トカ驚愕トカ云フ爲ニ、防衛ノ範圍ヲ脱シタ時ニハ、之ヲ罰セナイト云フコトデ、基礎ハ正當防衛ト云フコトニ置

イテ居ルノデアリマスガ、所ガ今ノ此本案ニ依ルト云フト「前項各號ノ場合ニ於テ」トアルノデ、其「各號ノ場合」ト云フノハ唯、此處ニ規定シテアル所ノ事實ガ現ハレタル場合、是ダケデハ正當防衛ノ關係ハ毫末モナイノデスガ、

其場合ニ於テ狼狽シタトカ、或ハ恐怖シタトカ、興奮シタト云フ所デ、相手方

ヲ殺傷スルト云フコトニナレバ、是ハ全ク別個ノ特點デアッテ、正當防衛ヲ基礎トセズ、正當防衛ノ超過防衛デアルト見ルコトモ出來ナイ點ガ、新ニ茲ニ規定セラレタト云フコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ疑ガアルノデスガ、ドウデセウカ

●(原)委員 一號二號三號ノ場合ニ於テハ、正當防衛ニナラヌト御解釋ニナッテ居ルノハ、政府委員ト見解ヲ異ニシテ居リマス、一號二號三號ノ事實ガアレバ、之ニ對シテ正當防衛ガ立派ニ出來ルノデアル、現行刑法ニ於テモ

唯一ソレニ本文ノ事情ガ加ハレバ必要ノ程度ヲ超エタモノトモ見ナイ、即チ一項ノ本文ト各號トノ事情ガ合體スル場合ニハ、超過防衛デハナクシテ、必要ノ程度ヲ超エナイ所ノ正當防衛デアルト云フコトヲ一項デ解釋シタ、所ガ其一號二號三號ノ事實ハ存在シテ居ル、即チ正當防衛ノ出來ル原因タル所ノ事實ハ存在シテ居ルガ、ソレニ附加スベ

キ所ノ一項本文ノ事情ハ實在シテ居ナイノヲ、恐怖、驚愕等ノ爲ニ殺傷シタ、斯ウ云フ場合ニハ、恰モ普通ノ場合ニ於テ、正當防衛ヲ爲スベキ所ノ、急迫不正ノ侵害ガ是ナキニ拘ラズ、是アリト

誤信シテ、正當防衛ヲシタト云フ問題ト、同ジ問題ニ歸著スル、サウスルト場合、同ジ恐怖驚愕ノ爲ニ、責任能力ヲ

失ッタト見ラレルヤウナ場合、兩方ハ無責任ニスルト云フ規定デアルノデアリマシテ、獨逸ノ五十三條ノ二項トハ少シ趣意ガ異ッテ居ルノデアリマス

●(原)委員 ソコデ先刻私ハ前提ニ於テ確メテ置イタノデスガ、此二號三號ノ事例ノミデハ、是ハ正當防衛權ガ行使セラレル場合ト、セラレナイ場合トガ、普通ノ此刑法三十六條ニ照シテアリ得ルト思フ、何トナレバ三十

六條デハ此具體的ナ事實ガアッテモ、其所ニ無制限ニ殺傷ガ出來ルト云フノデハナクシテ、急迫不正ノ此侵害ニ對シテ、已ムコトヲ得ザルニ出デタル所爲デアラカドウカト云フコトニ依ッテ、是ガ正當防衛ニモナリ、或ハ正當防衛ニナラザル場合モアルシ、或ハ超過防衛ニナル場合モアル、所ガ其條件ナシニ、即チ已ムコトヲ得ザルニ出デタル行爲ニ

アラザル、唯一第一號乃至第三號ノ此事實ノミヲ基礎トシテ、サウスルト、現在ノ危險ガナクテモ、驚愕トカ恐怖トカ興奮トカ狼狽ニ依ッテ殺傷ヲシタ場合ニ於テハ、是ハ罰セナイト言ヘバ、三十

六條ノ場合以外ノ事柄ニドウモナルヤウニ思フノデスガ、ソレハ意見ノ相違カモ知レマセスケレドモ、此先程來ノ御説明ニ依ルト云フト、是ハ全ク別ノヤウニ思ハレルガ如何デセウカ

●(原)委員 結局ハソレハ意見ノ

相違ニ了ルノカモ知レマセヌケレドモ、政府委員ノ考ト致シマシテハ、三十六條ノ規定ヲ擴張シタモノトハドウシテモ考ヘテ居ラス、一號二號三號ニ掲ゲタル急迫ノ正ノ侵害ガアレバ、之ニ對シテ正當防衛モ爲シ得ル、サウシテ其正當防衛ハ、必要デアレバ殺傷ヲシテモ差支ナイノデアルト云フ學說ガ一方ニアツテ、ソレト反對ノ學說モアルケレドモ、斯ウ云フ場合ニハ正當防衛ニナレルンダゾト云フ學說ノ方ヲ、少クトモ斯ウ云フ第一項ノ本文ニ掲ゲテアルヤウナ事情ガアル時ニハ認メテヤル、ソレト同ジコトニ、第一號第二號第三號ノ事實ガアツテ、ソレニ加フルニ第二項ノヤウナ恐怖驚愕等ノコトガアレバ、現在ノ危險ハナクテモ、矢張正當防衛デアアル、斯ウ云フコトヲ此現行刑法ノ解釋トシテ、正當防衛ニナレルコトヲバ、反對ノ解釋モアツテナレナイヤウニ解釋スル人モアルガ、サウデハナイ、ソレハ矢張ナレルンダ、少クトモ一項ノ本文ニ書イテアルヤウナ事實ノアル場合、ソレト一號二號三號ノ事實トガ、加ハル時ニハ「モウ殺傷マデシテモ必要ノ程度ヲ超エタモノトハ認メナイ、斯ウ云フ解釋規定デアルト、御承知ヲ願ヒタイ

●泉二政府委員 ソレハ矢張アルト思フノデアリマス

●原(夫)委員 ドウ云フ場合デスカ

●泉二政府委員 此規定デハ是ダケノ事情ガアルト云フトキニハ、必要ノ程度ヲ超エタモノト見ナイ、是ダケノ條件ガ具ハレバ、必要ノ程度ヲ超エタモノトハ見ナイ、斯ウ云フノデアリマス、ソコデ今度ハ斯ウ云フ事實ガアル場合ニ、現在ノ危險ヲ排除スルト云フ必要モナイ、恐怖驚愕ト云フコトモナイ、單純ナ一號二號三號ノ場合ニ於ケル防衛デアルト云フコトニシテ、サウシテハ殺傷マデシナイデ済ム場合、例ヘバ單ニ毆タダケデ宜イノニ、殺傷マデシタト云フコトデアレバ、此條件ニ當嵌リマセヌノデ、矢張三十六條第二項ノ適用ノ餘地ハアルモノダト思ヒマス

●原(夫)委員 今ノ政府委員ノ御説明ノヤウニスレバ、茲ニ非常ナル矛盾ガ起リハシナイカト思フノデアリマス、三十六條ノ防衛ノ程度ヲ超エタ行爲ガ矢張罰セラレルト云フコトニナレバ、是ハ言フ迄モナク急迫不正ノ侵害ヲ受

ケテ、サウシテ自分ノ權利ヲ防衛スル爲ニヤッタ仕事デアアル、是ガ罰セラレ、今ノ本案ノ規定カラ見レバ、現在ノ危險ガ一向ナイ、唯一號乃至三號ノ事實ガアツテ、而シテ現在ノ危險ガナイ場合ニ於テ、矢張恐怖トカ興奮トカ、狼狽トカニ因ツテ、丁度過失殺傷ミタヤウナコトヲヤッタ場合ニ於テ全然之ヲ罰セナイ、斯ウ云フコトニナルト云フト、其處ニ其結果ニ於テ法律上非常ナ矛盾ガ起リハシナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ

●泉二政府委員 其點ハ午前中ニモ大體質問ニ對シテ御答シタ點ニ含マレテ居ルト思ヒマス、私ハ矛盾ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ラスノデアリマス、例ヘバ普通ノ場合ニ付テ考ヘマシテ、急迫不正ノ侵害ガアレバ、之ニ對シテ正當防衛ガ出來ルト云フコトガ、ハッキリ法律ニ書イテアル、然ルニ事實上急迫不正ノ侵害ガナイノニ、急迫不正ト誤信シテ防衛シタト云フ場合、成程ソレハ三十六條ノ防衛デハナイガ、ソレデハソレヲ殺人ナラ殺人トシテ罰スルカト言ヘバ、ソレハ所謂誤想防衛ト云フ法令デ以テ、犯意アル所ノ犯罪トシテハ罰シナイト云フ學說ガ多イノデアリマス、學說ヲ羅列スルコトハ此場合差控ヘマス、ソレガ多數ノ學說デアルト云フコトハ、原委員ノ専門ノ御知識

デ能ク御承知ノコトデアルト私ハ信ジテ居リマス、サウ云フ場合ト是ハ同ジヤウナ理窟デ考ヘテ行クベキモノダト考ヘテ居ルノデアリマス

●原(夫)委員 私ノ質問ハ此程度デ...

●仲井間委員 一寸此點ヲ御尋シテ見

タイト思ヒマス、第一條ノ第一項ニ「現在ノ危險ヲ排除」現在ノ危險ト云フノガアリマスガ、現在ノ危險ハ緊急ノ不正ノ侵害デナイト云フコトヲ曩ニ説明サレマシタガ、所ガ第一條ノ第一號、二號、三號ノ事實ガアル場合ニ、其事實ヲ防グ爲ニ、第一號、二號、三號ノ不正侵害デアリマス、其侵害ヲ排除スル爲ニ、現在ノ危險ヲ排除スルト云フコトハ、要スルニ三十六條ノ緊急不正ノ侵害ト云フコトニ一致スルノデハナイカ、緊急ト云フノハ危險ノ現存デアリマス、デアアルカラシテ、危險ガ現在其處ニ存在シテ居ル以上ハ、是ハ緊急木正ノ侵害ト同ジ内容デアルト云フコトニ解釋シテモ宜クハナイカト思ヒマスガ、其點ヲ...

●泉二政府委員 其點ハ只今御話ニナリマスルヤウニ、解釋ノシヤウニ依ツテハ同ジダト見テモ宜イノダラウト思ヒマス、併ナガラ反對ノ解釋ヲスル餘地モアル、此法案ハ反對ノ解釋ヲ許サナイヤウニナツテ居ル、サウ云フ場合ハ丁度三十六條ニ當ルノデアルト云フコト

ノ解釋ヲ行カウ、デアリマスカラ、アナ
タノヤウナ見解ヲ持ツ人ニ對シテハ、
注意的ノ規定デアアルノダ、斯ウ見テモ
宜シイノデアリマス、唯、實際ノ事實
カラ申シマスルト、先カラ例ヲ申シテ

居リマスルコトハ能ク御承知ノ説教強
盜見タヤウナモノ、アレハ物ヲ取ッテシ
マッテカラユックリ婦人ノ部屋デモ、何
處デモ構ハズ飯ヲ食ッたり、寢轉シダリ
シテ、夜ガ明ケテ電車ノ通ズルノヲ待ッ
テ出テ行ク、斯ウ云フ方法ヲ執ッテ居
ル、ソレデ物ヲ取ッテシマッテカラ其處
ニデット止ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ

ハ、ドンナ事ヲスルカ知ラヌト云フ現
在ノ危險アリト云フコトハ、直ニ理解
ガ出來マスケレドモ、ソイツヲ直ニ急
迫ノ侵害ガアル、今將ニ殺サウトデモ
シヨウトカ、今將ニ姦淫デモシヨウト
云フヤウナ意味ニ於ケル急迫ノ侵害ア
リト解釋スルト云フコトハ、或ハムヅ
カシイト云フ方ガ宜イカモ知レヌ、サ
ウ云フ場合ニ對シテモ、アナタノヤウ
ナ御解釋ヲ行カウト云フ人ハソレデモ
宜シイ、サウ云フ人ニ對シテハ注意的
ノ規定ニナル、是レダケノコトデ宜イ
ト思ッテ居リマス

アルトカ云フヤウナ強盜ガ、巷間行ハ
レテ居ル際ニ、之ヲ拱手傍觀ヲ許サナ
イ、何トカシテ之ヲ防止シナケレバナ
ラヌト云フ所カラ、直ニ其行爲ニ對シテ、
ソレヲ排除スル爲ニ、三十六條ノ第一
項ノ正當防衛ガ行ハレルノデアルケレ
ドモ、侵入サレタ者ニ對シマシテ、或ハ
過剰防衛デアアルカモ知レナイ、過剰防
衛デアアルカモ知レヌカラシテ、殺傷ヲ
スルト云フコトハ、甚ダ危險デアアルカ
ラト云フテ、隱忍シテ權利ヲ行使シナイ
ト云フノデアアルカラシテ、之ヲ行ハシ
ムル爲ニ即チ此規定ヲ今度置イタノ
デアアルト云フ、其精神ハ能ク諒解シテ
居リマスガ、之ニ付テ一號、二號、三號
ガ即チ不正ノ侵害デアアル、其不正ノ侵
害ニ對シテハ、假ニ其第一條ノ今度ノ
規定ガナクテモ、正當防衛ガ行ハレル
ト云フコトハ、是ハドナタモ認メラレ
ルコト、思ヒマスガ、ソレニ對シテ殺
傷マデ行ッテモ正當防衛ニナルノダト
云フコトハ、此正當防衛ノ必要ナル程
度ト云フ事ニ付テ、學說ノ異ッタ人々
ニ依ッテハ色々議論ガアルニ違ヒナイ、政
府委員ノ正當防衛ノ已ムヲ得ザル行爲
ト云フ範圍ノ學說ヲ採用スルナラバ、
此第一條第一號ハ即チ當然ナル解釋規
定ニナルノデアリマス、當然之ヲ行ッテ
モ、此第一條ガナクテモ、三十六條ニ
依ッテ責任ガ無クナル、所ガ反對ニ必要

ハ、政府委員ノ御趣旨ハ能ク諒解致シ
マシタ、即チ現今流行ノ如ク見ラレテ
居ル説教強盜デアルトカ、講談強盜デ

ハ超エタモノデアルト云フ解釋ヲ採ル
人ニナルト、此規定ガナイト過剰責任
ヲ負ハナケレバナラヌコトニナル、其
學說ヲ兩方統一シテ責任ヲ負ハシメナ
イヤウニセシメヨウトスル、是ハ三十
六條ノ當然ナル規定デアッテ何等擴張
デハナイ、三十六條ノ内容ヲ解釋シテ
居ル規定デアルト云フコトヲ定メラレ
ル爲ニ、色々疑問ガ出テ其處ニ議論ガ
多クナリハセヌカト思フノデアリマス
ガ、若シ之ヲ三十六條ノ當然ナル範圍
ニ於ケル解釋規定デアルト思フ人ハ、
此規定ハ三十六條ノ解釋規定デアルト
見テ宜イ、又ソレト反對ニ、從來過剰防
衛デアアルト解釋シテ居ル説ヲ支持シテ
居ル人ニハ、是ハ新シキ擴張シタ規定
ヲ置イタノデアルト、斯ウ見テ差支ナ
イヤウニ思ハレマスガ、是ハ不正侵害
ガアル時ニ、其行爲ヲ排斥スル爲ニ、此
規定ヲ設ケヨウトスルノデアアルカラ、
必ズシモ學說ヲ一致セシメヨウトスル
努力ヲサレナクテモ、當然三十六條ノ
解釋規定デアルト思ハレ、バソレデ宜
シイ、又三十六條カラ見ルト、此規定ガ
ナイト是ハ過剰防衛デアアル、責任ヲ負
ハナケレバナラヌト、斯ウ解釋ヲサレ
ル方ニ對シテハ、是ハ新シク擴張シテ
解釋シタモノデアルト見テ、今度ノ法
案ニ對シテ此態度ヲ決メテ宜イモノデ
ナイカト、斯ウ考ヘラレルノデアリマ

スガ、是ハ三十六條ノ解釋規定デア
ルト云フコトデ、強ヒテ責任ヲ負ハナケ
レバナラヌ必要ガアルカドウカ、其點
ヲ御伺シマス

●泉ニ政府委員 現行刑法ノ三十六條
ノ解釋カラ、斯ウ云フ場合ヲ見テ二ツ
ニ意見ガ分レル、隨テ結論ガ分レルコ
トガアリ得ルト云フコトハ、御承知ノ
通りデアリマス、ソレヲ學說ニ委シテ
置イテ宜シイ、カドウカト云フコトガ問
題ナノデアリマス、當面ノ問題ハ現在
ノ險惡ナル社會世相ニ照シマシテ、其
學說ノ中ノ此趣旨ニ一致スルヤウナ學
說デ三十六條ヲ解釋シテ行ク、他ノ場
合ハ何トモ見マセヌ、少クトモ斯ウ云
フ場合ニ關シテハ、其一方ノ學說ヲ以
テ解釋ヲシテ行クヤウニシナケレバ、
此危險ナル社會世相ニ於テ、吾々ノ生
命身體デアルトカ、住居デアルトカ云
フモノヲ、保護スルニ不十分デアアルカ
ラ、一方ノ學說ヲ認メテ法律デソレヲ
解決スルト云フコトガ必要デアアル、斯
ウ云フ實際ノ必要上カラ立法ヲシテ、
教科書的ノ立法ニシテ、サウシテ斯ノ
如キ危險ニ曝サレル被害者ニ、安シジ
テ正當防衛ヲ行フコトヲ得セシムルト
云フ方針デハ出來テ居ルノデアリマ

●仲井間委員 此立法ノ精神ニ付イテ
ハ、政府委員ノ御趣旨ハ能ク諒解致シ
マシタ、即チ現今流行ノ如ク見ラレテ
居ル説教強盜デアルトカ、講談強盜デ

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

●仲井間委員 趣旨ハ能ク分リマシ
タ、之ヲ置カナケレバ現今ノ侵害行爲

ニ對シテ防衛ガ出來ヌ、此規定ヲ置イ
タ方ガ防衛ガ出來ルト云フ趣旨ハ能ク
分リマシタガ、三十六條ノ解釋規定デ
アル、擴張シタノデハナイト云フコト
ニナルト、後學者ガ此規定ヲ適用スル
場合ニ、裁判例デアルトカ一般ノ場合
ニ是ガ當然三十六條ノ範圍ニ屬スル
ダト解釋ヲサレルコトニナルト、生命、
身體、貞操ト是ハ三ツ舉ゲテアリマス
ガ、自由ノ場合ニモ三十六條ハ正當防
衛ニナリ得ル、過剰防衛デハナインデア
ルト云フコトニナルト、貞操以外ノ自
由ノ場合ニハ、殺傷ヲ行ツテモ責任ハ負
ハヌ、過剰防衛ニハナラヌト云フ結論
ニ到達シハセヌカ、生命、身體、貞操ノ
ミニ、殊ニ現今ノ場合ニ於テハ此三ツノ
點ガ主ナル點デアルガ、此三ツノ點ハ疑
問ナクシテ責任ヲ負ハセナイト云フ御
精神デアルナラバ、何モ當然ナル規定
デアルトカ、擴張シタ解釋デアルトカ
云フコトヲ論ゼズニ、此規定アルガ故
ニ、斯ウ云フ事犯ヲ防衛ヲシテ行ケル
ノダト云フ御解釋ヲシテ宜イノデハ
ナイカト思ヒマスガ、強ヒテ解釋ヲ統
一セシメントスル爲ニ、色ノ議論ガ思
ハザル横道ニ入ルヤウナ感ガアルノデ
アリマス

●泉二政府委員 此處ニ書イテナイ自
由ニ對スル侵害ノアル場合ニ付テ、ド
ウ云フ結果ニナルカト云フ御話ノ點

ハ、一寸私能ク理解致兼ネマシタガ察
スルニ御趣意ハ此處ニ貞操ダケ舉ゲテ
置イテ自由ヲ舉ゲテナイ、サウスルト
云フト自由ニ對スル現在ノ危險ヲ排
除スル爲ト云フヤウナ場合ニハ、此規
定ガ適用サレナイ、ソコデ正當防衛ニ
ナラナイコトニナリハシナイカト云フ
コトヲ御尋ノヤウデアリマスガ……

●仲井間委員 サウデハナイ、若シ第
一條ノ規定ガ三十六條ノ正當防衛ノ範
圍ヲ説明シタモノデアル、教科書見タ
ヤウニ説明シタモノデアル、當然ノ範
圍デアルト云フコトニナリマスレバ、
三十六條ノ所謂過剰防衛ダト思ッテ居
タノガ、過剰防衛デハナイト云フコト
ニナル譯デアリマス、三十六條ノ解釋
ガ、一般ノ人カラ見レバ、隨分廣ク解釋
ヲサレタモノデアルト云フ觀念ヲ與ヘ
ルノデス、ダカラ斯ウ云フ一條ノ内容
ガ、三十六條ノ範圍ニ屬シテ居ルモノ
ダト云フコトニナルト、財産、自由等之
ニ書イテナイモノデモ三十六條ノ規定
ハ斯ク廣ク解釋シテモ宜シイト云フコ
トニナル結果、當然ノ歸結トシテ財産
ノ侵害、自由ノ侵害ノ場合ニ於テモ、
殺傷ヲ行ツテモ正當防衛ニナルノダト
云フ結論ニマデ到達シハセヌカ、一條
ガ三十六條ヲ解釋シテ居ルノデアルナ
ラバ……

●泉二政府委員 大體御趣意ハ捕捉ス
ルコトガ出來マシタ、此處ニ書イテア
ル場合ハ、多少解釋上疑問ガアルガ、併
ナガラ一方ノ學說カラ言ヘバ、現行法
ノ規定ヲ擴張ゲタノデハナイ、單ニ解釋
デアル、サウシテ此場合ニ於テハ、其一
方ノ學說ヲ認メテ、三十六條ヲ解釋ス
ルコトガ適當デアル、斯ウ云フコトニ
此案ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サ
ウデナイト仰シヤレバ其點ハ御意見ノ
相違デアルト申上ゲルヨリ外ハナイ、
サウ致シマシテ之ニ漏レタ部分ハドウ
スルカ、財産トカ、自由トカ云フノハド
ウスルカト云フノデアリマスガ、ソレ
ハ急迫シタル侵害ガアレバ、刑法ノ規
定デ正當防衛ガ出來ルト云フコトハ、
言フ俟タヌコトデアル、其意味カラ言
ヘバ、一號二號三號モ言フ俟タヌコト
デアル、併ナガラ其處ニ程度ヲ超エタ超
エヌト云フヤウナ問題ガ出テ來タ場合
ニ於テ、少クトモ一項ノ本文ニ書イテア
ルヤウナ事情、又ハ二項ニ書イテアル
ヤウナ事情ガ之ニ加ハレバ必要ノ程度
ヲ越エタモノトハ認メナイト、斯ウ云フ
コトヲ明ニスルト云フ意味ニ於テ教科
書的デアルト云フノデアリマシテ、之
ニ漏レテ居ル場合ヲ、此規定デドウス
ルトカ斯ウスルトカ云フコトハ少シモ
ナイ、全クソレハ必要ノ程度ヲ越エタモ
ノト見ルカ見ナイカト云フ事情ニ付テ
ノ判斷ノ範圍ニ屬スルコトデアリマシ

テ、此條件ニ加ハル場合ニハ、サウ云フ
必要ノ程度ヲ越エテ居ナイト云フ風
ニ、判斷スベキモノデアルト云フコト
ヲ、唯、教ヘテ居ルダケデアリマシテ、
外ニ毫モ影響セシメヤウト云フ趣意デ
モナイ、又サウ云フ趣意デ御覽ニナレ
バサウ云フ風ニ立派ニ解ケテ行クモノ
ダラウ、強ヒテ反對ニ引付ケテ行カウ
トスレバ、是ハ解釋ノ自由、判斷ノ自由
ガアリマスカラドウデモナルガ、私達
ノ考ハサウ云フ風ノ御心配ハナクテ宜
イダラウト思フテ居ルノデアリマス

●中井間委員 第三十六條ニハ財産ト
自由ト云フコトヲ書イテアリマスガ、
之ヲ除イタノハ實際ニ餘リ此條ノ中ニ
ハ入レナクテモ大シタ弊害ガナイ、又
三十六條ノ自體ニ任シテ置イテモ宜シ
イ、殊ニ此一條ニ生命身體貞操ノミヲ
持ッテ來タノハ、實際世相ガ必要デアル
カラ持ッテ來ラレタノニ違ヒナイ、向フ
ハ財産ト自由ハ從來ノ三十六條一項ニ
任シテ宜シイ、是ダケノ點ニハ一號二
號三號ノ侵害ガアッタ場合ニハ、過剰防
衛デアルゾト云フコトヲ、教科書的ニ
現ハシタモノデアルト云フヤウニ説明
サレテ居ル、此自體ガ即チ從來ノ學說
如何ニ拘ラズ、是ハ正當防衛ニナリマ
スゾト云フコトガ、擴張ノ解釋デアル
トカ、或ハ當然ノ解釋デアルトカ云フ
問題デナクシテ、其儘自體ガ是ハ正當

第五類第八號 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案委員會會議錄 第三回 昭和五年五月九日

防衛ニナリサヘスレバ宜イト云フコトニナリハセヌカ、序ニ此第三號ノ「又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスルトキ」此要求ハ初メ正當ノ理由ガアツテ入ッテ來テ、後ニ要求ヲ受ケテモ退去シナイ者ニ對スル排斥、是モ丁度故ナクシテ住居ニ侵入シタ者ニ對スル制裁ト、何等刑法ノ百三十條デ見ルト此價值ニハ區別ガナイ、價值ニ付テ何等區別ガナイ規定ニナツテ居ルガ、此一條ノ本文ハ自由、財産ヲ除ケテ居ッテ、幾分カ輕重ノ區別ガアルヤウニ思フ、普通ノ社會觀念ニ依ッテ一度理由ガアツテ入ッテ來テ、要求ヲ受ケテモ、退去シナイ場合ニ、殺傷スルト云フコトハ、動モスルト法律ヲ作ラレタ人ト、法律ノ精神ニ悖ルヤウナ感ジガ一應起ルノデアリマスガ、此ノ方ハ三十六條ノ從來ノ刑法ノ規定ニ委シテ置イテ、其方カラ除ケラレタ方が却テ宜クハナイカトモ思ハレルヤウナ感ジガ致シマス、除ケタ所ガ——此後段ノ方ヲ除ケタ所デ制裁ガ出來ナイ譯デハナイシ、一般ノ法律ノ刑法ノ規定デ、十分ニ三十六條デ以テ防止ガ出來ル譯デアリマス、此方ハ故ナク住居ニ入ッテ來タ者ニ對シテハ、實際ノ世相ニ鑑ミマシテ、此特殊ナ明瞭ナ法案ヲ置イテ豫防スル必要ガアル、其次ノ方ハ一般ノ人が故ナク入ッテ來タ場合ニハ——

不法ニ這入ッテ來タ場合ニハ殺傷サレハカラ、初メ知ラス顔ヲシテ何カ胡魔化シテ置イテ後デ排斥サレル場合ニ殺傷ヲ加ヘルコトガ出來ナイデアラウト云フコトヲ、初カラ豫想シテ、繕フテ來ル人ハナイダラウト思フ、サウ云フコトハ到底豫測サレナイコトデアルト思フカラシテ、私ガ之ヲ書イタ爲ニ——入レタ爲ニ誤解ヲ受ケテ、色々殺傷行為ガ多ク行ハレハシナイカト云フヤウナ危險ヲ、社會ノ人々ニ懷カシムルコトハ、尙ホ宜クナイト思フガ、其點ヲ一ツ……

●泉二政府委員 第一號ニ自由財産ガ除ケテ居ルト云フコトニ付テ重ネテノ御質問デアリマスガ、恐クハ仲井間サシノ方デハ現在ノ危險ト急迫ノ侵害ト云フモノヲ全ク同一視シテ考ダラウト思ヒマス、ソレハ同一視ナサルト云フ人モ幾分アリマセウシ、先刻私ガ申シマシタヤウニ、急迫ノ侵害ト云フコトニハ至ラヌ場合ヲ寧ロ見テ居ル、ソコデ急迫ノ侵害ト云フモノガアル場合デアレバ、三十六條ノ一般ノ權利ト云フ方デ行ッテ宜シイ又生命、身體、貞操ニ對スルモノデモ急迫ノ侵害アル場合ハ此方ハ見テ居ラス、明ニ誰ガ見テモ急迫ノ場合ハソレハ當然刑法デ行クノデ、此規定デ解釋スル必要ハナイ、此急迫ノ侵害ニ見ラレナイ疑問ガ起ルカモ知

レヌカラト云フノデ、注意的ト申シマスカ、解釋的ノ明文ヲ設ケテ居ル、斯ウ云フノデアアル、ソレ程マデニ吾々ガ必要素ヲ感ズルコトハ、今日ノ實際ノ事實狀態ニ照シテ見テ、是ダケデ十分デアッテ、ソレ以外ノコトヲ規定シテ置ク必要ハナイノデアアル、其點ハ學說ニ委シテ置イテ宜イノデ、特ニ立法上カラ必要ヲ、今日ノ事情ニ照シテ感ズルモノダケヲ此處ニ舉ゲタ、斯ウ云フノデアリマス、現在ノ急迫、不正ノ侵害ガアルト云フノデナイノデアリマス、是ニ反シテ三號ノ場合ニナルト、急迫不正ノ侵害ガ現在シテ居ルノデアリマス、御話ノ初メ胡魔化シテ來テアト居据ルト云フヤウナ者ハ實際ナイダラウト仰シヤル、ソレハアナタノ御住居ニ於テハサウ云フ目ニ御遭ヒニナラヌト云フコトハ、是非非常ニ仕合セデアリマス、併シ世ノ中ニハ隨分サウ云フ種類ノ者が澤山アルノデアリマス、サウ云フ場合ニ先刻申上ゲタヤウニ、最初ハ普通ノ面會ト云フコトデ面會ヲシタノデアアルケレドモ、段々話ヲシテ居ッテ、ドウシテモ立退カヌ、三時間デモ四時間デモ、寢泊リデモシテ行カウ、斯ウ云フ者ニ、若シアナタガ御會ヒニナッタナラバ、何レ警察ニ御届ニナリマセウケレドモ、警察ガ直ニ駆付ケテ來ルコトノ出來ナイヤウナ場所デアッタ場合ニ、アナタハソレ

デモオ前ハ寢泊リシテ行ケ、ドウ云フ危險ガ迫ルトモ尙ホ抛ッテ置キマスカト云フコトヲ御尋シタ見タイノデアリマス、吾々ノ考ト致シマシテハ、本文ノ場合ト、三號ノ場合ト同一ニ御考ニナルト云フコトニハ贊成ガ出來兼ネルノデアリマス、サウ云フ風ナ御考ニナレバ、意見ノ相違デ、是ハ已ムヲ得ナイト申上ゲル外ハナイノデアリマス

●關口委員 非常ニ簡單ナモノデアリマスガ、第二條ノ本文ノ「常習トシテ」云フ字句ハ何處迄掛ルノデアアルカト云フコトヲ先ヅ御尋致シマス

●泉二政府委員 「常習トシテ」ト云フ文字ハ「犯シタル者」ト云フ所迄掛ル積リデ書イテアルノデアリマス

●關口委員 サウスルト、一號乃至四號ニ掲ゲタル行為ヲ敢行スルコト及ビ強盜竊盜ヲ敢行スルコト此二ツニ掛ッテ居ルト見テ宜シイノデゴザイマスカ

●泉二政府委員 大體サウ云フコトニナリマス、一號乃至四號ノ方法ヲ以テ強竊盜ヲヤルト云フコトヲ常習トスル、斯ウ云フ意味デアリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

●關口委員 サウスルト例ヘバ十個ノ強盜アリト致シマシテ、サウシテ其中ノ九個ハ一號乃至四號ニ該當シナイ強盜行為ヲヤル、例ヘバ追剝ト云フヤウナ場合、唯々其中ノ一ツハ例ヘバ兇器

ヲ用テ行ハル強盜行為ト見テ、此ハ一號乃至四號ニ該當スル行為ト見テ、強盜トシテ處分スルコトニナリマス

ヲ携帶シテ居タト云フヤウナ場合ニモ、其一ノ個ノ爲ニ斯ウ云フ重イ刑ヲ科スルト云フ結論ニナリマス

●泉二政府委員 サウデハナイ積リデアリマス、兎ニ角茲ニ揭ゲテアル手段方法ヲ用ヒテ、強竊盜ヲスルト云フコトガ、常習ト認メラレルコトヲ要シマスカラ、何回以上カ知リマセヌガ、兎ニ角數回斯ウ云フ方法ニ依リ強竊盜ヲヤッタト云フ事實ガアルコトヲ必要トスル積リデ居リマス

●關口委員 常習トシテト云フ字ハ、是ハ他ノ條文ニ規定シテアル所ト同様ノモノト解釋シテ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 常習トシテト云フ言葉ハ、刑法ノ法典ノ中ニモ極ク少イノデアリマシテ、百八十六條ニ「常習トシテ賭博ヲ爲シタル者」ト云フ文字ガアルダケデアリマスガ、此處ニ書イテアリマス言葉モ、大體趣意ハ同ジコト、御諒解下スツテ宜カラウト思ヒマス

●松谷與二郎君 一寸御尋シタイノデアリマスガ、今朝カラ御聽シタ所ニ依ルト、此盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案ト云フモノハ、刑法三十六條ノ解釋ノ擴張、及ビ超過防衛、誤想防衛ヲ包含シタモノデアルト承知シテ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 大體其點ハ今朝程カラ御答シテアリマスガ、詳シイコトハ

一ツ速記録デ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマリス、ズット今朝カラ申上ゲテ居ルノデスガ——サウ云フ風ニ御約メニナリマスト、直ニ然リトモ答ヘルコトハムズカシイト思ヒマスガ、要スルニ第一項ハ現行刑法三十六條ノ解釋ヲシタモノデアアル、ソレカラ第二項ハ三十六條ト云フヤウナ風ニ直ニ常條ル條文ハアリマセヌケレドモ、法理上カラ申スト云フト、所謂誤想防衛トカ、或ハ責任無能力狀態ノ行爲デアルトカ云フコトデ罰スベカラザル結論ニ歸著スベキ行爲ヲ此處ニ明白ニ唯、舉ゲタニ過ギナイ、斯ウ云フノデアリマス

●松谷與二郎君 ソレデハ重ネテ御聽シタイノデスガ、此第一條ノ三ノ故ナクト云フ字ハ、是ハ法理上權利ナクシテトカ、或ハ正當ノ理由ナクシテトカ、色ニ解釋セラレテ居ルノデアリマスカ、是ハ暫ク措キ、此故ナクト云フ見方ハ、侵入者ノ方カラ見タノデアアルカ、或ハ又正當防衛ヲ行ウ者ノ方カラ見タノデアリマセウカ、何レニナリマス

●泉二政府委員 是ハ正當防衛ヲ行ウ者ガ故ナクト考ヘタラ常ニ故ナクニナルト云フコトハ申サレマセヌ、各場合ノ事情ニ應ジテ、裁判官ガ判斷シテ、ソレガ故ナク侵入シタ者ニ對シテ、正當防衛ガ行ハレタモノデアアルカドウカト云フコトヲ、裁判官ガ判斷スルノデア

●松谷與二郎君 サウスルト客觀的ノ判斷ト御聽シテ置イテ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 ソレデ宜シイノデアリマス

●松谷與二郎君 モウ一ツ御尋致シタイト思ヒマスガ、稍、具體的ニナリマスケレドモ、假ニ私共ノ無產黨トシテ一番關係ノアルノハ、勞働運動ニ對シマシテ、解雇者ガ面會ヲ求メルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、政府委員ハソレヲ故ナクト云フ風ニ御見解ニナルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、政府委員ノ御見解ヲ一應御伺致シタイト思ヒマス

●泉二政府委員 單ニ面會ヲ求メタト云フコトハ、故ナクト云フコトニハナルマイト思ヒマス

●松谷與二郎君 ソレカラ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントシタルトキ、斯ウ云フ場合デアリマスカ、此場合ニ一ツノ私ハ實例ヲ舉ゲテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、勞働者ガ勞働條件ニ付テ交渉ニ行ッテ、モウ面會スル必要ガナイカラ歸レト言ッタル場合ニ歸ラナカッタ、サウ云フ場合ニ或ハ恐怖ヲ感ズル、或ハ驚愕ヲ感ズル、興奮スルトカ、狼狽シテ、サウシテ殺傷シタ場合ニ於テハ、ソレハ當然此中ニ入

ルト云フ御考ナノデアリマス

●泉二政府委員 其問題ハ現行法ノ解釋トシテモ相當ニ是ハ注意スベキ問題デアラウト思ヒマス、今日ノ所ハ勞働者ノ場合デナクトモ、外ノ場合デモサウ云フ問題ガ起リ得ルノデスガ、例ヘバ債權者ガ債務者ノ家ニ催促ニ行ッタル債務者ハ其時二期限ハ既ニ盡キテ居ルノダケレドモ、兎ニ角今ハ金ガナイ、拂フコトガ出來ナイカラ又ニシテ吳レト言ッテ拒ンダケレドモ、債權者ガ居催促ヲシタ、俺ハオ前ガ拂フマデハドウシテモ歸ラナイト言ッテ居催促ヲシタ、サウ云フ場合ハ百三十條ノ後段ニ依ッテ要求ヲ受ケテ故ナク退去セザルモノトシテ處罰スベキモノデアルト、斯ウ云フ判例ガ出テ居ルノデアリマス、ソコデ只今ノ御話ノヤウナ例、是ハ私ハ今勞働法トデモ申シマスガ、廣イ意味ノ勞働ニ關スル法規ヲ一、調ベテ居リマセヌカラ、勞働者ガサウ云フ勞働條件ノ改善其他ノ爭議ニ付テドレ程其面會ヲ求メ得ルノデアアルカドウカト云フコトハ、詳シク研究シテ居リマセヌガ、ソレハ自ラソレニ關スル法規ニ依ッテ、其範圍程度ハ決マルコトダラウト思ヒマス、ソレ等ノ判例カラ見テ、何處迄モ居催促ヲスルト云フ權能ハナイノデアアルト云フコトニナリマシタナラバ、恰モ只今申シマシタ例ミタヤウナコトニナ

リマシテ、ソレハ矢張不退去罪ト云フコトニナルデアリマセウ、サウ云フコトニナリマシタナラバ、此三號ニ當ルモノデ、本法ノ適用ハ免レヌノダト云フ解釋ニナルト思ヒマス

●松谷與二郎君 モウ一ツ念ノ爲ニ御聞シテ置キタイノデスガ、例ヘバ警察官ガ——往々ハアル例デアリマスガ、他人ヲ逮捕スルニハソレノ法ニ規定ニ基イテ逮捕スル、或ハ檢束スルトカ、ソレノ法律ニ基カナケレバナラヌノデアリマスガ、其場合ニ於キマシテ能クアル例デアリマスガ、見込違ヒナドデアッテ、或ハ感情デ以テヨル夜中飛込シテ、サウシテ檢束シテ行ク、サウシテ法律ノ表向デハ何處其處ニ徘徊シト云フヤウナ文字ヲ多ク付ケラレルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ、ヨル夜中他人ノ家ニ飛込シテ檢束シヨウトシタ場合ニ於テ、本條ノ適用ガアルト云フ御考デアリマスカ、ナイト云フ御考デアリマスカ、ソレモ念ノ爲ニ一應伺ッテ置キマス

デアリマス、若シモ裁判ニ掛ケテ見テ、ソレハ警察官ハ職務ヲ執行シタノデハナクシテ、不法ニ逮捕シタノダ、斯ウ云フコトニナリマスレバ、ソレニ對シテ正當防衛ハ爲シ得タノデアリマスカラ、ソレニ對シテ防衛ヲシタコトハ正當防衛ナルト云フコトニナルデアリマス

●松谷與二郎君 私ノ申上ゲタノハ假定的デナク、正當ノ法理上ノ權利ナクシテ他人ヲ逮捕セントシ、若クハ家宅ニ侵入シテ搜查ヲ爲シタ場合——尠クトモ法理上ノ權限ナクシテヤッタ場合ト云フ、此事實ニ基イテノ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、假定的デハナク、サウ云フ場合ガアリマシタラト云フコトヲ御同致シマス

ナケレバ何トモ分ラヌコトデアルト申上ゲテ置ク方ガ宜イカト思ヒマスケレドモ、假リニ私ガ學理的ニ考ヘテ申上ゲマスレバ、公務員ガ、職權ヲ行フト云フ場合ニ、時ニ依リマシテハ、客觀的ニハ法律ニ違反シテ居タト云フ場合モアリ得ル、併ナガラ本人ガ職權濫用ノ意思ヲ以テ、即チ職權濫用罪ニナルヤウナ場合、本人自身ニ於テ不法ノコトヲスルト云フ意思ノアッタ場合ニハ、職務ヲ行フトシテハ見ラレマセヌケレドモ、本人ニサウ云フ意思ノナイ場合ニハ、假リニ客觀的ニハ權限ヲ越エテ居ルヤウナコトヲヤッテ居ッテモ、即チ客觀的ニ言ヘバ、行政裁判デアルトカ、行政訴訟ニ依ッテ取消サレ得ル行爲デアリマシテモ、矢張ソレハ職務行爲タルコトヲ免レス、職務行爲タルコトヲ免レスト云フヨリモ、職務行爲デアルト解シ得ル、例ヘバ一審ノ裁判所デ有罪ト認メタケレドモ、二審、上告審ニ於テハ到頭無罪ニサレタ、第一審ノ裁判ハ結局其裁判ガ間違ッテ居ッタノデアルト云フコトヲ言ハレテモ、其裁判ヲスル當時ニ於テノ裁判官ノ自由意思ニ從ッテ有罪ト考ヘタカラ有罪トシタナラバ、ソレハ矢張職務ノ執行ヲシテ居ッタノデアッテ、違法ノコトヲヤッタノデハナイト云フコトニナルノデアリマス、ダカラサウ云フ場合ニ客觀的ニ職務ガ法規ニ適

合シテ居ナカッタカラ、ソレガ直ニ不法行爲ニナルノデアッテ職務行爲デナクナッテシマフト云フコトノ言ヘナイ場合ガアル、職務行爲デアアル範圍ニ於テハ、サウ云フモノニ對シテハ正當防衛ハ出來ナイト云フ說ノ方ガ正シイト私ハ考ヘテ居リマス、反對說モアリマス、之ニ反シテ、所謂職務行爲ヲシヨウトスル者ガ、名ヲ職務ニ藉リテ職權ヲ濫用シテ不法ノ行爲ヲスルト云フ意思ガアッタ場合、煎ジ詰メレバ結局ハ職權濫用罪ト云フコトニナル場合ト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マス、サウ云フ場合ニ於テ防衛行爲ガ行ハレルト云フコトハ職務上間違ナイコトデアラウ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

●松谷與二郎君 只今私ノ御尋シタノハソコデ初メ故ナクト云フノハ主觀的ニ御覽ニナルノカ、客觀的ニ御覽ニナルノカラ御確メシタノデアリマシテ、私ノ申上ゲルノハ客觀的ニ見テ、警官ガ職務ノ權限外ノ行爲ヲ爲シタ場合ニ、正當防衛權ガアルカト云フコトヲ御尋申上ゲタノデアリマス、ソレデアリマスカラ客觀的ニ見テ、警察官吏ガ權限外ノ行爲ヲ爲シタ場合ハドウデアアルカト云フコトニ付テ、御答辯ガ願ヒタイノデアリマス

●泉二政府委員 ソレハ裁判官ガ矢張客觀的ニ定メルコトデアリマスガ、

客觀的ニ裁判官ガ之ヲ認定スルニ當

テハ、只今申上ゲタヤウニ官吏ガ其職

務ヲ執行スルト云フ意思ノアッタ場合

ニハ、法規ニソレガ適合シテ居ナイ、即

チ上級審若クハ上級官廳ニ行ッテ取消

サレルヤウナ職務行爲ヲシテ居ッタ場

合デアッテモ、職務執行ノ意思ヲ以テ爲

シタル行爲ハ矢張職務行爲デアアル、職

務行爲デアアル間ハ、之ヲ故ナクト云フ

風ニ見ルコトハ出來ナイ、サウ云フ標

準デ裁判官ガ客觀的ニ判斷スルモノデ

アル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデア

リマス

●松谷與二郎君 私ノハ問題ヲ決メテ

アルノデスヨ、職務ヲ執行スル人ガ主

觀的ニドウ見ヨウトサウ云フコトハ問

ハナイノデ、客觀的ニ見テ、サウシテ警

官ガ權限外ノ行爲ヲ爲シタ場合ニハ、

權限外ノ行爲ヲ爲サレタ者ハ、此三項

ノ適用ヲ受ケルカト云フ御尋ヲシタノ

デアリマシテ、警官ガ其場合ニ自分ノ

意思ハドウデアアル、斯ウデアアルト云フ

ヤウナコトハ、ソレハ先程御尋シタ時

ニ、ソレハ主觀的ニ見ルノデハナイ、客

觀的ニ見ルト云フ御話デアッタカラ、私

ハ問題ヲ限局シテ、警察官吏ノ爲シタ

行爲ガ客觀的ニ見テ權限外ノ行爲デア

ッタ場合ニハ、此適用ガアルカト簡單ナ

御尋ヲシタノデアリマスカラ、「イエ

ス」カ「ノー」ダケヲ承ッテ置キタイノデ

アリマス

●泉二政府委員 客觀的ト云フコト

ヲ、單純ニ行爲者ノ主觀デアアルカ、客觀

デアアルカト云フ意味ニ於テ、私ハ客觀

的ニト申上ゲタノデハナイ、裁判官ガ

判斷ヲスルノデアアルト云フ意味ニ於テ

客觀的デアアルト云フコトヲ申上ゲタノ

デアアル、裁判官ガ判斷ヲスル時ニハ先

刻申上ゲタヤウニ、其職務行爲ヲスル

者ニ付テ、職務執行ノ意思ガアッタト云

フ場合デアレバ、假令ソレガ客觀的ニ

合法デナク、上級官廳ニ行ッテハ取消サ

レルヤウナ行爲デアッタニシタ所デ、職

務行爲ヲスル意思ガアッタ場合ニハ、ソレハ矢張職務行爲ト裁判官ハ判

斷スベキモノデアアルト、裁判官ガ客觀

的ニ判斷スル、私ノ申シタノハサウ云

フ意味デアリマシテ、客觀的ト云フ言

葉ノ遣ヒ方ガアナタト私トハ違ッタ意

味ニ於テ御答ヲシテ居ル、アナタノヤ

ウニ客觀的ト云フコトヲ、裁判官ノ判

斷ノ標準ト云フコトデナシニ考ヘタナ

ラバ、客觀的デハナイ、主觀的ノ事情モ

少クトモ職務行爲ノ場合ニハ加味シナ

ケレバナラヌト、斯ウ御答シナケレバ

ナラヌ、サウシテ「イエス」カ「ノー」カ

一ツデ答ヘロト云フコトハ無理ナ註文

デアアル、折衷ノ事情ニ依、テ始メテ事件

ノ當否ヲ決メナケレバナラヌト云フ場

合ガアル譯デアリマス

●松谷與二郎君 モウ一ツ御尋ヲスル

ノデアリマスカ……

●則元委員長 マダアリマスカ

●松谷與二郎君 最後ニ簡單ニ……

●則元委員長 松谷君成ルベク簡單ニ

願ヒマス

●松谷與二郎君 モウ一ツ御尋シタイ

ノハ、三號ノヤウナ要求ヲ受ケテ其場

所ヨリ退去セザル者、或ハ家宅侵入ノ

ヤウナ者ヲ打殺スト云フヤウナコト

ハ、刑法ノ百三十條カラ見テモ、極メテ

罪ノ輕イモノデアアル、例ヘバ他人ノ住

居ニ乞食ガ入ッテ行ク、其乞食ニ驚イテ

其乞食ヲ直ニ打殺ストカ、或ハ勞働爭

議ノ場合ニ於テ、勞働者ガ資本家カラ

退去ヲ命ゼラレタ場合ニ打殺ストカ云

フヤウナ、極メテ法律ノ上カラ申シテ

モ、客觀的狀勢カラ言ッテモ、サウ大シ

タ罪デナイ者ニ對シテハ斯ウ云フ重大

ナル打殺シテモ宜イト云フヤウナ法律

ヲ作ルコトハ、強イ所バカリヲ見テ、極

メテ弱イ所、サウ弊害ノナイコトマデ

モヤラスト云フコトハ、立法上カラ言

フナラバ、非常ニ間違ッタ行爲ノヤウニ

思ハレルノデアリマスカ、政府委員ハ

強盜ノ場合トカ、或ハ居据ッテ居、テ半

日モ二日モ泊リ込ンデ居、タ場合バカ

リヲ想像セラレルガ、一言言ッテ歸セバ

歸ルノデアアル、二言、三言言ヘバ歸ルノ

ニ、一言言ッテ歸ラナカッタカラト云ッ

テ、直ニ打殺スヤウナコトノ場合ト、十

日モ二十日モ居据ッテ居ルヤウナ場合

ト一緒ニシテ言ハレルヤウデアリマス

ケレドモ、此害ノ程度ヲ比較シタナラ

バ、ソレハ千ニ一ツ、萬ニ一ツ位ハ強イ

場合ガアッテ、打殺サナケレバナラヌヤ

ウナ情景ガアルカモ知レマセスケレド

モ、普通カラ考ヘテ見テ、此規定ヲ適用

スルヨリ適用シナイ方ガ遙ニ宜イヤウ

ナ客觀的狀勢ニ普通置カレテ居ルヤウ

ニ思ハレルノデアリマスカ、ドウシテ

モ矢張斯ウ云フ規定ヲ置カナケレバナ

ラナイノデアアラウカ、客觀的ニ詰リ之

ヲ見マシテ、害ノ程度ト、ソレカラ此規

定ニ依ッテ害ヲ受ケル程度ト、ソレカラ

此規定ヲ適用シナケレバナラヌ害ノ程

度ト、餘程其間ニ開キガアルヤウニ思

ハレタカドウカ、甚ダ廻リ諄イヤウデ

アリマスケレドモ、此規定ヲ適用スル

コトノ害ト、適用ヲ受ケル害ト餘程開

キガアルヤウニ思ハレタカドウカト云

フコトヲ御尋致シテ置キマス

●泉二政府委員 唯、ソレダケノ御質

問デアレバ、開キガアルト思ヒマシタト

言フヨリ他ニ仕方ガナイノデアリマス

●米田委員 私ハ例ノ貞操ト云フコト

ノ文字ニ付テ御尋致シマス、「左ノ各號

ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身

體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除

スル」ト云フ、ダカラ左ノ各號デナクチ

ヤナラヌノデゴザイマスガ、一號ニモ二號ニモ三號ニモ貞操ト云フコトガ、此場合デ犯サレルヤウナ場合ガドウモ豫見出來ヌノデゴザイマスガ、ソレデ御舉ゲニナツタ例デ申シマスルト、説教強盜ノ例ガ舉ゲラレタノデアリマスケレドモ、説教強盜ノ如キデアッタラ、是ハ貞操ノ問題デナクテモ、説教強盜其コトガ強盜デ入ッテ居ル人間ノコトダカラ、是ハ殺傷シテモ差支ナイコトニナルノデアッテ、餘リ適切ナ——餘リドコロデハナイ、適切ナ例ト思ハヌノデゴザイマスガ、他ニ色々考ヘテ見ルノニ、貞操ガ蹂躪サレルヤウナ場合ガ、此三號ノ中デモ豫見出來ヌノデアリマスガ、何カ適當ナル例ハゴザイマセメデセウカ、例ニ依テ御示ヲ願ヘバシツクリト頭ヘ入ッテ來ルダラウト思フ、是デハドウモシツクリト私ニ此貞操ト云フコトヲ入レラレタ意味ガ納得出來ナイノデゴザイマス

●泉二政府委員 假ニ此貞操ト云フ文字ニ代ユルニ自由ト云フ風ニシテアッタナラバ、ソシナ御疑ハナクナルデセウカ

●米田委員 イヤハ私ハ其點モ自由ヲ入レテモ入レナクテモ宜イト思ッテ居リマス、寧ろハ入レヌ方ガ宜イ位ニ思ッテ居リマス

●泉二政府委員 只今ノ説教強盜ノ場

合ハ適例デアルト思ヒマスガ、ソレニ對シテハ此處ニ書イテナクテモ出來ルノダト云フ御話デアリマシタガ、其處ヲ先刻來申上ゲテ居ルノデアリマシテ、モウ物ヲ取ッテシマッテ、是カラ緩ル寢テ行クト云フノデ、直ニ之ヲ急迫ノ侵害ト云フコトヲ言ヘナイト解釋ス

コトヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマシテ、特ニ第一號ノヤウナ場合ニサウ云フ適例ヲ私ハ想像シテ居ルノデアリマス、第二號ノ場合ニ於テモ何日何時何處デドウ云フ事ガアッタト云フコトヲ一々申上ゲルコトハ只今出來マセヌ、説教強盜ミタヤウナモノハ著シキ事實デアルカラ、ツイソレヲ例ニ引キマスケレドモ、二號三號ニ付テ、丁度其説教強盜ニ類スルヤウナ適例ヲ、此處デ申上ゲルヤウナコトハ出來マセヌガ、兎ニ角人ノ家ニ入ッテ來テ、竊盜ヤ強盜デナクテモ、サウシテモウ夜ニナッテモ女一人ノ所ニ入ッテ來テカラニ、最初ハ面會ニ入ッテ來タンダガ、モウ用ガ濟ンダカラ歸ルダラウト思ッテ居ルノダケレドモ、ドウシテモ歸ラナイ、女一人デ困ルカラ歸ッテ下サイ、イヤ今晩ハ寢テ行クト云フ、斯ウ云フコトデドウシテモ歸ラヌ、斯ウシタナラバ女トシテドウデセウカ、ソレガ貞操ニ對スル現在ノ

危險ヲ感ジナイデ居ラレマセウカ、是ハ少シ假想的ノ例デアリマスケレドモ、今具體的ノ事實ニ付テ御話申上ゲルコトガ出來マセヌカラ、今ノヤウナ假想的ノ例デモサウ云フ場合ガ隨分アリ得ルモノダト考ヘテ居ルノデアリマス

●米田委員 ドウモ只今ノヤウナ例デハ、ソレハ竊盜防止ノ方ノ關係カラシテモ行ケルヤウニ思ヒマスケレドモ、之ヲ無理ニ竊盜ノ方ニ考ヘナクテモ宜イト思ヒマス、二號三號ハ勿論ノコト、其事ハナイヤウニ思ヒマス、洵ニシツクリト致サヌノデアリマス、竊盜防止ト云フ防止ノ中ニモウ外ノ方カラ危險デアッテ、戸ヲ開ケヤウトシテ居ルトカ何トカシテ居ル時ニ、用意シテ待ッテ居テモ、ソレハ差支ナイコトデアッテ、只今御舉ゲニナツタ一號ノ中デハドウモサウ云フコトヲ發見スルコトガ困難デアルト私ハ考ヘマス、意見ガ違フカラ仕方ガナイ、ソレカラ私ハ此三號、之ニ付テハ私ハ色々御意見ヲ承ッテ居ル中ニ、又ハ以下ガ不必要ト云フヤウナ御意見モアッタノデゴザイマスガ、又ハ以下ドコロデハアリマセヌ、三號全部ガ私ハ不必要デアル、是ハアッテナラヌヤウニ思ッテ居リマス、斯ウ云フコトヲ御考ヘナイデゴザイマセウカ、此條文ガ實際ニ適用サレタト云フコトニナ

ルナラバ、甚シク權利ノ濫用ヲ行ハレタリ、若クハ權力ノ濫用、職權ノ濫用デゴザイマスガ、警察官吏ニ今日以上ニ職權濫用ヲヤラシタラ大變ナコトニナルノデアリマスケレドモ、政府委員ニ於カレテハ、之ニ依ッテ權利ノ濫用、若クハソレ以上ニ重ク私ハ質問シタイノハ、職權ノ濫用ト云フコトヲ豫想ナサツテハオイデガナイデゴザイマセウカ

●泉二政府委員 此規定ガアルガ爲ニ、特ニ職權濫用ガ殖エルコトニナルト云フ風ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス

●小野寺委員 前會ノ續キデアリマスガ、先刻政府委員ガ御話ニナツタヤウニ丁度此現在ノ危險ト云フ狀態ノ適例ト致サレテ、強盜ガ這入り、或ハ竊盜ガ這入ッテ、竊盜ノ目的、強盜ノ目的ヲ達シタ、併シ電車ノ來ルマデ二時間モ三時間モ待ッテ居ル、其處ニ滞在シテ居ルト云フヤウナ狀態ガアル、此狀態ガ即チ危險ノ狀態デアルト云フヤウナ意味ニ御説明ガアッタヤウデアリマス、サウ致シマス、其狀態ガ急迫不正ナル侵害其モノデハナイノデアリマセウカ、其處ヲ御尋致シマス

●泉二政府委員 ソレハ仲井間君ノ御質問ノ中ニモアッタノデアリマス、人ノ見様ニ依リマシテハ、ソレハ急迫不正ノ侵害ダト考ヘル人モ居リマセ

セウ、併ナガラ急迫不正ノ侵害ト云フ

モノニハ、モット愈ト云フヤウニ、事情ガ切迫シタ場合デナケレバ、イカスノデアルト云フ解釋ニセラレモ、虞モアル、其疑問ヲ解ク註釋規定デアル、是ガナクテモ急迫不正ノ侵害ダト、斯ウ解釋スル人ニ對シテハ、唯其事ノ注意的ノ規定デアルノダト云フコトヲ申上ゲテ宜シイト思ヒマス、疑問サヘナケレバ、斯ウ云フコトヲ書ク必要ガナイノデアリマス、即チ急迫不正ノ侵害デアルト云フコトガ、何等疑問ガナクシテ、明白デアルト云フ場合ナラバ、ソレハ刑法デ行ケバ宜シイノデアッテ、茲ニ註釋ヲ加ヘル必要ハナイ、疑問ガアルカラ、サウ云フ疑問ガアル場合ニ付テハ、刑法ノ解釋ニ依ッテ、直ニ刑法デ行ケルトシテ、ソレハ直ニ是デ行ケルト云フコトヲ註釋シテ置クコトガ必要デアルト云フ趣意デ出來テ居ルノデアリマ

●泉二政府委員

ソレハ矢張生命身體ニ對スル現在ノ危険ガアリ得ルモノト考ヘルノデアリマス

●小野寺委員

現在ノ危険デハアリマセヌ、急迫不正ノ侵害ト云フモノガ、繼續ニ行ハレテ居ルモノト、斯ウ云フ風ニ御考ニナルノデスカ

●泉二政府委員

ソレハ先程申シマシヤウニ、人々ノ考ニ依ッテ、サウ云フ場合デモ急迫不正ノ侵害ト見ルベキモノト云フ考トサウデナクシテ急迫トハ考ヘラレナイノダト云フ考ト、二通りニ岐レルノデアリマス、外ノ場合ハ別問題トシマシテ、斯ウ云フ場合ニ付テハ、兎ニ角急迫ノ侵害ガアル場合ト同様ニ見テ宜イノダ、是ハ其場合ト同ジヤウニ、サウ云フ場合ニ於ケル正當防衛ト同ジヤウニ、是ハ已ムヲ得ザルモノト認メテ解釋シテ宜イノダト云フコトヲ、明ニシヨウト云フノデアリマス

●小野寺委員

サウ致シマス、詰リ現在ノ危険ト云フコトハ、何ヲ標準トシテ、御定メニナルノデアルカ、只今私ノ御質問申上ゲタノハ、要スルニ政府委員ノ御言葉トシテハ詰リ見解ノ相違デアル、現在危険狀態ガ、只今ノ設例ノヤウナ場合ニ於キマシテ、急迫不正ト見ル人モアリ、或ハ急迫不正ト見ナイ人モアル、ソレデアアルカラ之ヲ急迫不

●泉二政府委員

一寸言葉ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、生命、身體、貞操ニ對スル急迫ナル侵害ガアル場合ト同ジヤウニ、是ハ殺傷マデモシテ宜シイト云フ必要ノ程度ニ達シテ居ルモノデアルト云フ解釋規定デアル、御承知ノヤウニ三十六條ニハ、已ムヲ得ザルニ出デ、ト云フ言葉ガアリマス、其已ムヲ得ザルト云フノヲ、ドウ云フ風ニ見ルカト云フノガ、御承知ノヤウニ學說上議論ガ岐レテ居ル、必要ノ程度ヲ超エタナラバイカスト云フ説ガ多イノデアリマス、其説カラ見マシテモ、此一號、二號、三號ノヤウナ場合ニ、殺傷マデ行ケバ必要ノ程度ヲ超エタト言ヘヤセヌカ、言ヘルカト云フコトガ疑問ニナツテ來ル、ソコデ一面ニ於テソレニ加フルニ生命、身體、貞操ニ對シテ急迫ナル侵害ガアレバ、其方カラ當然、殺傷マデヤッタカラト云ウテ、必要ノ程度ヲ超エタト云ヘナイコトハ當然デアアル、ケレドモ、マダ急迫ノ侵害トマデ見ラレナイ程度ニ於テ、現在ノ危険ト云フモノヲ想像シ得ル場合ハ、サウ條件ガ加ハツテ來レバ、殺傷マデ行ッテモ一號、二

●泉二政府委員

斯ウ云フ場合ニハ此一號、二號、三號ニ對スル正當防衛ガ、殺傷マデ至ッテモ已ムヲ得ザルニ出デタルモノト認ムベキモノト、斯ウ云フ解釋規定デアリマス、斯ウ御考ヘ下サレバ宜シイノデアリマス

●小野寺委員

サウ致シマス、現在ノ危険ト云フコトハドウ云フ標準ニ依ッテ認メラル、ノデアリマス、之ヲ客觀的ニ見テ、生命ナリ、身體ナリ、貞操ナリニ危害ヲ受クルト云フ、何等ノ危険ヲ想像サレナイ場合ニ於テハ、本條ノ適用ガナイト云フ結果ニナルノデアリマス、先刻ノ御説明ノ場合ニ於キマシテモ、強盜ガ入ッテ目的ヲ達シタ、是カラ夜ガ明ケテ電車ヲ待ッテ、ソレカラ出テ行クト云フヤウナ狀態ニ於テハ、少クトモ生命身體若クハ貞操ニ對スル危険ハ感ゼナイ場合デアアル、客觀的ニ見テ——是ガ主觀的ニ強盜ニ對

●泉二政府委員

正ト見テ差支ガナイ、現在ノ危険其モノヲデスネ、危險狀態ニハアルガ、唯ソレヲ急迫不正ノ狀態——事實ナリト認定スル爲ニ此規定ヲ置カレタ、斯ウ云フノデアリマス

●小野寺委員

只今ノ御説明ニ依リマシテ、漸ク政府ノ御考ガ分タノデアリマス、サウ致シマス、急迫狀態ニアラザルモ、此程度ナラバ急迫不正ナリト——正當防衛權ノ行使ニ適當ナル範圍ナリト認ムベキ、規定ナンデスナ、此規定ハ……

●泉二政府委員

斯ウ云フ場合ニハ此一號、二號、三號ニ對スル正當防衛ガ、殺傷マデ至ッテモ已ムヲ得ザルニ出デタルモノト認ムベキモノト、斯ウ云フ解釋規定デアリマス、斯ウ御考ヘ下サレバ宜シイノデアリマス

●小野寺委員

サウ致シマス、現在ノ危険ト云フコトハドウ云フ標準ニ依ッテ認メラル、ノデアリマス、之ヲ客觀的ニ見テ、生命ナリ、身體ナリ、貞操ナリニ危害ヲ受クルト云フ、何等ノ危険ヲ想像サレナイ場合ニ於テハ、本條ノ適用ガナイト云フ結果ニナルノデアリマス、先刻ノ御説明ノ場合ニ於キマシテモ、強盜ガ入ッテ目的ヲ達シタ、是カラ夜ガ明ケテ電車ヲ待ッテ、ソレカラ出テ行クト云フヤウナ狀態ニ於テハ、少クトモ生命身體若クハ貞操ニ對スル危険ハ感ゼナイ場合デアアル、客觀的ニ見テ——是ガ主觀的ニ強盜ニ對

●小野寺委員

サウ致シマス、現在ノ危険、即チ今ノ電車ノ始發マデ強盜ガ三時間モ三時間モ居ルト云フヤウナ狀態——假ニ其處ニ婦女女子モ居ッタト云フ場合ハ、只今ノ場合デアアルガ、又婦女女子ガ居ナイ、唯婦女女子以外ノ家人ガ居ッタト云フヤウナ狀態ニ於テモ、矢張危險ガ——急迫不正ノ侵害ト云フモノガズツト繼續的ニ在ルト云フ御考デアリ

●小野寺委員

サウ致シマス、詰リ現在ノ危険ト云フコトハ、何ヲ標準トシテ、御定メニナルノデアルカ、只今私ノ御質問申上ゲタノハ、要スルニ政府委員ノ御言葉トシテハ詰リ見解ノ相違デアル、現在危険狀態ガ、只今ノ設例ノヤウナ場合ニ於キマシテ、急迫不正ト見ル人モアリ、或ハ急迫不正ト見ナイ人モアル、ソレデアアルカラ之ヲ急迫不

シテ加害者ガ危險ヲ感ジテヤッタト云フコトハ、無論本條ノ適用外デアリマシテ、是ハ誤想防衛デアル、客觀的ニ見テ、其狀態ナラバ放ッテ置ケバ夜ガ明ケタラ歸ッテ行ク狀態デアルト云フヤウナ場合ニ於テハ、本條ノ適用ガナイト云フコトニナリマスガ、サウ云フ御見解デアリマスガ

●泉二政府委員 私ハ意見ノ相違デアルト思ヒマス、サウ云フ風ニ強盜ガ物ヲ盜ッテカラ、電車ノ始發マデユル／＼飯ヲ食ッたり寢轉ンデ居ルト云フ場合ニハ、私ナラバサウ云フ場合ニハ非常ニ危險ヲ感ズルト思ヒマス、アナタハ御勇敢デ、危險ヲ御感ジニナラヌト云フカ知レマセヌガ、私ハ危險ヲ感ズルト思ヒマス、ドウ云フ場合ニ危險ヲ感ズルト云フコトハ、抽象的ニハ答ヘラレマセヌノデ、各場合ニ應ジテ判斷スベキデ、急迫ナル侵害ト云フノモ同ジコトデ、各場合ノ事情ニ應ジテ、急迫デアッタカナカッタカト云フコトヲ判斷スベキデ、抽象的ニドウ云フ標準ヲ決メ

ルカト云ツタ所デ、急迫ハ急迫、急迫デナイモノハ急迫デナイ、現在ハ現在、現在デナイモノハ現在デナイト云フヨリ外ニハ答ヘヤウガナイノダラウト思ヒマス

●小野寺委員 尙ホ第二項ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、現場ト云フコトガ書イテアリマス、此頃新聞ニ見エテ居リマシタ事件ノ如キハ、犯人ヲ追跡シテ犯人ガ十町カ二十町先キニ行ッテ打倒レタ、打倒レタ所ガ、ソレニ對シテ顔ヲ見セロト云フノデ、何カ顔ヲ隠シテ居ッタモノヲ引ッ剥イダト云フヤウナコトガ書イテアリマス、ドウカ許シテ吳レト云フノデ、之ヲ許シテヤッタ所ガ、又十町カ二十町先キニ行ッテ倒レトウ／＼死ンデシマッタト云フヤウナコトガ書イテアリマス、サウ云フヤウナ狀態デモ、尙ホソレヲ現場ト見ルカドウカ

●泉二政府委員 本當ニ逃ゲテ追跡シテ行クト云フ場合ハ、多クハ現場ニ於テハ原則トシテハ言ハレナイノデアリマス、唯闘爭ヲ續ケテ、ズット或ル場所カラ或ル場所ヘ行クト云フコトデアレバ、矢張到ル所現場ガアルト、斯ウ見ナケレバナラスト思ヒマス

●小野寺委員 丁度此頃ノ事件ノヤウナ場合デアリマス、第一條ノ第一號「盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還セン」トスルトキ、盜賊ヲ取還セントスル場合デアリマスガ、是ハ物ヲ取ッテ居ラナイ、サウスルト物ヲ取ッテ居ラナイ者ヲ追跡シテ十町モ二十町モ行ッテ打倒レタノニ、ノシ掛ッテ、サウシテ色々面倒ヲ起シ、許シテ吳レト云フノデ許シテヤッタト云フ狀態デアル、斯ウ云フコト

ハ御提出ニナッタ第一條ノドノ部分ニモ當筈マル點ガナイヤウデアリマシタガ、如何デゴザイマセウカ

●泉二政府委員 ソレハ大體三號ニモ當ルガ、或ハ盜犯防止ト云フ方ハ、必シモ物ヲ取ッタ後デナクテハナラヌト云フコトデハナク、放ッテ置ケバ是カラ物ヲ取ラウト云フ場合モ、矢張盜犯防止デアリマシテ、第一條第一號乃至第三號ニ當ルダラウト思ヒマス、假ニ當ラナイ場合ハドウナルカト云フト、是ハモウ先刻カラ申上ゲテ居リマス通りニ、三十六條ノ普通ノ解釋デ行ク、此處ハ、最も必要ト感ズル場合ニ付テ、特ニ

●小野寺委員 是ハ井本政府委員ニ御尋致シマス、是ハ法律ノ専門家ト云フカ——アナタモ専門家デアリマスガ、吾々ガ社會生活ノ實情ニ照シテ、今回ノ殊ニ第一條第二項ノ規定ト云フモノガ餘程重要ナル關係ヲ持ツモノデアルト考ヘルノデアリマス、尙ホ第一條第三號「又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスルト云フ」ハ餘リ極端デアル、先程モ言ハレタヤウニ、百二十條ノ三年以下ノ懲役或ハ五十圓以下ノ罰金デ済ムコ

トガ多イノデアアル、ソレヲ昂奮ノ結果デアレバ殺シテシマッテモ差支ヘナイト云フヤウナ規定ハ、餘リ酷ニ失シハセヌカト思フ、藤田君ノ如ク、寧ロ此點ハ除イテシマッタラト云フ御意見サヘアッタ位デアアル、井本政府委員ハ、此法律ノ利益ノ方面ト、害ノ方面ト云フコトニ付テ、利益ハドウ云フ利益ガアル、害ハドウ云フ害ガアルカ、而シテ此法律ヲ實行スルコトガ、國家社會ノ現狀ニ鑑テ必要デアルト云フ御考ヲ御持チニナッテ居ラレマスガ、其點ヲ御尋申上ゲテ見タイ、是ハ法律ノ専門的ノコトデ、寧ロ對社會的影響ヲ基本トスベキ問デアリマスカラ、特ニ井本政府委員ノ御説明ヲ要求スル次第デアリマス

●井本政府委員 此第一條、第二項、第三號ノ後段ノ問題ニ付キマシテ、其必要不必要ノ利害ノ説明ハ、大體泉二政府委員カラ詳細ニ述べラレテアル、而シテ今マデ引例サレマシタ色々ノ具體的事實モアリマシタガ、是等ハ大體程度ノ問題デアアル、極端ナ例ヲ申シマスレバ、各々利害ガアラウト思フ、併シ現在ノ社會世相ニ於キマシテ、此第一條第二項ノ規定並ニ第三號ノ後段ノ規定ハ必要デアラウト考ヘテ居リマス、又吾々ノ實際體驗シテ居リマスル社會生活ノ上カラ言ヒマシテモ、其必要ナル

トガ多イノデアアル、ソレヲ昂奮ノ結果デアレバ殺シテシマッテモ差支ヘナイト云フヤウナ規定ハ、餘リ酷ニ失シハセヌカト思フ、藤田君ノ如ク、寧ロ此點ハ除イテシマッタラト云フ御意見サヘアッタ位デアアル、井本政府委員ハ、此法律ノ利益ノ方面ト、害ノ方面ト云フコトニ付テ、利益ハドウ云フ利益ガアル、害ハドウ云フ害ガアルカ、而シテ此法律ヲ實行スルコトガ、國家社會ノ現狀ニ鑑テ必要デアルト云フ御考ヲ御持チニナッテ居ラレマスガ、其點ヲ御尋申上ゲテ見タイ、是ハ法律ノ専門的ノコトデ、寧ロ對社會的影響ヲ基本トスベキ問デアリマスカラ、特ニ井本政府委員ノ御説明ヲ要求スル次第デアリマス

コトハ疑ナイト思ヒマス、此法律ハ非常ニ長イ間研究サレマシテ、朝野ノ専門家、所謂刑法起草委員會デ十分審議シ、又本省ニ於キマシテモ十分審議シテ、

法制局ニ於テモ練リニ練ッタ結果、十分利害ヲ調査シテ現ハレタノガ此特別法デアリマス、現在ニ於キマシテハ、勿論

單行法トシテ提出シテ居ルノデアリマスガ、刑法全體ニ付キマシテハ、今折角調査中デアリマス、單行法トシテ施行

スル必要ガアルト云フノデ、政府ニ於キマシテハ利害總テヲ調査シテ、玆ニ提案シテ居ル次第デアリマス、吾々ノ

考ト致シマシテモ、其利害ハ一々今想像スル所ノ結果ガ、將來必ズ好結果ヲ

得ルカ、或ハ惡結果ヲ得ルカト云フコトハ斷言出來マセヌガ、吾々ノ調査シ

タ範圍ニ於キマシテハ、政府ノ考ヘル通りノ好結果ヲ得ルモノト確信シテ居

ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

●小野寺委員 此前大臣ノ説明ニ依リマス、此立法ヲ爲サレタ理由ト云フ

モノハ、近來非常ニ強盜ノ如キ犯罪ガ増加シテ、不安ノ状態ニアルト云フ

コトデアリマスガ、此立法ニ依ッテ其犯罪ノ減少ヲ來シ得ルコトガ出來ルト云

フ御考デアリマセウカ

●泉二政府委員 犯罪ノ減少ヲ來シ得ルカドウカト云フコトハ、ソレ程此規

定ニ於テ見テ居リマセヌ、今ノ御質問ハ、多分二條以下ノ規定ト見テ宜シウゴザイマスカ

●小野寺委員 一條デモ……

●泉二政府委員 ソレハ犯罪ノ減少ニモ多少效果ハアルダラウト思ヒマス

レドモ、主トシテ第一條ハ、被害者ノ防衛權ヲ安全ニシテヤルト云フコトガ主

タルハ理由デアリマス、ソレカラ第二條以下ニナリマス、是ダケデ以テ直

ニ犯罪ノ減少ガ出來ルト云フコトニ大キナ期待ヲ持ッテ居ル譯デハアリマセ

ヌ、多少ノ效果ハアルダラウト思ヒマスケレドモ、餘リ刑期ガ短クテ、度々繰

返シ／＼出テ來テ社會ニ實害ヲ與ヘル脅威ヲ與ヘルト云フ今日ノ狀況デア

ルカラ、其狀況ヲ矯正シテ、社會ノ安全ヲ期シヨウト云フ考デアルノデアリマス

●小野寺委員 大臣ノ説明ニ依リマスルト云フト、近來非常ニ此種ノ犯罪ガ

増加シテ一般ニ不安ノ状態デアルカラ、之ヲ其儘ニ放任シテ置ク譯ニイカ

ヌ、一面ニ於テ防衛權ヲ確立スルト云フコトニ依ッテ其不安ヲ除クコトガ出

來ルト云フヤウナ意味ノ御説明ガアッタヤウデアリマスルガ、要スルニ近來

ノ社會的傾向ト云フモノガ立法ノ一大理由ヲ成シテ居ルコトニ付テハ、御異

●泉二政府委員 ソレハ御質問ノ趣意ノ通りト見テ宜シイノデアリマス、尤

モ是サヘアレバ他ノ社會狀況ガドンナニアラウトモ、此法律萬能デ、是デ總テ

ヲ喰止メルノダ、サウ云フ考デナイコトハ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

●小野寺委員 何カ帝都ノ其方面ノ不安ナ狀況ニ付テ御調ニナッタモノガア

リマセウカ、アレバ其點ノ御説明ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマスルガ、強

盜ノ從來ヨリ非常ニ増加シテ居ル狀態、之ニ關聯スル或ハ社會的影響ト云

フヤウナコトニ付テ御調ニナッタモノガアリマスカ

●泉二政府委員 第一條ノ問題ニ關シマシテハ、兎ニ角今日ノ社會狀態ガ非

常ニ被害者ニ脅威ヲ與ヘルモノデアルト云フコトハ、特ニ事實ヲ一々申上ゲ

ナクトモ、新聞紙ニ現ハレタル事實ニ依ッテモ能ク御承知ノ次第デアラウト

思ヒマス、第二條以下ノ關係ニ於テ、強盜ノ狀況ガドウ云フコトニナッテ居

ルカト云フ點ニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲテアリマスル參考書デ御覽下

サレバ大體ノ狀況ハ分ルノデアリマス、殊ニ參考書ノ一番終ヒノ第八番目

ノ數字ナドヲ御覽下サレバ、ドノ位強盜ガ短期間ニ出テ來テ社會ニ脅威ヲ

●小野寺委員 第二條以下ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、御配付ヲ受ケマシタ參考資料ヲ拜見致シマシテ

モ、第二條第一項ノ各號中、第二號ノ「二人以上現場ニ於テ共同シテ犯シタル

トキ」ト云フヤウナ者ニ對シテ、三年以上ト云フヤウナ——強盜ニナレバ七

年デスガ、強盜ノ方ハ差措イテ、強盜デハセスカト考ヘラレルデアリマスルガ

如何デゴサイマセウカ、嚴刑主義ニ依ッテ所謂犯罪ノ絶滅ヲ期スルト云フコト

ハ勿論不可能ノコトデアル、ノミナラズ寧ろ刑ノ重過ギル爲ニ、却テ惡影響ヲ

社會ニ貽スト云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマスカラ、極端ナ嚴刑ヲ科

スルト云フコトハ、近代ノ刑事政策ノ傾向ニモ合シナイイチャナカラウカト考

ヘルノデアリマス、殊ニ第一項第二號ノ如キハ「二人以上」ト云フノデア

ルハ、是ハ所謂極ク輕微ナル犯罪デモ屢々アルコトデアル、吾々モ能ク斯ウ云

フ事案ニブッカルノデアリマス、之ニ臨ムニ所謂コソ泥デモ何デモ、二人以上

現場デヤッテ居レバ三年以上ノ刑ヲ科スルト云フヤウナ事ハ、少シ極端デハ

ナカラウカト思フ、殊ニ申上ゲル迄モナク現行刑法ハ主觀的事情ヲ多量ニ取

入レテアル、四圍ノ狀況ニ依ッテ犯人ガ如何ナル支配ヲ受ケテ居ルカト云フコ

トハ刑ノ量定ノ上ニ於テハ非常ナル力ヲ持ツモノデアル、ソレニモ拘ラズ、唯斯ウ云フ客觀的ノ事實アレバ、直ニ之ニ對シテ重刑ヲ以テ臨ム、斯ウ云フコトデアリマスナラバ、現刑法ノ根本精神ヲ破壞スルモノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居ル、此點ニ關シテ政府委員ハドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカ

●泉二政府委員

イヤ濫リニ嚴刑主義ヲ以テ臨ムト云フ趣意デナイコトハ、法文ヲ御覽下サレバ能ク御分リニナルダラウト思ヒマス、若シモ第二條ノ一號乃至四號ダケデアリマス云フト、サウ云フ風ニ御考ニナルコトハ無理ノナイ事デアル、私達モ唯此二號ダケ獨立シテ見マス、如何ニモ今ノ御話ノヤウニコソ泥ガ之ニ引掛ル譯デヒドイデヤナイカ、斯ウ云フ感ジヲ持チマシタケレドモ、ソコラハ餘程能ク矢張考慮ハシテ居ルノデアリマシテ、「常習トシテ左ノ各號ノ方法ニ依リ」トアルノデアリマス、此一號、二號、三號ノ事實ガアツテモ、ソレガ常習ニ行ハレタ場合ダケヲ見テ居ルノデアリマス、是ハ多クハ專門的ニ斯ウ云フ事ヲヤル者ナンドス、ソコデ是ハサウ云フ場合ニ付テノ規定デアリマス、又斯ウ云フ場合ニ當ル者ニ付キマシテモ、常ニ處罰ヲスル即チ訴追ヲスルト云フコトニナッテ居

ルカト云フト、サウデハナイノデアリマス、ソレハ御手許ニ差上ゲテアリマス參考書ノ二十五頁ヲ御披キ下サイマズレバ、竊盜ノ前科アル者ニ對シテモ、強盜ノ前科アル者ニ對シテモ、檢事ノ起訴猶豫ト云フ處置モ執ッテ居ルノデアリマス、茲ニハ執行猶豫ハ掲ゲテアリマセヌガ、時ニハ執行猶豫モアルノデゴザイマス、ケレドモ此法律ノヤウニ

三年以上ト云フコトニナレバ、執行猶豫ハ出來ナイコトニナリマスケレドモ、起訴猶豫ハ矢張爲シ得ルノデアリマシテ、而モ此常習トシテヤルト云フコトヲ、輒ク裁判所ハ常習ト認メナイダラウト考ヘル、現行刑法第百八十六條ノ常習ト云フ條件ノ認定ハ、幾分常習ノ認定ガ多クナッテ居リハセヌカト云フ感ジモアリマスケレドモ、此法律案デハ第三條ヲ御覽ニナルト云フト、三回以上六月ノ懲役以上ノ刑ニ處セラレタル者ガ、今度四回目ニ處刑ヲサレルト云フ場合ニ於テモ、當然ニ常習トハ認メテ居ラナイ、矢張常習的ノモノデアリヤ否ヤト云フコトハ、裁判官ガ更ニ他ノ事情ヲ斟酌シテ認定スルト云フコトニナッテ居ル、サウ云フコトニナリマス、此法律トシテハ常習ト云フコトハ是ハ二回ヤッタカラ直グ常習ダ、斯ウ云フコトニハ決シテ認定ニナラナイダラウト思フノデアリマス、殆ド職業

的ニヤル場合ヲ是ハ見テ居ル規定デアルト考ヘテ宜シイノデアリマス、サウ云フコトデ十分ニ條件ヲ限定シテ居リマスカラ、決シテ是ガ苛酷ニ過ギルト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、唯、人情ト云フ點カラ申シマス、云フト、刑法ノ竊盜ノ規定モ十年以下ナド、シナイデ、竊盜ハ總テ一年以下

デ宜イト云フコトモ、唯人情論デ言ヘバ宜シイカモ知レマセヌ、併ナガラ社會防衛ノ必要上カラ、ドウシテモ斯ウ云フ常習的ノ者ニ對シテハ、今日ノヤウナ輕イ刑期デハイカスト云フコトヲ認メテ此特別ノ規定ヲ設ケル必要ヲ認メタノデアリマス

●小野寺委員 尙ホ御尋シタイ點モアリマスケレドモ、星島君ガ質問ガアルサウデスカラ、私ハ是デ止メテ置キマス

●星島委員 私ハ原惣兵衛君ニ代リマシテ俄ニ委員ニナリマシタノデ、最初ノ議事實疑應答ヲ知リマセヌカラ、或ハ重複スルカモ知レマセヌガ、重大ナル人權ニ關スル法律デアリマスカラ御許シヲ願ヒタイト思フノデアリマス、本法案ガ生命、身體或ハ貞操擁護ノ爲ニ自由ヲ尊重セントスル意思ノ在ルコトハ、吾々ハ無論其趣意ニ於テハ贊成デアリマスガ、併シ說教強盜ノ事件ニ怯ヘタ俄作リデハナイカト云フヤウナ

感ジガ、此文書ヲ開イテ見タ時ニ致シマスガ、ソコデサウ云フ人權ニ關スル法律案ハ、私ハ何故斯ウ云フ特別議會ニ急イデ御出シニナッタカ、尙又何故之ヲ先ニ衆議院ニ御問ヒニナラナカッタカ、衆議院デ十分論議シテ、然ル後ニ是ハ貴族院ニ廻サルベキコトガ、私ハ當然ノ遣方デハナイカト思フノデアリマシガ、若シ是ハ所謂司法部内ニ於キマシテ、本當ニ下カラ起ッタ輿論デ、ソレカラ段々ト御取上ゲニナッテ發案サレタ

方面、特權階級ノ方カラ聲ガ起ッテ、而モ現渡邊司法大臣ハ貴族院議員デアリ且ツ大臣デアルト云フノデ、俄ニ要求ガアツテ出サレタノデアリマス、真相ヲ御伺シタイノデアリマスガ、如何デアリマスカ、御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

●泉二政府委員 是ハ現在ノ時勢ニ照シテ必要デアルト司法部デ認メテ、此案ガ出來タノデアリマス

●星島委員 現在ノ刑法ノ中ニ於テモ死刑ハ廢スベシト云フコトノ議論ハ各國トモ起ッテ居リマス、日本ニ於キマシテモソノ其議論ガ發表サレテ居ルノデアリマスガ、非常ナ犯罪デアッテ當然死刑ニ處スベキ事サヘモ、死刑ヲ廢止スベシト云フヤウナ議論ガ將ニ行ハレツ、アル、斯ウ云フ時勢ニ兎モ角モ假令人權擁護ニシマシテモ、人ヲ殺シ

テモ宜シイト云フコトヲ法律ノ上ニ認
メルコトハ、是ハ非常ニ大キナ問題デ
アリマス、政府ニ於キマシテハ死刑廢
止ト云フヤウナコトヲ御考ニナッテ、御
調査ニナッテ、或ハ或ル何カノ時期ニ斯
ウ云フ問題ヲ御提出ニナルト云フヤウ
ナコトヲ御考慮ニナッテ居リマスカ、其
點ヲ玆ニ關聯シテ御尋致シタイト思ヒ
マス

●井本政府委員 先刻星島君ノ御質問
デアリマシタガ、是ハ急遽デアアリマ
セス、政友會ノ原君ガ司法大臣ノ時ニ
發案サレタモノデアリマス、ソレヲ引
續キマシテ折角丁寧ニ調査致シタノデ
アリマス

●泉二政府委員 死刑廢止ノ問題ガ世
界ノニ研究サレツ、アルコトハ、只今
御話ノ通りデアリマスガ、司法省ト致
シマシテハ、只今ノ所デハ死刑廢止ヲ
シヨウト云フ考ハナイノデアリマス

●星島委員 此案ニ依リマス、貞操
ト云フモノニ對シテ非常ニ重ク擁護サ
レントスルコトアルハ、洵ニ一面カラ
言ヘバ宜イト思フノデアリマスガ、多
分是ハ說教強盜ト云フヤウナコトカラ
端ヲ發シタ案ト思ヒマスガ、斯クマデ
ニ殺シテモ宜イト云フマデニシテ貞
操ヲ擁護サレントスル案文ヲ出サレタ
ノデアリマスカラ、少シ直接關係ハア
リマセスケレドモ、單純ニ一時ノ動機

デ以テ、サウシテ力ヲ以テ強姦スルト
カ云フヤウナコトサヘモ、殺シテモ宜
イト云フ位ニ認メル以上ハ、政府ニ於
キマシテハ金ノ力、永イ間ノ習慣ニ依
テ事實上婦人ノ貞操ヲ蹂躪スルト云フ
ヤウナコトガ、今日ノ社會ニ非常ニ現
レテ居ル、之ニ對シテ或ハ色々ナ婦人
問題ガ起ッテ居リマスガ、政府ニ於キマ
シテハ、此突發的ニ起ル危險ニ對シテ
殺シテ宜イト云フ御考デアアルナラバ、
永イ間實ニ慘酷極マルコトガ、奴隸賣
買トカ其他色々ナコトガアリマスガ、
其等ニ付キマシテ貞操ヲ擁護シロト云
フヤウナ、何カ法律ヲ御出シニナル御
用意ガナイデセウカ、之ニ付テ御伺致
シマス

●泉二政府委員 只今司法省ニ刑法改
正委員會ガアリマシテ、折角調査中デ
アリマス、此案ニ於キマシテハ、現行刑
法ヨリモモウ少シ進ンデ、貞操ノ擁護
ト云フ目的ヲ達スルヤウニ規定ヲ改正
シヨウデハナイカト云フ趨勢ニナッテ
居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

●星島委員 私ハ殊ニ此法案ニ付キマ
シテ、貞操ノ問題ガ出テ居リマスカラ、
丁度好イ機會デアリマスガ、此參考資
料ニ依リマスダケデハ、如何ニ此貞操
ガ蹂躪サレツ、アルカト云フコトガ分
リマセス、ソレカラ殊ニ稀代ノ說教強
盜ガ一體ドウ云フコトヲヤッテ居ッタカ

ト云フコトハ、是ハアノ當時ニ於キマ
シテ私共聞カント欲スル所デアッタノ
デアリマスケレドモ、態々行ッテ御尋ス
ル譯ニモ行キマセヌカラ、甚ダ御迷惑
デセウガ、秘密會ニナッテモ宜シウゴザ
イマスカラ、最近ノ實際ノ實例、如何ニ
恐ルベキ犯罪ガ行ハレツ、アルカト云
フコトニ付テ、私ハ此席ニ於テ御漏シ
テ願ヒタイト思ヒマス、說教強盜ノ實
狀ヲ……

●泉二政府委員 只今ノ御質問ニ對シ
マシテハ、裁判所ノ方デ調べテ居ル事
實ガマダ公ニサレル程デモアリマセ
ヌ、又秘密會ト云ヒマシテモ、人ノ名譽
ニ關スルヤウナコトモ隨分アルト思ヒ
マスカラ、其質問ニ對スル御答ダケハ
御許シテ願ヒマス

●星島委員 丁度好イ機會デアリマス
カラ御尋ラシタイノデスガ、民法ノ第
九十條ニ「公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ
反スル事項」ト云フ規定ガアルノデス
ガ、金ノ力デ壓迫的ニ貞操ヲ賣買スル
ト云フコトハ、私ハサウ云フコトハ法
律ニ反スルト思フノデアリマスガ、今
ノ司法省ノ御解釋ハドウ云フコトデア
リマスカ、此機會ニ伺ッテ置キタイ

●星二政府委員 ドウモソレハ喜ブベ
キ現象デナイト云フコトハ確ニ御同感
デアリマス、唯ソレニハ色々事情ヤ程
度モアリマセウシ、總テヲ犯罪トシテ

處罰スルト云フヤウナ立法ヲスルト云
フコトモムヅカシイコト、考ヘテ居リ
マス

●星島委員 私ノ質問ハ保留シマス
●小野寺委員 先刻ノ第二條以下デ
ス、殊ニ第二條ニ付テ御尋ヲ致シタイ
ノデアリマスガ、第二條第一項第二號
ノ「二人以上現場ニ於テ」ト云フノハ、
常習ト云フコトガアルカラ、決シテ無
理デハナイト云フ御話デスケレドモ、
是ハ私共實際取扱ッタ事件ナドニ付テ
考ヘテ見マシテモ、例ヘバ二十歳前後
即チ少年犯罪、斯ウ云フ者ニ付テハ何
同トナク累犯ヲシテ居ル、併ナガラヤ
ルコトハ大シタコトデハナイ、多クハ
少年犯罪ニ付テハ共犯ガ多イ、斯ウ云
フヤウニ將來遷善改過ヲ辿リ得ル十分
ナ期待ガアルニモ拘ラズ、之ヲ三年以
上ノ懲役ト云フヤウナモノニ縛ッテ行
クト云フコトハ、餘リ極端デハナカラ
ウカト私共考ヘテ居ル、勿論サウ申シ
マスト檢事ノ方デ起訴猶豫ヲスル方法
モアル、斯ウ云フ御答モアリマシタケ
レドモ、檢事ノ起訴猶豫ヲ計算ニ入レ
テ三年以上ト云フヤウナ極刑ヲ定メラ
レルト云フコトハ當ラナイト思フ、檢
事ハ檢事トシテ其權限ニ基イテ起訴猶
豫ニシテ、其者ニ遷善改過ヲ期待シテ
居ルノデアアル、一旦起訴ヲ致シマシテ
裁判所デ扱フコトニナレバ、又判事ノ

頭ヲ以チマシテ所謂自由裁量ノ權能ヲ利用致シマシテ、最モ適切ナル刑ヲ之ニ科スルト云フコトハ當然ノコトデア
ル、ソレニモ拘ラズ、此判事ノ自由裁量ノ餘地、殊ニ本人ノ環境ナリ本人ノ性格ナド、云フ主觀的事情ヲ認定スベキ機會ヲ奪フテ、サウシテキチント三年以上ト決メテシマウ、常習デサヘアレバ三年、斯ウ云フコトデハ決シテ治民ノ要道ニ合シタモノデハナイト私共考ヘテ居ルノデアリマス、如何ニモ極端デアル、斯ウ云フコトデ以テ人民ニ臨マレルト云フコトハ、寧ロ犯罪ヲ多クスルト云フヤウナ結果ニナリヤセヌカ、法令ヲ嚴シテ監獄ノ狹キヲ感ズルト云フヤウナ狀態ニナル、元來刑政ノ要道ト云フノハ、寧ロ緩刑ヲ以テ犯罪ノ減少ヲ期待スル所ニアラダウト私共考ヘテ居ル、ソレニ逆行スル、詰リ近代ノ思想ニ逆行スルヤウナ極端ノ刑ヲ茲ニ盛ッタト云フコトハ、甚ダ望マシカラザルコト、考フルノデアリマス、御配付ニナリマシタ所ノ各國ノ刑法ノ處罰ノ程度ヲ見マシテモ、之ニキツチリ當倣ッテ居ルノハ無論アリマセヌガ、稍々似通ッタモノニ依リマシテモ、極メテ刑ガ輕イ、寧ロ、裁判官ノ認定ノ範圍ガ廣イ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデナケレバ私共ハイカスト思フ、或ハ近來裁判官ノ刑ノ量定ト云フモノハ輕過ギルヤウデアルカラ、是ハ少シ重クシテ犯罪ヲ少クシテヤラウト云フヤウナコトデ、此改正ヲ見込マレタト云フヤウナ説モアルノデアリマス、果シテサウデアルトスルナラバ、吾ハ寧ロ司法省ナリ、或ハ此法案ノ起草ニ御關係ノ方々ハ、社會ノ實情ト云フモノヲ無視シテ立法サレタモノデハナカラウカト云フ風ニ極論セザルヲ得ナイノデアアル、今日ノ盜犯其他ノ増加ト云フモノハ、勿論其大部分ハ社會的影響デアアル、是ニハ政府ノ經濟政策ノ問題モアル、或ハ社會政策ノ問題モアル、幾多ノ政治上ノ缺陷或ハ社會上ノ缺陷ト云フモノガ此犯罪ヲ誘致シテ居ル、果シテ然ラバ其方面ニ寧ロ主力ヲ注グベキモノデアアル、斯ウ云フ嚴罰ヲ以テ人民ニ臨ンデ、ソレニ依ッテ犯罪ノ防止、或ハ豫防ノ一般警戒或ハ特別警戒ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ御考ハ、寧ロ近代ノ思想ニ合シナイ所ノ御考デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、此點ニ關シテ政府ハ如何ナル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何モ此三年以上ト云フヤウナ極刑ヲコンナ輕微ナ犯罪——輕微ナ犯罪モアリ得ル、二十歳前後ノ少年ガ二三シテ、サウシテ此頃私ヤッテ居リマスガ、神田ノ本屋デ殆ド本ノ常習ノ萬引デアアル、本ノ萬引ヲシテモ矢張り是ハ三年以上ヤラナケレバナラヌ、然ルニ私ハ此萬引シタ店ヲスッカリ調べテ、サウシテソレニ賠償ヲシマシテ、サウシテ三回目デアッタケレドモ、特ニ頼ンデ色々保護者トカ何トカ云フ關係ヲ立證シマシテ、私ノ辯護シタバケノ執行猶豫ニナッタ、今海軍ノ雇カ何カシテ居ル、サウ云フヤウナ譯デアリマス、三年ノ懲役ト云フコトヲシッカリヤッテシマフト云フ御考ハ、如何ニ常習デモ是ハ間違ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ私共ドウシタツテ通ス譯ニハ行カナイト考ヘテ居ル、又先刻モ申シマシタヤウニ、既ニ與黨側ノ藤田君サヘモ、此第三項ノ後段ト云フモノニ付テハ、非常ナ事實上不都合ナ場合ガ生ズルト云フコトヲ極論サレテ居ル、是ハ立法サレタ政府委員トシテハ之ヲ通シタイト云フ御考ハ御無理デハナイ、殊ニ貴族院ガ通ッテ居ラバ之ヲ通シテ上ゲタイノデアリマス、併ナガラ斯ウ云フヤウナ一寸用ガアッテ行ッテ、用ガ濟ンデ退廳ヲ命ゼラレテ退廳ヲシナイ、ソレデ少シ議論ガ昂ジテ興奮シテソレヲ打殺シテシマッテモ、ソレデモウ無責任ダト云フヤウナ法律ガ、此文明國ヲ以テ自認スル所ノ我國ニ公然ト行ハレルト云フコトニナリマシタナラバ、國家ノ耻デアアル、決シテ嚴罰ヲ以テ臨ムトカ、或ハ極端ナヤウナ防衛權ノ確立ニ依ッテ犯罪ヲ絶滅スルト云フコトハ不可能デアアル、否、犯罪ヲ減少サセルト云フコトモ不可能デアルト云フコトハ、モウ見エ切ッテ居ル、ソレニモ拘ラズ斯ウ云フヤウナ亂暴極マル所ノ法律ヲ定メ、之ニ依ッテ兎ニ角ニ社會不安ヲ除カウト云フ御考ヲ御持チニナルト云フコトハ、實際時代錯誤デアリマス、此點ハ政府ハ如何ニ御考ニナリマスカ

●泉二政府委員 折角小野寺委員ノ御高説デスケレドモ、遺憾ナガラ賛成出來兼ルノデアリマス、第二條ノ三年以上ト云フ點デアリマス、三年ガ普通ニナッテ居リマス、ケレドモ、能ク小野寺君ノ御承知ノヤウニ、裁判官ハ酌量減刑ノ權限ヲ矢張持ッテ居ルノデアリマス、若シ御話ノヤウニ、最モ是ハ憫情スベキモノダト云フヤウニ見マシタナラバ、是ハ先ヅ檢事ニ於テソシタモノハ起訴セヌダラウト思ヒマス、御承知ノヤウニ今日有罪ト認メラレマシテモ、檢事ノ方ノ取扱デ約三分ノ二ハ起訴猶豫デアリマス、後ト三分ノ一強ガ起訴サレルモノデアリマス、ソレデモ先ヅ防ゲマス、假ニ其方ハ別問題ニシテ、判事ノ手ニ移ッテカラドウカト云フコトデアリマス、ケレドモ、判事ノ手デ又調べタ結果、判事ガ憫情スベキモノト認メタナラバ、酌量減刑ヲ致シマス、

御承知ノヤウニ一年六箇月迄下スコト
ガ出來マス、サウシタナラバ又執行猶
豫ニスルト云フコトモ酌量減刑ヲスレ
バ出來ルノデアリマス、而已ナラズ少
年ニ對シマシテハ少年法ノ規定ガアリ
マシテ、是ハ必ズシモ刑罰ヲ加ヘスデ
モ保護處分デスベキモノダト見タナラ
バ、裁判所カラ少年審判所ニ之ヲ移送
スルコトモ出來ルヤウニナツテ居リマ
ス、サウ云フコトデ處分ノ上ニ何等差
支ナイノデアリマス、寛大ニスル必要
ノアル場合ニ寛大ニスルト云フコト
ハ、一向差支ナイヤウニ是ハ出來テ居
ルノデアリマス、寛大ニスルベカラザル
場合ニ於テ寛大ニスルト云フコトハ、
是ハ非常ナ間違デアル、社會保護ノ上
カラ考ヘテ非常ナ間違デアル、又本人
ノ保護ノ云フ點カラ考ヘテモ非常ナ是
ハ間違デアル、唯、甘ヤカシサヘスレ
バ其人間ガ善クナルモノダト考ヘタラ
非常ナ間違デアル、所謂毒藥、劇藥ヲ以
テ病ヲ治スル場合モアルシ、其少年ガ
惡イ犯罪生活ニ這入ッタ其出鼻ニ於テ
ハ、寧ロ嚴格ナル處置ヲ以テ之ニ臨ム
方ガ利キ目ガアルノデアリマシテ――

テ少シ長イ刑ヲ是ハ科スル方ガ今日ノ
行刑上ノ實驗ノ上ニ於テ最モ適當デア
ルト考ヘラレテ居ル、是ハ時代錯誤デ
アルト仰シヤイマシタケレドモ、歐米
ニ於テモ――歐米ヲ引クト御叱リヲ受
ケルカモ知レマセヌガ、世界的ノ刑事
政策トシテサウ云フ少年ニ對シテ短期
ノ刑ヲ科スルト云フコトハ、刑事政策
上非常ニ間違デアルト云フコトニ見ラ
レテ居ルノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ
常習犯人ニ對シマシテハ出來ルダケ長
ク社會カラ隔離シテ置イテ、サウシテ
其間ニ之ヲ改善スル途ヲ盡サナケレ
バ、一寸僅ナ時間デ之ヲ改善シヨウナ
ド、云フコトハ不可能ナコトデアアルノ
デアリマスカラ、常習犯人ニ對シ特別
ノ處分ヲシヨウト云フコトガ、今日ノ
確立サレマシタ刑事政策ノ要求デア
ルノデアリマス、時代錯誤デナイト私ハ
確信シテ居ルノデアリマシテ、先刻井
本政府委員カラ御答ニナリマシタヤウ
ニ、是ハ前ノ政友會内閣ノ司法大臣ト
シテノ原大臣ノ時カラノ懸案デ、研究
問題ニナツテ今日ニ及ンデ居ル、而シテ
又貴族院ノ委員會モ全會一致デ通過シ
テ居ルト云フ點カラ見テモ、別ニ吾
ハサウ時代錯誤ヲヤツテ居ルモノトハ
考ヘナイノデアリマス、而シテ又御手許
ニ差上ゲテ置キマシタ參考書ノ一番終
ヒノ統計ヲ御覽ニナリマス、巢鴨ノ

刑務所カラ出タ強盜犯人ニ付テノ是
ハ取調デアリマスガ、而モ是ハ昭和四
年十一月五日ノ現在ノ狀態ニ付テノ取
調デアリマス、強盜盜犯人千七百三十
八人釋放サレテ居ル、其中九百三十七
人、即チ五割四分ト云フモノハ四箇月
以内ニモウ歸ッテ來テ居ルノデアリマ
ス、是ハ餘リニ何デセウカ簡單ニ云ヘ
バ刑期ガ短カケレバ斯ウ云フ風ニ出テ
ハ四箇月以内ニ刑務所ヘ歸ッテ來ルト
云フヤウニ繰返サレタラバ、社會ノ脅
威ハドンナモノデアリマセウ、アナタ
方モ矢張被害者ノ一人トシテ脅威ヲ感
ゼラレル一人デアルカモ知レマセヌ、
兎ニ角斯ウ云フヤウナ風ニ出監者ノ大
部分ト云フモノハ繰返シテ出テハ這
リ、這入ッテハ出ルト云フヤウナコトデ
アル、平均シマシテ竊盜ハ八箇月ト十
三日目ニハ再ビ舞戻ッテ來ル、強盜ハ十
一箇月ト二十一日目ニハ再ビ舞戻ッテ
來ル、斯ウ云フヤウナ風デアリマスカ
ラ、ドウシテモ刑期ヲ長クスルト云フ
コトガ必要デアアルノデナイカ、斯ウ云
フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ド
ウゾ此刑事政策上ノ見地カラ見タル吾
吾ノ立案ニハ御賛成ヲ願ヒタイノデア
リマス

テ少シ長イ刑ヲ是ハ科スル方ガ今日ノ
行刑上ノ實驗ノ上ニ於テ最モ適當デア
ルト考ヘラレテ居ル、是ハ時代錯誤デ
アルト仰シヤイマシタケレドモ、歐米
ニ於テモ――歐米ヲ引クト御叱リヲ受
ケルカモ知レマセヌガ、世界的ノ刑事
政策トシテサウ云フ少年ニ對シテ短期
ノ刑ヲ科スルト云フコトハ、刑事政策
上非常ニ間違デアルト云フコトニ見ラ
レテ居ルノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ
常習犯人ニ對シマシテハ出來ルダケ長
ク社會カラ隔離シテ置イテ、サウシテ
其間ニ之ヲ改善スル途ヲ盡サナケレ
バ、一寸僅ナ時間デ之ヲ改善シヨウナ
ド、云フコトハ不可能ナコトデアアルノ
デアリマスカラ、常習犯人ニ對シ特別
ノ處分ヲシヨウト云フコトガ、今日ノ
確立サレマシタ刑事政策ノ要求デア
ルノデアリマス、時代錯誤デナイト私ハ
確信シテ居ルノデアリマシテ、先刻井
本政府委員カラ御答ニナリマシタヤウ
ニ、是ハ前ノ政友會内閣ノ司法大臣ト
シテノ原大臣ノ時カラノ懸案デ、研究
問題ニナツテ今日ニ及ンデ居ル、而シテ
又貴族院ノ委員會モ全會一致デ通過シ
テ居ルト云フ點カラ見テモ、別ニ吾
ハサウ時代錯誤ヲヤツテ居ルモノトハ
考ヘナイノデアリマス、而シテ又御手許
ニ差上ゲテ置キマシタ參考書ノ一番終
ヒノ統計ヲ御覽ニナリマス、巢鴨ノ

的質問ヨリモ寧ロ私ハ分リ易イ例ヲ
取ッテ御尋ヲシタイト思フ、御引例ノ説
教強盜ガ這入ッタ場合ニ、何等危害ノ通
告モナク、又身體生命、貞操ニ對スル危
險ノ行動モナク、唯、端的ニアナタハ
押入ニ這入ッテオ在デナサイ、斯ウ言ハ
レタ場合ニ押入ニ這入ル、斯ウ云フ場
合ハ此法律デハ保護スルノデアリマス
カ、保護シナイノデアリマスルカ、保護
スルト云フナラバドノ條項ニ嵌マリマ
スカ

●泉二政府委員 只今御示シノヤウナ
場合押入ニ這入ッテ居レト言ハレテ入
レラレタ、ソレデ以テモウ生命、身體、
貞操ニ對シテ危險ガナイト御判斷デア
レバ、其御判斷ガ果シテ正シイカドウ
カ分リマセヌガ、裁判官モ若シサウ云
フ風ニ判斷スベキ場合デアッタラ、一項
ノ適用ハナイト思ヒマス、併ナガラ私
ハ押入ニ入レラレタラ生命、身體、貞操
ニ對スル危險ガナイト云フ斷定ハ寧ロ
間違デヤナイカト思ヒマス、私ニシテ
考ヘテ見マス、斯ウ云フ風ニ強盜ガ
這入ッテ來テ、強盜シテカラ出テモ行カ
ナイ、押入ノ中ニ投込マレテハ私ハ非
常ニ危險ヲ感ズルト思ヒマス、アナタ
ハサウ云フ場合ニ御遭ヒニナツタコト
ハナイデセウカラサウ云フ事ヲ仰セニ
ナリマスガ、私ハサウ云フ場合ニ遭ッ
タ危險ヲ感ズルダラウト想像シマス、

●牧野委員 先程可ナリ詳シク御尋シ
タノデアリマスルガ、マダ私ニハ少シ
了解シ兼ねル點ガアリマス、依ッテ理論

了解シ兼ねル點ガアリマス、依ッテ理論

牧野サンハ一寸サウ云フ風ニ御感ジニナラヌカドウカ、其點ニ付テ私ハ矢張第一項ノ適用ト云フノハ大抵御想像ニナルデヤナイカト思フノデアリマス

●牧野委員 私ガ御尋シタノハ男女ヲ問ハズ、女ノ場合ニハ貞操ト云フコトガアリ得ルガ、男ノ場合ニハ貞操ト云フコトガナイカモ知レス、ソコデ押入ニ這入レト云フ言葉ニ從ッテ押入ニ這入ッテ居ル場合ニドウ云フ風ニナルカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデアリマ

●泉二政府委員 私ハ其意味デ御答シタ、私モ男トシテ押入ニ入レラレタ時ニ生命身體ニ危險ヲ感ズルト思フノデアリマス

●牧野委員 サウスルト、貞操ト云フモノハ有ッテモ無クテモ同ジ事ニナリマスカ、貞操ト云フ規定ガ不必要デア

●泉二政府委員 私ハ是ハ説明規定デアリマスカラ、特ニ分リ易イヤウニシ

タイト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソコデ貞操ト云フ文字ハ假ニナクトモ、矢張身體ニ對スル危險ヲ感ズルト云フコトモ出來マスガ、女カラ見マスサウ云

●牧野委員 只今ノ御説明ニ依ッテ大變危險ヲ感ズルト云フコトハ分ッタノデアリマスガ、特ニ貞操ニ關スル危險ヲ感ズルト云フコトハドウ云フコトカ

●泉二政府委員 只今ノ御間ヒハサウデナイト申上ゲマス

●牧野委員 自動車又ハ汽車ハ何故ニ茲ニ列舉シナイノデアルカ、其理由ヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員 是ハ住居及住居ト同視スベキ場所ニ付テ特ニ必要ノアルコトヲ考ヘテノ規定デアリマシテ、汽車

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

ナイカソレヲ特ニ貞操ト云フ文字ヲ掲ゲテ居マスカラ、女ノ場合ニハ危險ヲ感ズルガ、男ノ場合ニハ危險ヲ感ジナ

●牧野委員 汽車ノ中ニハ多數ノ人が居ルカラサウ云フコトハ無カラウト斯

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

カラ必要ト感ゼラレル場合ダケヲ唯説明シタノデアアル、斯ウ云フ趣意デアリ

●牧野委員 汽車ノ中ニハ多數ノ人が居ルカラサウ云フコトハ無カラウト斯

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

●泉二政府委員 汽車トカ自動車ト云フコトハ、貴族院ノ委員會デモ一寸サ

カ、ソレカラ飛行機ハドウカト云フヤ
ウナ風ノ所マデハ考ヘナイ方ガ宜カラ
ウト云フコトデ、是ダケニ止メタノデ
アリマス

●牧野委員

汽車ノ中ニ強盗ノ被害ノ

アルコトハ絶エズ吾々ハ新聞紙で見テ
居ルノデアリマスガ、汽車ノ中ノ強盗
盗ノ統計ガ御調べニナッテアリマセウ
カ、之ヲ伺ヒマス、ソレカラ自動車ノ中
ニ於テモ、運轉手自身ガ強盗デアル場
合モアリ又運轉手ガ強盗ニ化ケル場合
モアル、是等ハ人ノ邸宅若クハ建造物
若クハ住居デナクテモ、或ル意味ニ於
ケル居所デアルト云フコトダケハ明白
デアル、參考書類トシテ御配付ニナッ
テ居ル外國ノ法律ニ於テモ、矢張室房
トカ何トカ、例ヘバ住宅トカ建造物ト
云フ意味デナクテモ、自分ダケノ室内
ニ這入ッテ來タ場合モ規定シテ居ル法
律ガ澤山アリマス、少ナクトモ自動車
ナリ汽車ナリハ自分ノ室内ト同一ニ觀
念シ得ルト考ヘラレマス、政府委員ニ
於テハ此法律ニ於テソレヲモ見ル必要
ハナイト云フ積リデアリマセウカ、ソ
レヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員

汽車ノ中自動車ノ中

ニ於ケル強竊盜ノ統計ハ調べテアリマ
セヌ、汽車ノ中ヤ自動車ノ中ヲ自分ノ
室ト同一ニ見ルト云フ御話ハ住居ト同
ジニ見ルト同ジ場合デアルカモ知レマ

セヌガ、住居ト云フ言葉ハ非常ニ古ク
カラ使ハレテ居ルニ拘ハラズ其概念ハ
相當ニ議論ノ在ル所デアリマシテ一定
致シテ居リマセヌガ、コチラデハ一時
臨時的ニ乗ッテ居ルモノ、即チ汽車トカ
自動車トカ云フモノハ這入ラナイト云
フ積リデ是ハ出來テ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ汽車ヤ自動車ノ中デ現ニ
強盗ガ行ハレルノデアアル、其強盗ガ暴
行脅迫ヲ以テ現ニコチラニ臨ンデ居ル
場合、例ヘバ自動車ノ中デ運轉手ガ其
客ニ向ッテ「ビストル」デモ向ケテ取ラ
ウトスルト云フ場合デアリマス、ソ
レハモウ急迫不正ノ侵害ガアル場合デ
アリマシテ、ソレハ普通ノ刑法ノ第三
十六條ノ規定ノ正當防衛トシテ疑ノナ
イコトデ、此處デハサウ云フ場合ヲ想
像スル必要ガナイト云フ積リデアリマ
ス

●牧野委員

只今政府委員カラ自動車

ニ付テ個人ノ方ノ例ヲ舉ゲテ説明セラ
レタカラ其例ヲ借用シテ更ニ御尋致シ
マス、自動車ノ運轉手ガ「ビストル」ヲ
向ケテ強盜行爲ヲヤッタト云フコトヲ
只今御説明ニナッタノデアリマスルガ、
然ラバ自動車ヲ故ナク止メテ、人ノ通
行シナイ野原若クハ閑靜ナル町内ニ
至ッテ乗客ノ要求スル方角ニ進メズシ
テ或ハ反對ノ方ヘ進ミ、若クハ何等進
行セズシテ停滯致シテ居ッタ場合ニハ、

ドウ云フコトニナルノデアリマスカ
御説明ヲ願ヒマス

●泉二政府委員

ソレハ自動車ニ對シ

テ「ビストル」ヲ以テ進マセナイヤウニ
スルト云フ場合ノ御質問デアリマスガ
●牧野委員 進マセナイ場合モアリマ
ス、ソレカラ乗客ノ希望スル反對ノ方
面ニ進行スル場合モアリマス、ソレハ
譬ヘテ申スト要求ヲ受ケテ退去セザル
妨害ト同一若クハ同一以上ノ行爲ト侵
害ガアルト思フノデスガ、サウ云フ場
合ニ於テハ何故ニ保護シナイノデアル
カ、ソレヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員

サウ云フ場合ニ脅迫

トカ暴行トカ云フモノハ、急迫ノ侵害
デアルト解釋スベキモノダト思ヒマ
ス、隨テソレハ普通ノ刑法ノ正當防衛
トシテ考ヘルコトガ出來ルノデアアル
ガ、此處ニ書イテアルヤウナ場合ヲモ
今日ノ事相ニ照シテ説明シテ置クコト
ガ必要デアルト思フノデアリマシテ、
今御話ノヤウニ正當防衛ガ出來ナイト
云フコトヲ言フ積リデハナイノデアリ
マス

●牧野委員

只今申上ゲタ如ク脅迫ト

カ暴行トカ云フコトハ、少シモ加味シ
テ居ナイ、客ノ意ニ反シア唯自動車ヲ
止メテ何等ノ行動ヲモ取ラズシテ其處
ニ居ル、又要求ト反對ノ方角ニ向ッテ唯
無時ニ進行シテ居ルダケ脅迫モナケ

レバ暴行モナイ、併ナガラ其由ッテ來ル
ベキ公益ノ侵害ハ第三號ノ「又ハ要求
ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル
者」ト相當若クハ以上ノ公益ノ侵害ガ
アルト考ルノデアリマスルガ、何故ニ
サウ云フ場合ヲ此規定ニ依ッテ保護シ
ナイノデアアルカ、斯ウ云フ御尋デアリ
マス

●泉二政府委員

只今ノ御問ハ自動車

デナクトモ宜イノデセウ、道ヲ歩イテ
居ル時ニ手ヲ擴ゲテヤラナイ、斯ウ云
フ場合、ソレガ暴行デモ脅迫デモナイ
ト斯ウ云フコトニナルノト、丁度御問
ノ自動車ノ場合ト同ジカモ知レマセヌ、
サウ云フ場合ニモ此規定見ナイノデ
アルカ、サウ云フ場合モ此規定デハ見
テ居ナイ、ソレト同ジヤウニ矢張自動
車ノ場合デモ此規定デハ見テ居ナイ、
併シ此規定ハ兎ニ角住居ノ保護ト云フ
コトヲ中心トシテコチラデハ考ヘテ居
ル、ソレダケガ此場合ニ於テハ必要デ
アルト云フ精神デアリマス

●牧野委員

マア其點ハソレデ宜シウ

ゴザイマス、次ニ斯ウ云フコトヲ御尋
シタイノデス、第三號ノ後段デス、又ハ
要求ヲ受ケテ是等ノ場所ヨリ退去セザ
ル者ヲ排斥セントスル場合、是ハ
其前ニ一ツ明確ニシテ置キタイ、第三
號ノ規定ハ家宅侵入ノ規定ノ全部デア
リマスガ、如何デアリマスガ、之ヲ伺ヒ

タイ

●泉二政府委員 是ハ御問ノ通りデア
ルト思ヒマス

●牧野委員 ソコデ此要求ヲ受ケテ退
去セザル場合ハ急迫性ノ侵害ト云フモ
ノハ有リ得ルノデスカ、有リ得ナイノ
デスカソレヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員 政府委員ヨリ牧野サ
ンニ御諮リスル方ガ宜イ場合モ度々ア
リマス、アナタモ度々御繰返シニナレ
バ私ハ立タネバナリマセス、ドウゾ餘
リ度々立タナイヤウニ願ヒマス、只今
ノ御問ノ、要求ヲ受ケテ退去セザル場
合モ、矢張急迫ノ侵害ガ繼續シテ居ル
モノダト、斯ウ考ヘルノデアリマス

●牧野委員 續イテ御伺シマスガ、サ
ウスルト無論此要求ヲ受ケテ退去セザ
ル者ト云フコトハ、這入ッテ來ル時ニハ
正當ノ理由ガアッテ這入ッテ來タト想像
シテ宜イト思ヒマスガ、如何デスカ

●泉二政府委員 レハソ其通りダト思
ヒマス

●牧野委員 サウ致シマス、之ニ關
聯シテ御尋致シタイノハ、警察犯處罰
令ノ第一條ノ第四號デアリマス、之ニ
依ルト「故ナク面會ヲ強請シ又ハ強談
威迫ノ行爲ヲナシタル者」斯ウ云フコ
トガ書イアテルノデアリマス、斯ウ云
フ場合ニ於テモ第三號ノ規定デ、殺傷
ヲ致シテ宜シイト云フ解釋ニナリマス

カ

●泉二政府委員 其結果退去ヲ要求セ
ラレテ、退去シナイト云フ場合ヲ御考
ヘデゴザイマスカ

●牧野委員 サウデス

●泉二政府委員 ソレハ矢張此適用ニ
ナルト思ヒマス

●牧野委員 警察犯處罰令ハ「面會ヲ
強請シ又ハ強談威迫ノ行爲ヲ爲シタル
者ト云フダケデアリマシテ、之ニ對シ
マシテハ三十日未滿デスカラ二十九日
以下ノ拘留ノ處分ガアリマス、ソレヲ
一度ビ退去ヲ要求シテ退去セザル時ニ
ハ直ニ殺傷致シテ宜シイト云フコト
ハ、規定ノ上ニ於テ權衡ヲ保チ得ルト
御考ヘニナリマスカ、如何デスカ、之ヲ
伺ヒタイ

●泉二政府委員 不法退去ハ刑法百三
十條ニ依リマス、懲役マデ行ッテ居ル
ト思ヒマス、三年以下ノ懲役マデ行ク
コトニナッテ居ル、單純ニ強盜トカ云フ
場合ト趣ガ違フノデアルト思フノデア
リマス

●牧野委員 サウスルト家宅侵入罪ノ
トキノ規定ニ於ケル要求ヲ受ケテ其場
所ヨリ退去セザルモノト、警察犯處罰
令ノ四號ノ規定ニ依ル面會ヲ強請シ、
又ハ強談威迫シタ場合ノ退去ニ應ゼザ
ル場合ト共ニ含ムト云フ御意見ト拜
承シテ宜シウゴザイマスカ

●泉二政府委員 此案デハ單純ニ強談
シタトカ面會ヲ強請シタトカ云フダケ
デハ、此案ノ適用ハ一寸ナイノデアリ
マシテ、其結果退去ノ要求ヲ受ケタガ、
ソレニ從ハナイデ退去セザル者ヲ排除
セントスルトキハ之ニ當ル、斯ウ云フ
趣意デアリマス

●牧野委員 サウスルト最初來タトキ
ニハ面會ヲ強請シタリ、強談威迫デナ
ク、退去ニ、之ニ應ジナイトキニ急ニ急
迫ナル侵害ヲ感ズルト云フコトハ、ド
ウ云フ根據デアリマスカ

●泉二政府委員 是ハ住居ノ自由ノ保
護カラ考ヘマシテ、要求サレタナラバ
退去シナケレバナラス、退去シナケレバ
處罰スルゾ、三年ノ懲役マデヲ加ヘル
コトガ出來ルゾト云フコトハ、是ハ刑
法デ規定シテ居ル

●牧野委員 此三號ニハ故ナクシテ住
居ノ云々ト云フコトガアルガ、晝夜ノ
區別ガナイ、先程政府委員ノ御説明ニ
依リマス、本案ハ舊刑法ノ規定ヲソッ
クリ持ッテ來タモノト心得テ宜シイト
云フヤウナ御話ガアリマシタガ、舊刑
法ヲ見マス、晝間故ナク人ノ住居ヲ
侵入シタル者トスアル、夜間故ナク人ノ住
居ニ侵入シタ場合トガアッテ、晝夜ノ區
別ガアルノデアリマスガ、是ガ一ツ、ソ
レカラ要求ヲ受ケテ退去シナイト云フ
コトガ新刑法ノ新規定デアッテ、舊刑法

ニハナイノデアリマス、學說ノ方ハ色
色ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、サウ
スルト舊刑法ノ規定ヲ全部持ッテ來タ
ヤウニモナイノデアリマス、其規定ノ
上ニ於テハ或ハ犯罪ノ構成ノ上ニ於
テ、晝夜ヲ區別スルト云フ必要ヲ御認
メニナリマスカナリマセヌカ、如何デ
アリマスカ

●泉二政府委員 舊刑法ノ規定ヲソッ
クリ持ッテ來タト申スコトハ、少シ言葉
ニ語弊ガアリマシタ、精神ハ同ジデア
ルト申上ゲル方ガ宜シイデアリマセ
ウ、尙ホ只今ノ御話ノヤウニ舊刑法ハ
夜間ト云フ文字ガ附イテ居ルト云フ
コトヤ、退去ノ場合ヲ見テ居ラヌト云
フコトガ此案ト違ッテ居リマス、併シ是
ハ現行刑法ノ百三十條ニ規定シマシタ
所ノ、不法侵入ニ對スル防衛權ヲ安全
ニシヨウト云フ趣旨デアリマシタ、其
點ハ舊刑法三百十五條ト一部ハ合致シ
テ居ルノデアルト申上ゲタガ宜カラウ
ト思フ、而シテ夜間ニ限ルト云フコト
ノ說モアリマシタケレドモ、實際色々
研究ノ結果晝間デモ矢張同様ニ、此住
居安全ヲ保護スルコトガ必要デアルト
云フコトデ、態々夜間ト云フ文字ヲ入
レナイコトニシタノデアリマス

●牧野委員 政府委員ノ御說ヲ伺ッテ
見マス、或ハ法律ノ沿革ノ上ニ於テ
若クハ效力ノ上ニ於テ、所謂玄人ナラ

バ分り得ルコトデアルガ、素人ニハ甚
ダ難解デアル場合ガ想像セラル、然
ルニ此法律ノ使命ハ、政府委員ガ冒頭
ニ於テ説明セラル、如ク、刑法ノ正當
防衛ノ規定ガ抽象難解デアッテ、民衆ニ
徹底シナイ故ニ、民衆ニ徹底スル規定
ヲ置クノガ眼目デアルト云フコトニ拜
聴致シテ居ル、然ルニ此案ヲ讀ンデ見
マス、要求ヲ受ケテ退去セザル者ト
云フ、其事例ハ澤山アリマス、例ヘバ勞
働爭議ニ於テ面會ヲ求メテ會社ノ重役
ノ家ニ行ク、資本案ノ家ニ行ク、或ハ新
聞記者ガ社會上ノ問題ニ付テ、其事實
ノ真相ヲ本人ニ聴クベク訪問ヲ致ス、
サウ云フヤウナ場合ニ於テ、要求ヲ受
ケテ退去シナイカラト云フテ、直ニ一
刀ノ下ニ斬ラレテモ、一發ノ下ニヤラレ
テモ文句ガ言ヘナイヤウニ此法律デハ
讀マレ得ルノデアリマス、先程御質問
申上ゲタ警察犯處罰令ノ、面會ヲ強要
シ、強談威迫ヲシタ場合ニ於テハ、一寸
電話ヲ掛ケテ警察官ヲ呼ベバ何等ノ被
害モ無イ、加害者ニ對シテハ二十九日
以下ノ拘留留濟ムベキ場合デアアル、然
ルニ此法律ヲ以テ、電話ヲ掛ケテ警察
官ヲ呼ブコトヲシナイデ、直ニ殺シタ
リ傷ケタリスル權利ヲ認メテ仕舞フヤ
ウニ相成ルト——サウ云フ趣意デモナ
イヤウニ御説明ノ或ル點ニ於テハ見ラ
レマスガ、更ニ此法律ヲ解釋スルコト

ハ解釋立法ガ必要ナ場合モ出來テ來ル
ト考ヘマス、故ニ三號ノ全部若クハ少
クトモ後段ノ「又ハ要求ヲ受ケテ退去
セザル者」ト云フノヲ削除シテモ、此法
律ノ目的ヲ達シ得ルカ、否カト云フコ
トヲ御尋シタイ

●泉二政府委員 只今ノ御問ノヤウ
ニ、電話ヲ掛ケレバ警察官ガ直グ驅付
ケル、電話デモ持ッテ居ルヤウナ裕福ナ
人ハ結構デアアルガ、電話ヲ持ッテ居ナイ
人ガ澤山アル、又場所ニ依ッテハ電話デ
通ジナイヤウナ所ガ幾ラモアル、電話
ニ依頼シテ居ッテ濟ムヤウナモノデア
レバ、コンナ法令ハ必要ガナイカモ知
レマセヌガ、實際カラ見テ、サウ云フコ
トデハ濟マサレナイト云フコトカラ致
シマシテ此規定ヲ設ケルノデアリマシ
テ、三號ノ全部若クハ後段ヲ削除スル
ト云フ考ハナイノデアリマス

●牧野委員 電話ヲ持ッテ居ルトカ、
持ッテ居ラヌトカ云フコトハ、電話ノコ
トヲ申上ゲタカラ、サウ云フ御話ニナ
ルノデアリマセウガ、一體人ガ面會ニ
來テ會ヘナイカラト云フテ拒絶ヲスル、
若クハ面會ヲシテ要談ヲ濟マシテ、歸ッ
テ吳レロト云フテモ歸ッテ行カナイ、是
等ノ者ヲ排斥スルノニ殺傷シテモ宜シ
イト云フ保障ヲ與ヘナケレバナラナイ
程、一體日本ノ警察ハ不備缺陷ガアル
ト御考ニナリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

●泉二政府委員 一體警察力ト云フモ
ノガ、理想通りニ何所ニモ完全ニ充實
シテ居ルトシタナラバ、刑法第三十六
條、三十七條ハ要ラヌノダラウトモ思
ヒマスガ、如何ナル文明國ニ於テモ、或
ル瞬間ニ於テ、或ル場所ニ於テ、保護ノ
公權力ノ充實シナイ場合ヲ常ニ考ヘナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、竊
盜トカ強盜トカ云フモノモ、警察力ガ
サウ充實シテ居ルナラバ無クテ濟ムデ
アリマセウガ、ソレハ遺憾ナガラ——
ト云フヨリモ不能デアラウト信ジテ居
リマス

●牧野委員 此法案ノ御説明ニ付テ、
貴族院ニ於カレマシテモ、亦當院ニ於
キマシテモ、絶エズ強盜ノ例トシテ説
教強盜、講談強盜ヲ御引例ニナッテ居
マスガ、吾々ノ觀ル所デハ、多クノ場合
ニ於テ警察力ノ補充ニ依ッテ、大多數ノ
被害ヲ除キ得ルモノト考ヘテ居ル、政
府ハ警察力ノ充實ヲ圖ル事ナクシテ、
紙ニ書イタ威嚇ヲ以テ、是等ノ被害ヲ
救助シ得ルト御考ニナリマスガ

●泉二政府委員 餘リ私ノ答ガ議論メ
クヤウデアッタカモ知レマセヌガ、兎ニ
角私ノ考ト致シマシテハ、警察力ノ充
實ヲ計ルト云フコトモ極ク必要デアラ
ウト思ヒマスガ、警察力ヲ充實セシメ
マシテモ、正當防衛ノ規定ハ要ラナイ
トカ、其一部分タル此規定ハ要ラナイ

トカ言フ所マデ充實セシメルコトハ不
可能デアラウラウト考ヘテ居リマス
●牧野委員 先程星島君ノ御質問ニ對
シテ、説教強盜ノ事件ハ、今ヤ裁判中デ
アルカラ是ハ發表ガ出來ナイト云フコ
トハ御尤デアリマスガ、新聞デ見マス
ト云フト、偽説教強盜、即チ講談強盜ハ
既ニ公判ニ移ッテ居ル、精神鑑定中ニア
ルト云フコトデアリマスガ、サウスレ
バ少クトモ講談強盜ハドウ云フ行動ヲ
執ッタノデアアルカト云フコトハ分り得
ル時期ニ達シテ居ルト考ヘルノデアリ
マス、殊ニ或ル有名ナ小説家ノ女性ニ
對スル犯罪行為ナドハ、説教デナク、第
二世ノ講談ノ方デアリマス、是ガ大變
世間ノ問題ニ相成ッテ居ル、ソコデ第一
條ノ本文ニアル貞操ト云フヤウナコト
モ、少クトモアノ事例ガ含蓄シテ居ルト
云フコトヲ疑ハヌノデアリマス、サウ
スルト一體ドウ云フコトヲシタノデア
ルカト云フコトヲ御發表ヲ願ヒタイ

●泉二政府委員 其點ダケハ私ニチ
ヨット御答ガ出來兼ネマス

●牧野委員 別ナ方面デ伺ヒマスガ、
先程小野寺君ノ質問ニ對スル御答辯ト
シテ、竊盜ハ四箇月内ニ歸ッテ來ル、強
盜ハ十一箇月二十一日デ歸ッテ來ル、故
ニ重ク罰スル必要ガアル、斯ウ云フノ
デスガ、ソコデ伺ヒタイノハ重ク罰ス
ル趣旨目的ハ、其重ク罰シテ居ル間、社

●泉二政府委員 只今ノ御問ノヤウ
ニ、電話ヲ掛ケレバ警察官ガ直グ驅付
ケル、電話デモ持ッテ居ルヤウナ裕福ナ
人ハ結構デアアルガ、電話ヲ持ッテ居ナイ
人ガ澤山アル、又場所ニ依ッテハ電話デ
通ジナイヤウナ所ガ幾ラモアル、電話
ニ依頼シテ居ッテ濟ムヤウナモノデア
レバ、コンナ法令ハ必要ガナイカモ知
レマセヌガ、實際カラ見テ、サウ云フコ
トデハ濟マサレナイト云フコトカラ致
シマシテ此規定ヲ設ケルノデアリマシ
テ、三號ノ全部若クハ後段ヲ削除スル
ト云フ考ハナイノデアリマス

●泉二政府委員 餘リ私ノ答ガ議論メ
クヤウデアッタカモ知レマセヌガ、兎ニ
角私ノ考ト致シマシテハ、警察力ノ充
實ヲ計ルト云フコトモ極ク必要デアラ
ウト思ヒマスガ、警察力ヲ充實セシメ
マシテモ、正當防衛ノ規定ハ要ラナイ
トカ、其一部分タル此規定ハ要ラナイ

會カラ隔離シテ居ッテ隔離シテ居ル間、社會ガ安定スルト云フ御趣意ノ下ニ、長期刑ヲ科スルモノデアリマスガ、重ク罰シテ長ク苦痛ヲ與ヘレバ、犯人ガ反省スルト云フ趣意カラ重ク罰スルト云フノデアリマスガ、其趣意ヲ御尋ネシタイ

●泉二政府委員 長ク隔離スルコトニ於テ社會ヲ保護スルト同時ニ、長ク隔離シテ居ル間ニ苦痛ヲ與ヘルト云フコトヨリモ、寧ロ教化ヲ施シテ、之ヲ改悛サセヨウ、併ナガラ一面ニ於テ刑ノ性質トシテ拘禁ト云フ事實ガ伴ウテ居リマスカラ、ソレニ對シテ苦痛ヲ感ジナイト云フ事ハナイデアリマセウ、苦痛ハ矢張實質デアルト云フコトハ拒ム譯ニモ行キマスマイガ、兎ニ角目的ハ、寧ロ一面ニ於テハ社會ヲ保護シ、一面ニ於テハ本人ヲ出來ルダケ共間ニ改悛サシテ、再ビ犯罪生活ニ陥ラシメナイヤウニシヨウト云フ趣意デアリマス

●牧野委員 第一段ノ犯人ヲ長ク拘禁シテ社會ト隔離シテ、其間社會ノ安定ヲ保タウト云フ御考ハ、罪人ト見レバ無暗ニ監獄ニ入レテ國家ノ費用デ養成シテ、別ニ犯罪人國ト云フヤウナモノヲ拵ヘルト云フヤウナ考ニ出テ居ルノデハナイカ、ソレハ少クトモ刑罰ノ目的デハナカラウト考ヘマス、ソレカラ後段ノ長ク教戒シ若クハ苦痛ヲ與ヘルコ

トニ依ッテ反省ヲ促スノダト云フガ、現在ノ監獄制度ニ於テ其目的ガ完全ニ達シ得ラレルト云フ御考デアリマスカドウカ、ソレヲ御伺致シマス

●泉二政府委員 犯罪人、殊ニ強竊盜ノ犯罪人ハ相當ニ累犯的ノ傾向ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、一朝一夕ニシテ之ヲ完全ニ改善スルト云フコトハ不可能デアルト申上ゲル方ガ宜カラウト思フノデアリマス、併ナガラ出來得ルダケ其改善ニ向ッテ努力ヲスルト云フガ爲ニ、今日ニ於テモ既ニ教戒、教化等ノ制度ハ出來ルダケノコトヲ盡シテ居ルノデアリマス、又犯人ヲ長ク拘禁シテ犯罪國ヲ設立スルナド、云フ考デナイコトハ、是ハ御話ノ通りデアリマス

●牧野委員 更ニ第一條第二項「興奮」ニ付テ御伺シタイノデアリマス、參考資料ノ獨逸刑法第五十三條第三項ヲ見マス、「正當防衛ノ程度ヲ超過スルモ行爲者ノ狼狽、恐怖又ハ驚愕ノ爲防衛ノ範圍ヲ脱シタルモノナルトキハ之ヲ罰セズ」ト云フ此規定ニ能ク似テ居ルノデアリマスガ、獨逸ノ刑法ニハ興奮ト云フノガナイノデアリマスガ、特ニ興奮ト云フモノヲ入レタ趣意ヲ先刻モ伺ッタノデアリマスガ、モット適切ニ伺ヒタイ、私共斯様ナコトヲ反覆御尋致ス趣意ハ、面會ヲ求メル時今日ハ會ヘナイ「會ヘナクトモ何デモ待ッテ居

ルカラ會ッテ呉レ」イカヌ「何ヲ言フカ」ト云フノデ直グ「ビストル」ヲ出シテ宜シイカ、是ガ即チ興奮ノ實例デス、斯ウ云フ場合ニ於テ、先程政府委員ノ御説明ハ、興奮ト云フモ非常ナ興奮ダト云フヤウナ御説明デアリマスケレドモ、非常ナル興奮ト云フコトハ條文ニハ無イノデアアル、而シテ此案ノ使命ハ、先程申上ゲル通り、俗人ニ俗解ヲ與ヘル爲ノ法律デアアル、然ルニ興奮トハ何ゾヤ、興奮ノ程度如何ト云フモノガ、專門家ガ集ッテモ分ラヌヤウナコトヲ規定シテ置イテ、俗人ニ俗解ヲ與ヘルト云フ此法律ノ使命ト云フモノハ全然没却セラレル、仍テ此案ヨリ興奮ト云フ二字ヲ取除ク方ガ有益ニシテ捷徑ダト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

●泉二政府委員 興奮ト云フコトノ程度ハ偶々起ッタト云フノトハ違ヒマシテ、兎ニ角非常ニト云フ言葉ヲ前ニ使ヒマシタガ、ソレハ恐怖、驚愕、狼狽ト云フモノト一緒ニシテ居リマスノデ、ソレト同一視サレルヤウナ値打ノ興奮デアルト云フコトハ自ラ分ルデアラウ、斯ウ云フ積リデアリマス、サウシテ特ニ此興奮ト云フノヲ除クコトハ困ルト思ヒマスコトハ、自己ノ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル爲、他人ノ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル爲

ト云フ場合ニハ特ニ必要ガ出テ來ル、例ヘバ講談強盜ノヤウナモノガ入り込ンデ、泊込ンデ居ルト云フヤウナ時ニ、夫ガ妻ノ貞操ヲ保護スルト云フコトデ、非常ニ興奮ヲスル場合、此時ニハ先ヅ恐怖、驚愕、トモ言ヘルカモ知レマセヌガ、ソレト同ジヤウナ程度ノモノデアレバ、恐怖トカ驚愕トカ言ヘヌデモ、興奮デモ宜シイデヤナイカ、恐怖、驚愕又ハ狼狽程度ノ興奮ト云フノヲ、之ヲ入レテ置カナケレバ困ルデアラウト云フ譯デ、大分矢張研究ノ結果ハ置イタノデアリマシテ、今政府委員トシテハ之ヲ削ルト云フ事ニハ賛成シ兼ネルノデアリマス

●牧野委員 最後ニ御伺シタイノデスガ、此法律ハ說教強盜等ノ横行ニ依ッテ、即チ時弊ニ鑑ミラレテ暫定立法トシテ、解釋立法ヲスルノダト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、サウ致シマスルト、獨リ此說教強盜、講談強盜ニ限ラズ、或ハ勞働爭議ノ場合、若クハ無產黨ノ暴行ノ場合、特ニ此種ノ立法ヲ必要トスル事情ガアラウト考ヘルノデアリマス、聞ク所ニ依リマスルト云フト、最近ニ川崎市ニ於テハ「メーデー」時ニ日本共產黨ト云フ旗ヲ翻シテ、竹槍ヲ提ゲテ群ヲ爲シテ進行シテ參ッタ、之ヲ抑止メタ警官ハ、直ニ竹槍ヲ突カレテシマッテ、少ウシテ代ルベキ

警官が來テ、之ニ當ラントシタ所ガ、直ニ「ビストル」デヤラレテシマッタト云フ事ヲ承テ居リマスルガ、其事實ノ有無竝ニ有リトスレバ其警察官ノ氏名如何、ソレカラ殊ニ最近ニ於テハ每晚警察官ガ一名若クハ二名程宛、是ハ強盜竊盜デアルカ、或ハ共産黨其他勞働運動ノ結果デアルカ、原因ハ審ニシナイノデアリマスガ、結果ニ於テハ警官ガ一名若クハ二名宛射殺セラレテ居ルト云フ事ガ、連續シテ頻出シテ居ルト云フ風聞ヲ聞イテ居リマスルガ、此事實有リヤ無シヤ、有リトスレバ其警官ノ氏名及人數如何、之ヲ御尋ヲ致シマス

●泉二政府委員 「メーデー」ニ川崎ニ於テ只今御話ニナッタヤウナ趣旨ノ事實ノアッタト云フ事ハ聞及ンデ居リマス、ソレカラ其警官ガ生命ヲ失ッタト云フ事ハ未ダ報告ニ接シテ居リマセス、其他共産黨トシテ起訴サレルヤウナ者ノ間ニ於テ、兇器ヲ携帯シテ、サウシテ巡查ナドニ危害ヲ加ヘタト云フ事實モチヨイ／＼アルノデアリマス、併シ何處ニ於テ何度ト云フヤウナ詳シイ數字ヲ此處デ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

●泉二政府委員 只今ノ所デハ其處迄

考及ンデ居リマセス、是ハ研究ヲスベキ問題デアルト思ッテ居リマス

●泉二政府委員 是等ノ今申上ゲタ問題ノ多クハ要スルニ警察力ノ缺陷カラ來ルモノト考ヘマス、又本案ノ決メテ居リマス事實ノ大部分ハ警察力ノ缺陷カラ起ルノデアリマス、サウ致シマス、是等ノ立法若クハ是等ノ事實ト云フモノハ、日本ノ警察權ノ不備ヲ暴露シタモノデアル、其暴露ノ事犯ヲ蔽ハンガ爲

●泉二政府委員 政府委員ハサウハ考ヘマセス、ソレハ意見ノ相違デアルコトヲ遺憾ト思ヒマス

●星島委員 先程米田君カラ御尋ノ時ニ、第一條ノ本文ノ第一項ノ所ニ貞操ニ關スル文字ガアリマスニ拘ラズ、其後ニ何等附隨シタ規定ガナイト云フコトガアリマシタガ實際住宅ノ中ダケデナクシテ、或ハ山ノ中ヤ路傍デ強姦サレル場合ニ、死ヲ以テ是ガ防衛ニ當ルコトガ日本婦人ノ道德ノ美點デアル、所ガ說教強盜ニ脅サレマシテ貞操ヲ破ッタト云フコトヲ竊ニ聞イテ、一面カラ残念ニ思ッテ居リマス、ソコデ貞操擁持ノ爲ニイザト云フ場合ニハ殺シテモ宜イ「現在ノ危險アルニ非ズト雖モ云々」

ト云フ場合、之ヲモット廣ク改正致シマシテ、日本ノ婦人道德擁護ノ爲ニ、斯ウ云フ脅威ヲ感ジタ時ニヤツケテ宜イ、ヤラレタ場合ニハ自殺スルト云フコトガ、日本婦人ノ常道デアルガ、此法文ノ何處ニサウ云フ點ガ現ハレテ居ルカ、ソレガ一點、ソレカラ若シ處女ガ濫ニ家庭ノ爲ニ自分ノ貞操ヲ破ッテ強ヒテ身賣リシナケレバナラヌ時分ニ、イヤダト反抗シタ場合、此法律ニ依ッテソレガ擁護サレル點ハアリマセス、又娼妓ガ客ヲ取ルノガイヤダ、強ヒテ樓主ガ取ラセヨウト言ッタ時ニ、「ビストル」ヲ撃ッタナラバ此法律ガ適用サレマス

●泉二政府委員 先程小島君ノ御質問ノ中ニ「汽車自動車ノ事ガアリマシタガ、是ハ船舶ト云フコトガ入ッテ居リマス、假ニ渡船モ船舶デス、渡船ノ中デヤラレ

●泉二政府委員 只今ノ御問ハソレハ御尤ナ事デアルトハ思ヒマス、ケレドモ、現行ノ刑法百三十條ニ於キマシテ、兎ニ角是ダケノモノヲ見テ居ルノデアリマシテ、自動車デアルトカ汽車デアルトカ云フモノハ見テ居ラナイ、デアルカラソレハ後日刑法ノ規定デ更ニ其處迄住居權ト同ジク保護スルト云フコトニナリマス、又其時ノ問題デアリマスガ、今デハ刑法百三十條ノ不法侵入ト云フモノニ對スル防衛權ノ安全ヲ示シテヤラウト云フ必要ノ程度ニ是ハ止メテアルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

●星島委員 第二號ニ「侵入スル者」ト云フ文字ガアリマスガ、是ハ具體的ニ如何ナル時カラ如何ナル時迄——著手ノ時、此著手ノ時ハ如何デスカ

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

タノハ保護セラレテ居ル、然ルニ汽車ノ中デ、或ハ最近自動車ノ暗ガリノ中デ濫ニ運轉シテ行ッテ婦女ヲ姦スル、或ハ運轉手ヲヤッ付ケルト云フコトガ、新聞紙上ニ見エテ居リマスガ、勿論此船舶ノ中ニハ渡船モ傳馬船ノヤウナ小サイ船モ入ルト思ヒマス、私ハ之ヲ假ニ宜イモノトシマス、是ハ片手落デハナイカト思ヒマス、其點ニ付テハモウ一度御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

●泉二政府委員 只今ノ御問ハソレハ御尤ナ事デアルトハ思ヒマス、ケレドモ、現行ノ刑法百三十條ニ於キマシテ、兎ニ角是ダケノモノヲ見テ居ルノデアリマシテ、自動車デアルトカ汽車デアルトカ云フモノハ見テ居ラナイ、デアルカラソレハ後日刑法ノ規定デ更ニ其處迄住居權ト同ジク保護スルト云フコトニナリマス、又其時ノ問題デアリマスガ、今デハ刑法百三十條ノ不法侵入ト云フモノニ對スル防衛權ノ安全ヲ示シテヤラウト云フ必要ノ程度ニ是ハ止メテアルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

●星島委員 第二號ニ「侵入スル者」ト云フ文字ガアリマスガ、是ハ具體的ニ如何ナル時カラ如何ナル時迄——著手ノ時、此著手ノ時ハ如何デスカ

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●泉二政府委員 著手ノ時ト見テ宜シウゴザイマス

●星島委員 「侵入セントスル者」デ宜イ船モ含ムト云フ解釋ヲ今日ハ採用シイトシマスレバ、ドウシテソレヲ認識シマセウカ、侵入スル者ト云フノト侵入セントスル者、私ハソレヲ認識スルコトハ出來スト思ヒマス、殊ニ第二項ノ侵入セントスル者ヲ狼狽ニ依テ云々ト云フ、是ハ餘程認識スルコトガムヅカシイダラウト思ヒマス、何處迄ガ侵入スルノデアルカ、ソレヲモウ少シ具體的ニ——出來マスレバ、例ヲ以テモ御説明ヲ願ヒマス ●泉二政府委員 船舶ノ侵入ダケデゴザイマスカ ●星島委員 邸宅デモ宜シウゴザイマス ●泉二政府委員 邸宅ニ入り掛ケテ來レバ侵入スルノデアッテ、入り掛ケテ來ルト云フコトハドウ云フ事デアルカト云フコトハ、一寸御答出來マセスガ、常識デ判斷スル外ハナイダラウト思ヒマス	●米田委員 是ハ船舶ノ範圍デスガ、今ノ御尋ニ關聯シテ一寸申シテ見タイノデスガ、小サイ傳馬船ノヤウナ船デモ入リマスカ ●泉二政府委員 是ハ船舶ト云フ文字ガ刑法ニモ御承知ノヤウニ使ハレテ居リマシテ、ソレニハ一體小サイ船マデ入ルカドウカト云フコトハ、多少問題ニハナッテ居リマスケレドモ、矢張小サ	イ船モ含ムト云フ解釋ヲ今日ハ採用シテ居ルコトニナッテ居リマス、隨テ先刻御質問ノアリマシタヤウニ、サウ云フ小サイ船ヲ入レタラ今度自動車モ汽車モ飛行機モ色々入レルベキモノガ比較上アリハセヌカト云フ考ガ當然出テ來ルノデアリマスガ、現行刑法デ斯ウ云フ風ニヤッテ居リマスカラ、今日ノ暫行的ノ法律ニ於テハ、刑法デ考ヘテ居ル以上ノモノマデ持ッテ來ルト益々錯雜スルコトニナルカラ、先ヅ刑法ノ認メテ居ル程度ノモノニシヨウ、サウシテ先ヅ船舶ノ中ニハ小サイモノヲ含メル、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス ●小野寺委員 正當防衛ノ超過行爲ニ依ッテ處罰サレタ者ガドンナ割合ニナッテ居リマスカ ●泉二政府委員 正當防衛ノ超過行爲トシテ處罰サレタ者ガチヨイ／＼アリマスケレドモ、茲ニ直ニ御答スルヤウナ統計ヲ持ッテ居ラヌノデアリマス ●小野寺委員 私ノ考ヘル所デハ、殆ド超過行爲デ處罰サレテ居ル者ハナイ現狀デアルト思ヒマス、アルトシテモ極ク僅少ナモノデアルト思ヒマスガ、其統計ヲ司法省デ御調ニナッタモノガアルト思ヒマスケレドモ、ゴザイマセヌカ ●泉二政府委員 ソレハアリマセヌ ●小野寺委員 政府委員ノ説明ニ依リ	マスルト、急迫不正ノ侵害ト云フノト、現在ノ危險ト云フモノトハ、結局實質ハ同ジニナルノデアリマス ●泉二政府委員 ソレハ人ノ解釋ニ依ッテハ實質ハ同ジトスルコトガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ場合ナラバ、是ハ唯々注意的ノ規定ニ過ギナイケレドモ、人ニ依ッテハサウ云フ風ニ解釋ハシマセヌ、別ダトスル人ガアリマス、私ハ能ク講談強盜ナドデ例ヲ引イテ話スノデアリマスガ、今寢テ居ルト云フコトデハ急迫不正ノ侵害トハ認メラヌデアラウ、サウ云フ考デ居リマス ●小野寺委員 人ニ依ッテ見方ヲ異ニスル、現在ノ危險ト云フコト、急迫不正ノ侵害ト云フコト、ハ、人ニ依ッテハ同ジダケレドモ、人ニ依ッテハ異ッタ見方モスルト云フノガマア現在ノ狀態デアルト云フ御説明デアラウト存ジマスガ、此法律ノ解釋ト致シマシテ、實質ヲドウ見テ居ルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス ●泉二政府委員 立案者ノ趣意ハ現在ノ危險ト云フモノハ、未ダ急迫不正ノ侵害ニハ至ラザルモノト區別ガアルモノト考ヘテ居リマス ●小野寺委員 ソコガ一番肝要ナリト思フカラ御尋ヲスルノデアリマスガ、急迫不正ノ侵害ト云フ實質的事實、即	チ現行刑法ニ依ル所ノ當條々事實ト云フモノハナイ、當條々事實ト云フモノハナイノニ拘ラズ、現行刑法三十六條ノ解釋の規定ナリトスル其條文ノ中ニ、現在ノ危險ト云フ異々事實ヲ捉ヘ來ッテ茲ニ規定シタト云フコトハ、解釋ノ規定ニアラズシテ、是ハ新ナル規定ヲ茲ニ創設スルモノデアルト謂ハナケレバナラス、只今政府委員ノ仰セラレタ通りナラバ、必ズサウ云フコトニナル、只今此法案ノ起草者タル政府委員ガ急迫不正ノ侵害ト云フモノハ、實質的ニ之ヲ見レバ、現在ノ危險ト異ナルト云フ御答辯デアル、現在ノ危險ト異ナルナラバ、此現在ノ危險ナルモノニ付テ、急迫不正ノ事實アリトスル解釋の規定ヲ置クコトハ出來ナイノデアル、解釋ニアラズシテ是ハ現在ノ危險ト云フ新ナル事實ヲ捉ヘ來ッテ、此刑法三十六條ノ適用ヲナサントスルモノデアリマス、即チ新シイ所ノ、創設的ノ刑法ヲ茲ニ設ケタモノト斷ゼナケレバナラス、其點ハ如何デアリマセウカ ●泉二政府委員 サウ云フ風ニアナタハ斷定ナサルコトハ御自由デアッテ、私ハソレヲ止メハ致シマセヌ、唯々コチヲノ趣旨ハサウデナイ、誤解ヲサレテハ困ルノデアリマス、急迫不正ノ侵害ニハ當ラヌ場合ガアルケレドモ解釋デアルト申シマスルコトハ、アナタモ專
---	--	--	--	---

門ノ御方デアリマスカラ、三十六條ヲ御覽ニナリマシテモ、唯々急迫不正ノ侵害ガアレバ、正當防衛ガ出來ルト書イテハナイ、已ムヲ得ザル時ハト書イテアル、斯ウ云フ第一項ニ書イテアルヤウナ事實ガ竝存スル一號二號三號ノ正當防衛ヲ行フニ當ッテ一方本文ノヤウナモノ、急迫ノ侵害トハ言ヘヌケレドモ、現在ノ危險ト云フモノガ加ハルト云フコトニナッテ、正當防衛トシテ殺傷ヲスレバ、ソレハ已ムヲ得ザルニ出デタルモノト認メル、斯ウ云フ解釋デアルト云フコトヲ私ハ先刻カラ何遍モ繰返シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレヲ誤解サレテハ困ルノデアリマス

●小野寺委員 誤解デハナイ、政府委員ノ仰セラレルコトヲ其儘取入レテ私ハ申上ゲタ積リデアリマス、只今政府委員ハ已ムコトヲ得ズシテト云フコトヲ強ク言ハレルノデアリマスガ、已ムコトヲ得ズシテト云フノハ別個ノ問題デアアル、已ムコトヲ得ズシテ急迫不正ノ侵害ニ對シテヤッタ行爲ト、已ムコトヲ得ズシテ現在ノ危險ヲ排除シタコトトハ同一デアアルカ、異ッテ居ルカト云フ間ニ對シテ、アナタハ已ムコトヲ得ズト云フ字ニ力ヲ入レテ言ハレルガ、已ムコトヲ得ズシテト云フノハドッチニモ附イテ居ル、ソレデ、急迫不正ノ侵害ト

現在ノ危險ト同ジデアアルカドウカト云フコトニ對シテ、アナタハ同ジデナイ、急迫不正ノ侵害ト云フコト、現在ノ危險ト云フコトハ全然異ナルト云フコトヲ仰セラレテ居ル、異ナルナラバ、急迫不正ノ侵害ノ場合ニ之ヲ排除シタナラバ、所謂正當防衛ナリト解釋シ又現在ノ危險ヲ排除スルト云フ場合モ、正當防衛デアルト云フ、新ナル刑法ノ規定ヲ創設スルモノデナクテ何デアリマセウカ、決シテ私ハソナナ殊更ニ理窟ヲ捏ネテ居ル譯デモ何デモナイ、三十六條ノ解釋の規定デアルト云フ御説明デアルカラ、吾々ハ斯ウ云フ重要ナル所ノ刑法規定ヲ輕々ニ審議ヲ完了スルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト考ヘル、詰リ刑法ハ法律中ノ一大法典デアアル、基礎的ノ法典デアアル、之ヲ改正スル時ニ當ッテ、解釋の規定ナドトアナタハ仰シヤルケレドモ、現在ノ危險ト云フコトノ實質ヲ御問シテ居ル、所ガソレニ對スル説明トシテハ、急迫不正ト異ナルト云フコトヲ立派ニ答辯サレテ居ル、サウ答辯サレテ居ル以上ハ、此現在ノ危險ト云フ事實其モノヲ捉ヘ來ッテ、所謂正當防衛權ノ中ニ新ニ創設スルモノデアルト云フコトハ何等疑ヲ容レナイ、此點ヲモウ少シ明確ニ吾々ノ理解ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ願ヒタイ

●泉二政府委員 大抵御理解ガ出來ルコト、考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウキ御答申上ゲタコトデ、御理解ガ出來ルト思ヒマスガ……

●小野寺委員 モウ一度ソコヲ御答ヘ願ヒマス

●泉二政府委員 モウ一度明確ニ御答シマス、急迫不正ノ侵害ハ、一號、二號、三號ノ事實ニ存在スルノダ、ソレデアルカラ急迫不正ノ侵害ガナイノニ正當防衛ヲスルコトガ出來ルト云フコトハ、此法案ニハ認メテ居リマセス、ソレハ能ク御覽ニナレバ——其急迫不正ノ侵害ニ當ル所ノ一號、二號、三號ノ事實ガアルニ際シテ殺傷ヲシタナラバ、ソレハ已ムヲ得ザルニ出デタルモノト云フコトニナルカナラスカト云フ點ニ付テ疑ガアルカラ、ソコデ此一項ノ本文ノヤウナ危險ト云フモノガアッテ、サウシテ且ツ一號、二號、三號ノ急迫ノ侵害ガアッテ、ソレニ對シテ正當防衛ヲスルコトニナレバ、丁度三十六條ノ第一項ニ當ルノダト、斯ウ説明シテ居ルノダト私ハ申シテ居ルノデアリマス、此説明デ御分リニナラナイ時ハ、此上私ハ説明ガ出來ナイ、後ハ御意見ニ任シテ置クヨリ仕方ガアリマセス

イ時ハ直ニ本案ノ適用ガアルト云フ御答辯デアリマシタカラ、ソコデ面會ヲ強制シ、若クハ強談、威迫ヲシテ警察犯處罰令ニ間ハレタ犯罪事件ガ一年ニドレ程アルカ、ソレカラ現在警察官ノ此事犯ニ對シテノ取扱ノ詳細ノ事ヲ承リタイ

●泉二政府委員 一寸只今ノ御話ノ中デ警察犯處罰令ノ決定スル行爲ニ對シテ直ニ適用ガアルト云フコトハ、政府委員ハ答ヘテ居リマセス、ソレニ加フルニ退去ノ要求ヲ受ケテ退去セザル場合、即チ刑法第三十六條ノ後段ニ當ルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマスカラ、其處ハ誤解ノナイヤウニ御願致シマス

●牧野委員 其誤解デハナイ、出來事ガ面會ヲ強制シ、強談威迫デアアル、其事實ハ被害ガアッテモナクテモ、ソレダケノ簡單ナコトデアアルガ、是ガ直ニ警察ヘ知レ、バ、即チ訪問ヲ受ケタ方ニ何等ノ實害ガナクテ、訪問ヲシタ方ハ二十九日以下ノ拘留ニ處セラレルノデアアル、然ルニ其方ニ向ッテハ退去ヲ要求スル、退去ヲ要求シテ退去ニ應ゼザル時ニハ、直ニ家宅侵入ノ後段ノ規定ニ化ケテシマッテ、サウシテ本案ノ第一條ノ第三號ノ後段ノ規定ニ當儀ッテシマフ、ソコデ「ビストル」ヲ出シテモ刀ヲ出シテモ宜イト云フ譯ニナルノデアリマス

カラ、斯ナ事ヲスルヨリモ、本來ノ面會ヲ強要シテ強談威迫ヲ受ケタ儘デ放ツタラカシテ置ク方ガ國家治安ノ爲ニ宜シイ、斯ウ云フ場合ニハ警察官ノ誤解ヨリ官權ノ濫用モ多數アルコトデアリマスカラ、ソコデ、私ノ間ハントスル希望ノ要點ハ、此種ノ警察犯處罰令ニ依ッテ一年中凡ソ何千何百件ノ事犯ガアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ、ソレガ凡ソ何割退去ニ應セザル見込デアルカ、ソレ等ノコトヲ御伺致シマス、ソレカラ司法大臣ハ御出席ナイノデスカ

●則元委員長 司法大臣ハ豫算總會ニ居ラレマス

●星島委員 議事進行ニ付テ——本法案ハ政黨政派デ決スベキコトデナイ、マダ期日モアル、委員長ノ言葉デハ討論ヲ打切ッテ直ニ決シヤウトサレルヤウデアリマスガ、私ハ此案ハ多分說教強盜カラ來タモノト思ヒマス、先キニ貴族院カラ回付サレタカラ、特權階級カラ出タモノデナイカト思ッテ居リマシタガ、御答辯ニ依ッテ諒解シタノデアリマス、併シ當時ト今日ノ時勢ハ異ナリマシテ、今日無產黨ノ方カラ質問ガアリマシタヤウニ、說教強盜ニ端ヲ發シタ案デアリマスケレドモ、其結果ハ失業者ノ多イ今日、債權債務ノ關係ニ於テ極端ニ債權者ヲ擁護スル今日、金解禁ノ問題ノ時ニ、兎モスレバ無產大

衆其他サウ云フ問題ニ引掛ッテ來ル、今日ノ問題ハ說教強盜デナクシテ、モット大キナ問題ガ引掛ッテ來ル、詰リ治安警察法ノ上カラ、警察犯處罰令ニ附屬シテ居ル上ニ、事ニ依ッタラ治安維持法ノ一ツニ附隨シタルモノ、ヤウニ見ラレナイデモナイ、サウ云フ誤解ガアッテハ折角ノ法案ハ到底——是等ハ又同志ノ者ニ十分相談シナケレバナラス、時間モアリ、會期ハマダ二三日アルノデアリマシテ、サウ切迫シタコトデモアリマセヌカラ、無茶苦茶ニ御通シニナラヌデモ宜イト思ヒマス、故ニ今日ハ此程度デ散會シ、吾々ハ黨議モ纏メタイ、又牧野君カラハ內務大臣司法大臣ニ質疑ガ殘ッテ居ルヤウデアリマスカラ、決シテハ黨派問題デ解決スルコトハ宜クナイ、氣持好ク議シタイト思ヒマス

〔速記中止〕

●藤田委員 先刻カラ政友會ノ諸君ト相談シテ見タノデアリマスガ、ドウモ甚ダ御希望ニ背クヤウデアリマスガ、一昨日デアリマシタカ、私共ガ此會期ノ切迫シテ居ル場合ニ、政府案デ而モ貴族院ヲ通過シテ、此方ニ廻ッテ來タモノニ對シテ、質問ヲ繼續シタイト思ヒマシタガ、政友會ノ諸君ハ此次ニハ必ズ片付ケルカラ、今日ハモウ質問ヲセズニ、粕谷氏ノ葬式ニ行キタイト思フカラ——マダ十一時迄ニ時間ガ少シア

●則元委員長 斯クナル以上ハ仕方アルカラヤラウト云フノヲ、ソレハ是非讓ッテ吳レロト云フノデ御譲リ申シテ、サウシテ非常ニ貴重ナ十一日ノ委員會ヲ徒費シテシマヒマシテ、サウシテ、本日朝カラ今ノ時間迄御勉強ニナッテ、承ル所ニ依リマスルト、質問ハ繰返シ繰返シ行ハレテ居ルノデアリマス、賢明ナル諸君ニ於キマシテモ、既ニ此案ニ對スル御意見ハ御決定ニナッテ居ルコト、存ジマスガ故ニ、圓滿ニ片付ケタイト思ヒマスガ、ソレガナリマセヌカラ茲ニ質問打切ノ動議ヲ提出致シマス

●牧野委員 只今內務大臣ノ出席ヲ要求シテ、委員長モ之ヲ適當ト御認ニナッテ、內務大臣ヲ御迎ヒニヤッタト云フ事實ガアルノデアリマスガ、此場合ニ於テサウ云フコトマデモ質問打切ノ動議ニ依ッテ總テ抹殺スルト云フコトヲ、議會ノ先例トセラレテモ構ハナイト云フ御意思ノ動議デアリマスガ、伺ッテ置キマス

●藤田委員 內務大臣ハ差支ヘテ來ラレスト云フコトヲ委員長「カラ報告ニナッテ居リマス、內務大臣ガ貴族院ノ方デ差支ガアッテ手ガ引ケヌノヲ明日ノ朝迄待ッテ居リマシテモ要領ヲ得ナイノハ決ッテ居リマス、是ハ惡例デモ先例デモアリマセヌ、其時ノ事情ニ依ッテ決メルヨリ仕方ガナイト思ヒマス

●則元委員長 斯クナル以上ハ仕方アリマセヌ、採決致シマス、藤田君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

●則元委員長 念ノ爲ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對者 起立〕

●則元委員長 贊成反對同數デアリマスカラ、委員長ハ質問打切ニ同意致シマス、質問ハ是デ打切ラレマシタ、引續イテ討論ニ入りマス

●原委員 私ハ我黨ヲ代表シテ本案ニ贊成ヲ致シマス

●牧野委員 私共ハ退席致シマス

●則元委員長 ソレデハ採決致シマス、原案贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

●則元委員長 總員起立、多數ニ依ッテ委員會ハ通過シマシタ、是ニテ散會致シマス

午後五時十一分散會